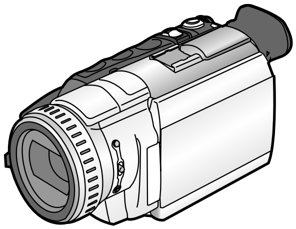
Panasonic



デジタルビデオカメラ

取扱説明書

品番 **NV-GS100K**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはデジタルビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

「安全上のご注意」については 138 ～ 145 ページを必ずお読みください。

MultiMediaCard™

LEICA DICOMAR

Mini DV NTSC

SD™

CERTIFIED USB™

VQT0D90-2

もくじ

使う前に

撮る

もっときれいに撮る

見る

使う前に
撮る
もっときれいに撮る
見る

カード

編集

その他

ホームページではビデオの撮り方やコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポートについては

http://panasonic.jp/support

をご覧ください。

まずお読みください！

事前に必ずためし撮りをしてください。

大切な撮影 (結婚式など) は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影 (録画など) や録音されていることを確かめてください。
特に「特殊効果」や「逆光補正」をご使用の際は、設定をご確認ください。

撮影内容の補償はできません。

本機およびカセット (テープ)、カードの不具合で撮影 (録画など) や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください。

あなたが撮影 (録画など) や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。

また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

参照ページについて

参照いただくページを（P00）で示しています。

カードのデータについて

他機で記録、作成したデータの本機での再生、本機で記録したデータの他機での再生はできない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

本機で使用できるカセットは

Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

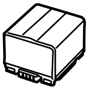
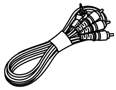
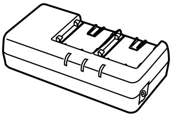
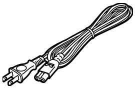
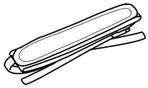
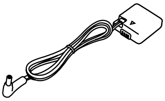
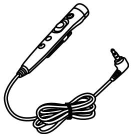
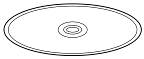
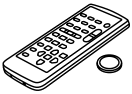
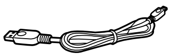
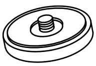
本機で使用できるカードは

SD メモリーカード、マルチメディアカードです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

付属品

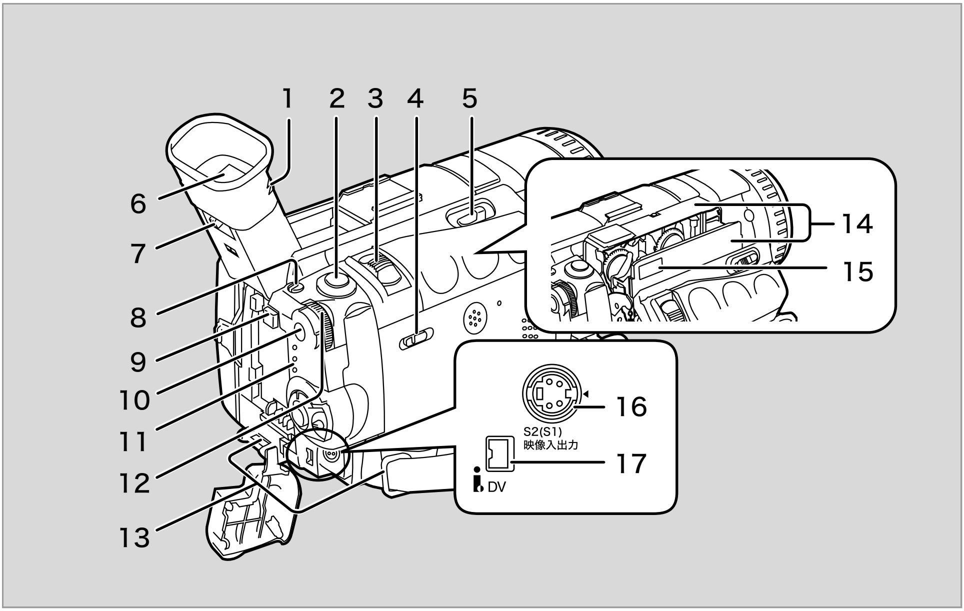
以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は 2003 年 5 月現在のものです。

バッテリーパック 	映像 / 音声コード （ミニジャック対応） K2KC4CB00009 
AC アダプター （2 個充電） 	レンズキャップ VYF2917 
電源コード K2CA2DA00025 	ショルダーベルト VFC3506 
DC コード K2GJ2DZ00017 	SD メモリーカード （16 MB） 
マイク付き フリースタイルリモコン N2QCBD000030 	CD-ROM 
ワイヤレスリモコン N2QAFC000003 コイン電池 CR2025 	USB 接続ケーブル VFA0397 
三脚アダプター VYC0908  使いかたは 115 ページをお読みください。	

各部の名前

詳しくはそれぞれのページをお読みください。

＜本体＞



1　ファインダー引き出しノブ（P20）

2　フォトショットボタン（P34、76）

3　ズームレバー（P27）

4　テープ / カード選択スイッチ（P26、73）

5　開く / カセット取出しレバー（P22）

6　ファインダー（P20）

7　視度調整レバー（P20）

8　クイックスタートボタン（P39）

9　バッテリー取外しボタン［PUSH BATT］（P18）

10　メニューボタン（P24）

11　操作モード（電源）ランプ（P20）

12　マルチプッシュダイヤル（P24）

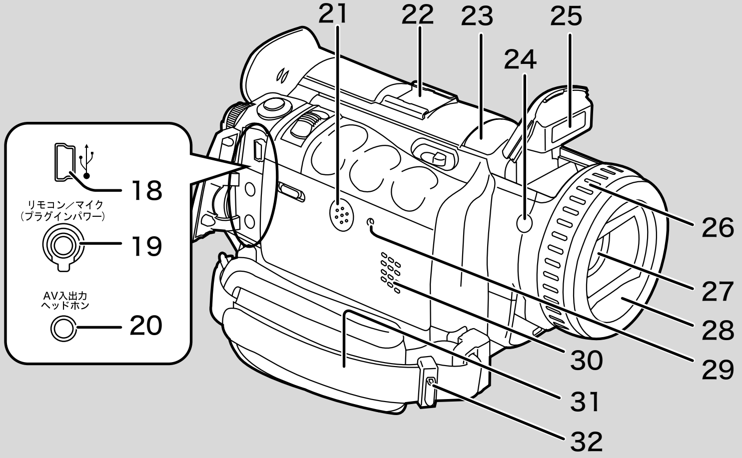
13　ショルダーベルト取付部（P113）

14　カセットホルダー（P22）

15　カセットホルダー閉じ部［PUSH］（P22）

16　S2(S1）映像入出力端子（P15）

17　DV 端子（P15、103）



18 USB 端子（P14）

19 リモコン / マイク（プラグインパワー）端子（P14、111）

20 AV 入出力ヘッドホン端子（P14）

21 カセットカバー（P22）

22 ホットシュー（P114）

23 内蔵ステレオマイク

24 サブ REC（撮影開始 / 一時停止）ボタン（P26）

25 オートポップアップフラッシュ（P38）

26 フォーカスリング（P44）

27 レンズ（LEICA DICOMAR）

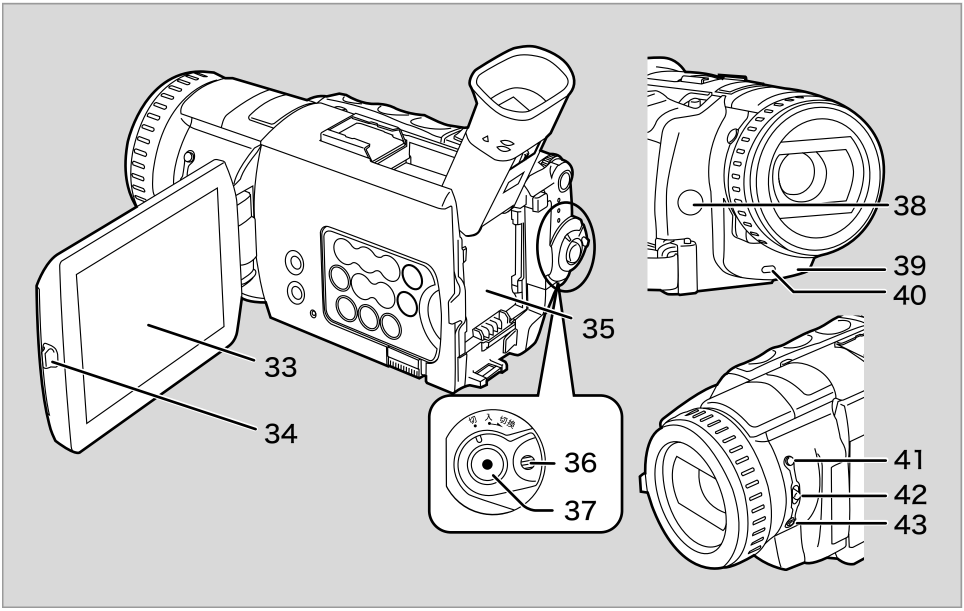
28 レンズフード（P114）

29 RESET ボタン（P136）

30 スピーカー（P59）

31 ワンタッチマジックストラップ（グリップベルト / ハンドストラップ）（P112）

32 レンズキャップ取付部（P113）



33　液晶モニター
（ライトパネル搭載）
（P21、33、108）

34　液晶開くボタン
［PUSH OPEN］（P21）

35　バッテリー取付部（P18）

36　電源 / 操作モード
切換えスイッチ（P20）

37　撮影開始 / 一時停止ボタン
（P26、80）

38　白バランスセンサー（P46）

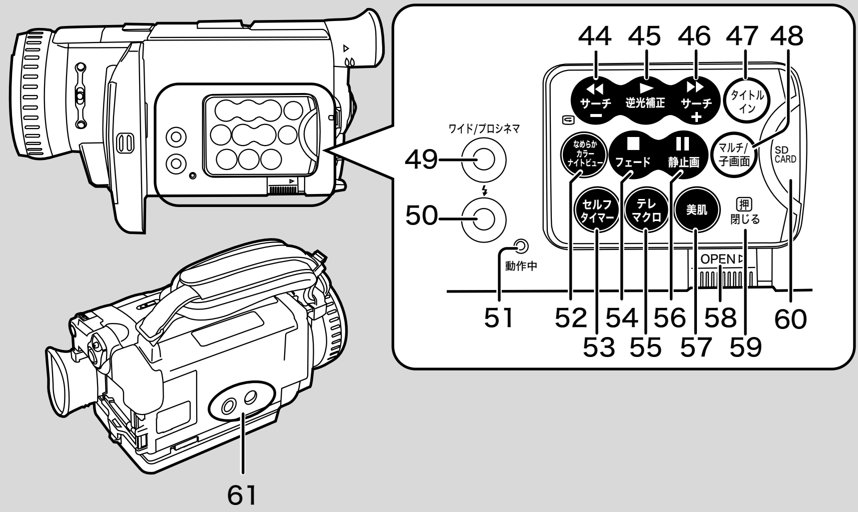
39　リモコンセンサー（P110）

40　撮影お知らせランプ（P28）

41　フォーカスボタン（P44）

42　モード切換えスイッチ
（P17、44、45、49）

43　白バランスボタン（P45）



44 サーチ (–)/ 巻戻し（◀◀）/ 撮影チェック（⊆）ボタン（P26、39、58、81、86、87）

45 逆光補正 / 再生（▶）ボタン（P30、58、81、86、87）

46 サーチ (+)/ 早送り (▶▶) ボタン（P39、58、81、86、87）

47 タイトルインボタン（P95）

48 マルチ / 子画面ボタン（P52、53）

49 ワイド / プロシネマボタン（P48）

50 フラッシュボタン（P38）

51 動作中ランプ（P74）

52 なめらかカラーナイトビューボタン（P33）

53 セルフタイマーボタン（P35）

54 フェード / 停止 (■) ボタン（P30、58、81、86、87）

55 テレマクロボタン（P32）

56 静止画 / 一時停止 (❚❚) ボタン（P31、58、81、86、87）

57 美肌ボタン（P32）

58 カード挿入部開くレバー［OPEN▷］（P72）

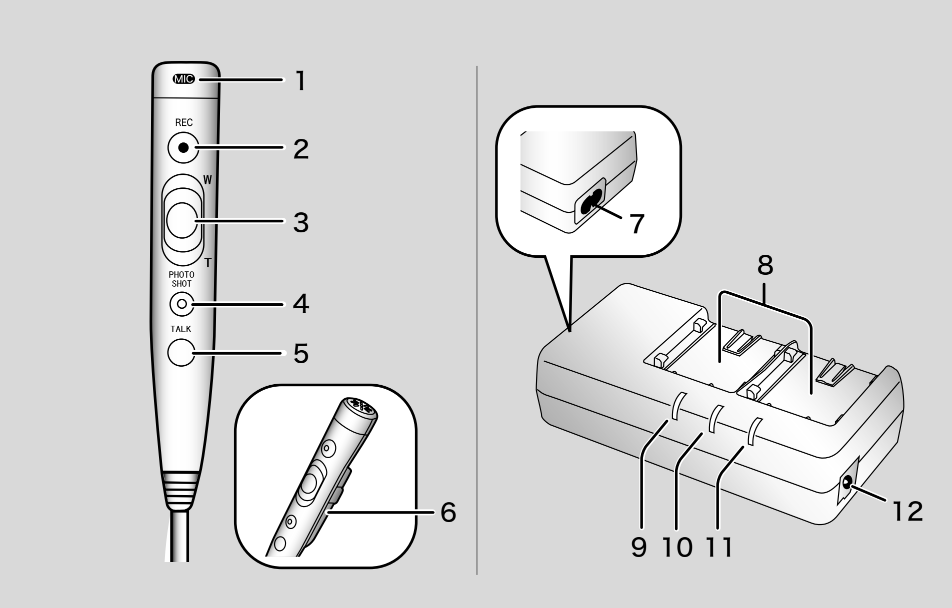
59 カード挿入部閉じる部［押 閉じる］（P72）

60 カード挿入部（P72）

61 三脚取付穴（P115）

各部の名前（つづき）

<フリースタイルリモコン /AC アダプター>



1　マイク部［MIC］（P27）

2　撮影開始 / 一時停止ボタン［REC］（P26、80）

3　ズームレバー［T/W］（P27）

4　フォトショットボタン［PHOTO SHOT］（P34、76）

5　マイク切換えボタン［TALK］（P27）

6　クリップ（裏側にあります）

- クリップをポケットなどに取り付けた状態で移動されるときは、三脚の転倒、机などからの本体の落下にお気を付けください。

7　AC 入力端子［AC IN ～］（P18、19）

電源コードを接続します。

8　バッテリー装着部（P18）

ここにバッテリーを装着して充電します。

9　充電ランプ［CHARGE1］（P18）

充電中に点灯し、満充電完了で消灯します。

10　電源ランプ［POWER］（P18）

電源が供給されると点灯します。

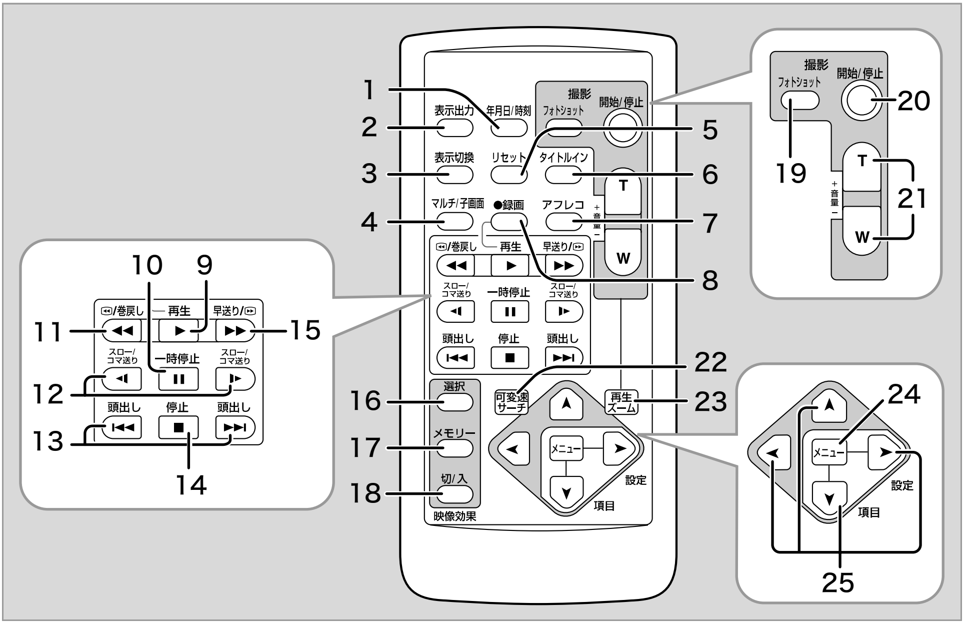
11　充電ランプ［CHARGE2］（P18）

充電中に点灯し、満充電完了で消灯します。

12　DC 出力端子［DC OUT 7.9V］（P19）

DC コードを接続し、ビデオカメラに電源を供給します。

<ワイヤレスリモコン>



1　年月日 / 時刻ボタン（P60）
2　表示出力ボタン（P59）
3　表示切換ボタン（P60）
4　マルチ / 子画面ボタン（P52、53、66）
5　リセットボタン（P60）
6　タイトルインボタン（P95）
7　アフレコボタン（P100）
8　録画ボタン（P102、104）

<再生操作部>

9　再生ボタン※（P58、81、102、104）
10　一時停止ボタン※（P58、81）
11　巻戻しボタン※（P58、81）
12　スロー / コマ送りボタン（P62、63）
13　頭出しボタン（P67）
14　停止ボタン※（P58、81）
15　早送りボタン※（P58、81）

※再生 / カード再生モード時は本体のボタンと同じ働きをします。

<映像効果部>

16　選択ボタン（P64）
17　メモリーボタン（P64）
18　切 / 入ボタン（P64）

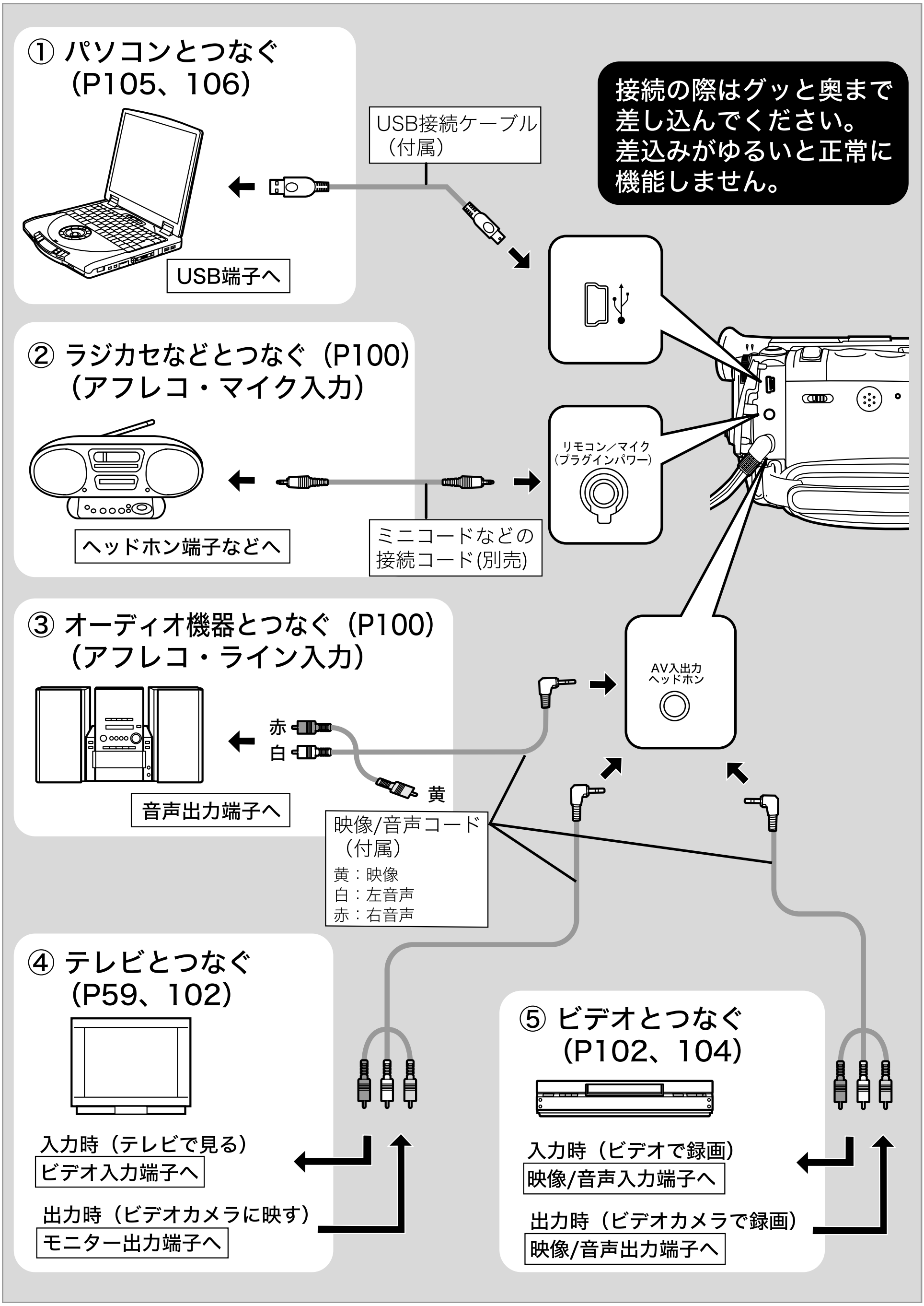
<撮影操作 / 音量調節部>

19　フォトショットボタン※（P34、76）
20　撮影開始 / 停止ボタン※（P26、80）
21　ズーム / 音量ボタン※（P27、59、65）

※撮影時は本体のボタン / レバーと同じ働きをします。

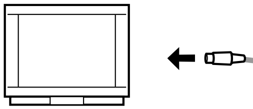
22　可変速サーチボタン（P62）
23　再生ズームボタン（P65）
24　メニューボタン（P24）
25　方向ボタン（P62、65）

他の機器との接続



① パソコンとつなぐ（P105、106）
USB端子へ
USB接続ケーブル（付属）
接続の際はグッと奥まで差し込んでください。差込みがゆるいと正常に機能しません。
② ラジカセなどとつなぐ（P100）（アフレコ・マイク入力）
ヘッドホン端子などへ
ミニコードなどの接続コード(別売)
リモコン／マイク（プラグインパワー）
③ オーディオ機器とつなぐ（P100）（アフレコ・ライン入力）
赤
白
黄
音声出力端子へ
AV入出力ヘッドホン
映像/音声コード（付属）
黄：映像
白：左音声
赤：右音声
④ テレビとつなぐ（P59、102）
入力時（テレビで見る）
ビデオ入力端子へ
出力時（ビデオカメラに映す）
モニター出力端子へ
⑤ ビデオとつなぐ（P102、104）
入力時（ビデオで録画）
映像/音声入力端子へ
出力時（ビデオカメラで録画）
映像/音声出力端子へ

④ テレビとつなぐ
（P59、102）

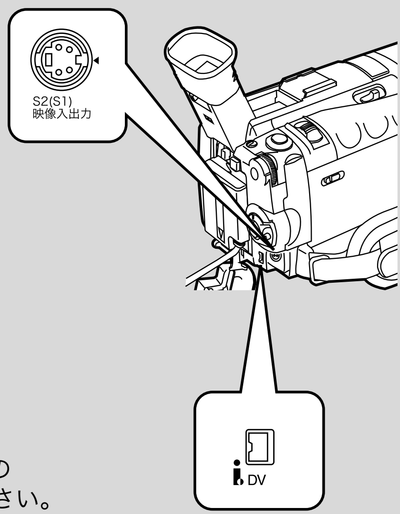


入力時（テレビで見る）
S映像入力端子へ

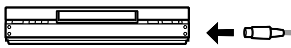
出力時（ビデオカメラに映す）
S映像出力端子へ

S映像コード
（別売）

接続の際はグッと奥まで差し込んでください。
差込みがゆるいと正常に機能しません。



⑤ ビデオとつなぐ
（P102、104）

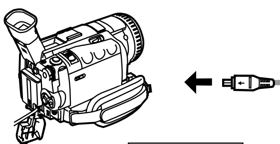


入力時（ビデオで録画）
S映像入力端子へ

出力時（ビデオカメラで録画）
S映像出力端子へ

音声を聞くためには、左ページ ④ または ⑤ の
映像/音声コード（付属）の接続も行ってください。

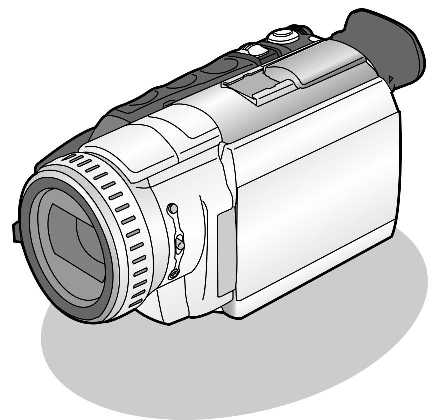
⑥ デジタルビデオ機器とつなぐ
（P104）



DV端子へ

DVケーブル
VW-CD1（別売）

撮影前の確認（撮影準備）



カセット / カード
カセットまたはカードを入れましょう。
詳しくは… P22、72

電源
操作を行うための電源を準備しましょう。
詳しくは… P18、19

液晶モニター/ファインダー
画面が見やすくなるように調整しましょう。
詳しくは…P 20、21、108

レンズキャップ
レンズキャップを外してから電源を入れてください。
(取り付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランス(P130)が正しく合いません)
詳しくは… P113

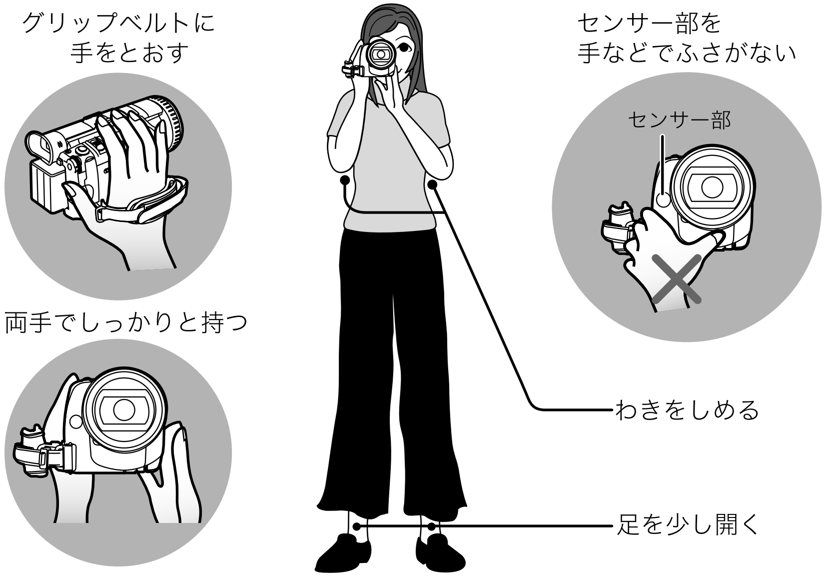
グリップベルト
安定した映像を撮影するために、グリップベルトを手の大きさに合わせて調節しましょう。
詳しくは… P112

ショルダーベルト
持ち運びしやすいように、ショルダーベルトの長さを調整しましょう。
詳しくは… P113

リモコン
操作に便利なフリースタイルリモコンまたはワイヤレスリモコンを利用しましょう。
詳しくは… P110、111

年月日 / 時刻
お買い上げ時にすでに設定されていますが、変更することもできます。
詳しくは… P109

■ 基本的な構えかた



■ チェックポイント

テープに撮影するとき

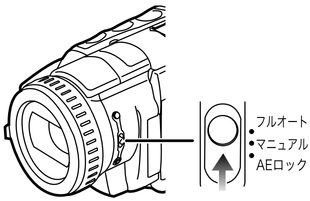
- SP/LP モードの設定（P42）
- 音声記録モードの設定（P28）
- シネマモードの設定（P48）
- 特殊効果の設定（P50）
- 逆光補正の設定（P30）

カードに記録するとき

- カードモードの設定（P73）
- 画像サイズの設定（P73）
- メモリ画質の設定（P73）
- MPEG4 画質の設定（P73）

■ フルオートモードについて

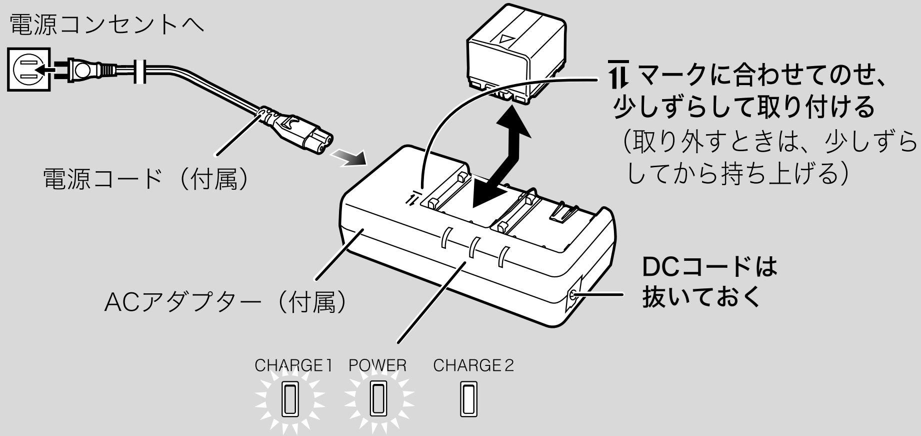
モード切換えスイッチを「フルオート」にすると、自動でピントや色合いを合わせて撮ることができます。（画面に「フルオート」表示が出ます）
また光源や撮る場面によっては、ピントや色合いが自動では合いません。この場合は、手動で調整します。(ピント：P44/ 色合い：P45)



以上の項目を確認して、大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影（録画など）、録音されていることを確かめてください。

バッテリーの充電

2つのバッテリーを続けて充電することができます。(先に取り付けたバッテリーから充電を開始し、満充電完了後、あとから取り付けたバッテリーを充電します)

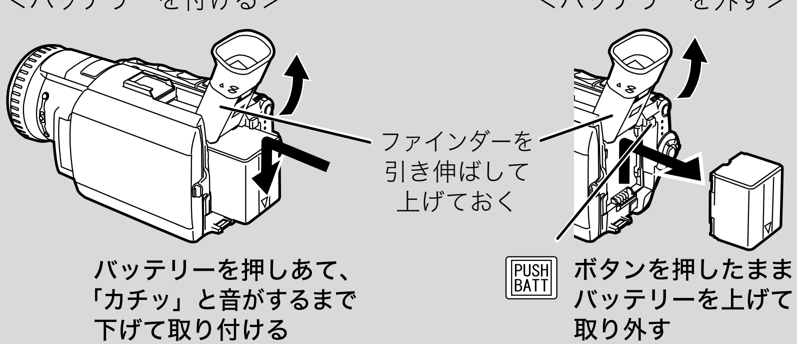


「POWER」ランプ	電源コードをつなぐと点灯します。
「CHARGE1」ランプ 「CHARGE2」ランプ	点灯：充電中 消灯：充電完了 点滅（約0.7秒間隔） ：充電待機中 （もう一方のバッテリーの充電が完了すると充電を始めます）

- バッテリーの温度が高過ぎる、あるいは低過ぎるとき、または過放電の場合、AC アダプターの「CHARGE1」または「CHARGE2」ランプが通常より早く点滅（約 0.4 秒間隔）し、充電時間が通常より長くなります。

バッテリーを付ける / 外す

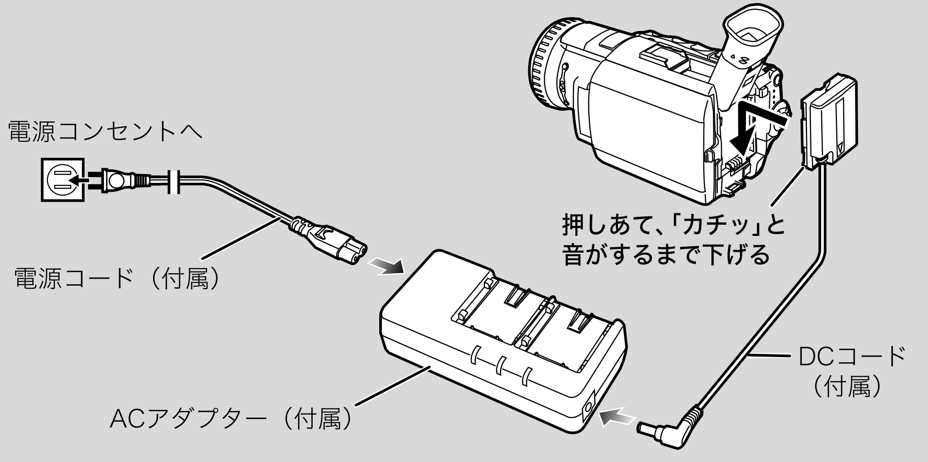
本機の電源を切り（P20）、電源ランプの消灯を確認してから、取付け・取外しを行ってください。



- バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

電源コンセントにつないで使う

下図のようにつないでお使いください。



お願い／ヒントなど

■ バッテリーの充電について

- バッテリーの長期保管については（P125）、AC アダプターの海外での使用については、（P128）をご参照ください。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが異常ではありません。
- バッテリーの残量が少なくなるにつれ、→→→→と表示が変わります。容量がなくなると、（）が点滅します。

■ 充電時間と撮影可能時間について（2003 年 5 月現在）

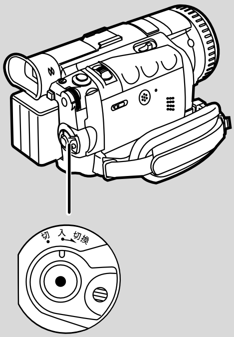
- 下表は常温（温度 25 ˚C / 湿度 60 %）での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなります。めやすにしてください。間欠撮影可能時間とは、撮影、停止などを繰り返したときにテープに記録できる時間です。実際にはこれより短くなることがあります。
- 0 Lux カラーナイトビュー（P33）や対面撮影（P28）などでファインダーと液晶モニターを同時に使用すると、撮影可能時間が短くなります。
- 付属のバッテリーは VW-VBD140 と同等品です。

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影 可能時間	間欠撮影 可能時間
付属のバッテリー / VW-VBD140（別売）	7.2V/ 1360mAh	約 2 時間 45 分	約 2 時間 10 分 （約 1 時間 50 分）	約 1 時間 5 分 （約 55 分）
VW-VBD210 （別売）	7.2V/ 2040mAh	約 3 時間 55 分	約 3 時間 15 分 （約 2 時間 45 分）	約 1 時間 40 分 （約 1 時間 25 分）

ファインダー使用時［（ ）内は液晶モニター使用時］

電源／操作モード切換えスイッチの操作

電源の切 / 入、操作モード［撮影 / 再生 / カード再生］の切り換えができます。

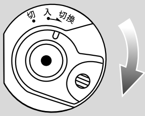


電源/操作モード
切換えスイッチ

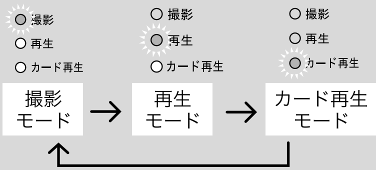


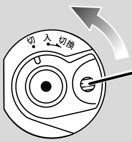
青いボタンを押しながら「入」の位置まで回すと、電源が入り、「撮影」ランプが点灯します。





「切換」の位置まで回すごとに操作モードが 切り換わります。





青いボタンを押しながら「切」の位置まで回すと、電源が切れ、ランプが消灯します。

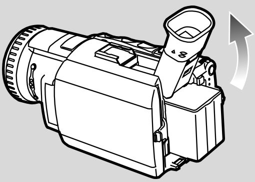
- 操作モードが切り換わったことをランプで確認してから、撮影、再生などの操作を行ってください。

ファインダーで見る

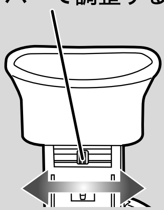
使う前に視力に合わせてファインダー内の文字が一番よく見えるようにしておきます。

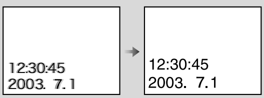
＜見えかたを調整する＞

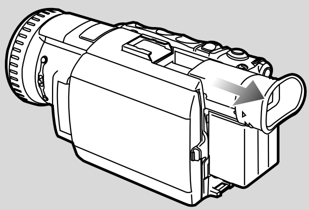
ファインダーを
引き伸ばして上げて、



レバーで調整する

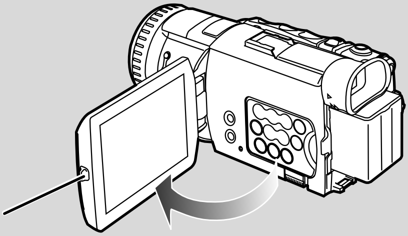






使うときは、ファインダーを見やすい位置まで引き伸ばしてください。

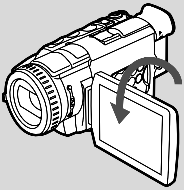
液晶モニターで見る



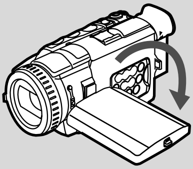
液晶モニターを開くと、
ファインダーは消灯します。



ボタンを押しながら開く



レンズ方向に最大 180°回転し、
対面撮影（P28）することができます。
（この場合はファインダーも同時に点灯します）



ファインダー方向に最大
90°まで回転します。

■ 液晶モニターの角度の調整

撮影する位置によって、液晶モニターの角度を調整することができます。

- 液晶モニターの回転範囲は上図のとおりです。無理に回すと本機の故障や傷が付く原因になります。
- 液晶モニターをレンズ方向へ回転させたとき（対面撮影時）は、ファインダーと液晶モニターが同時に点灯します。そのまま閉じると、再生映像を見るときなどに便利です。

お願い／ヒントなど

■ ファインダーについて

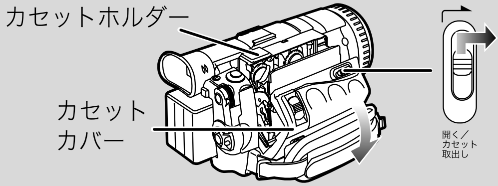
- メニューでファインダーの明るさを調整できます。（P108）

■ 液晶モニターについて

- 液晶モニターを閉じるときは、カード挿入部が閉じていることを確認してから、確実に閉じてください。
- メニューで液晶モニターの色の濃さと明るさを調整できます。（P108）
- **液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。**液晶モニターの画素については 99.99 ％以上の高精度管理をしておりますが、0.01 ％以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はテープやカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

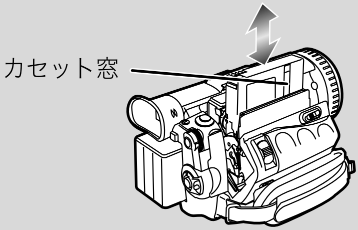
カセットを入れる（出す）

1. カセットカバーを開く



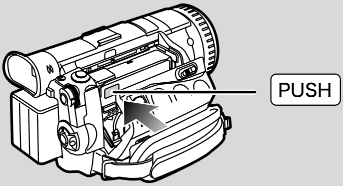
レバーをずらしながら最後まで開くとカセットホルダーが出てきます。

2. カセットを入れる（出す）



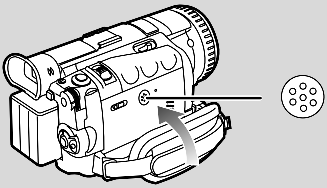
入れるときは、カセット窓を図の向きにして奥まで入れてください。
取り出すときは、まっすぐ抜き取ってください。

3. カセットホルダーを閉じる



「カチッ」と音がするまで押すとカセットホルダーが収納されます。

4. カセットカバーを閉じる



カセットホルダーが完全に収納されてから閉じてください。

お願い／ヒントなど

■ カセットを出し入れするときは

- カセットホルダーの動作中は、「PUSH」表示部以外は触らないでください。
- カセットを入れるときは、方向をよく確かめ、最後まで確実に入れてください。
- 使用途中のカセットを入れたときは、カメラサーチ機能（P39）やブランクサーチ機能（P71）を使って、続けて撮影する部分を探してください。特に、一度使用したカセットに重ね撮りする場合、必ず続けて撮影する部分を探してから、撮影してください。
- カセットカバーを最後まできちんと閉じてお使いください。カセットカバーが開いた状態で、本機の内部に外の光が入ると、「カセットカバーをとじてください」と表示され、正しく動作しないことがあります。
- カセットカバーを閉じるときは、コードなどを挟み込まないようにお気を付けください。

■ カセットホルダーが納まらないときは

- 「PUSH」表示部を「カチッ」と音がするまで押す。
- 電源スイッチを入れ直す。
- バッテリーが消耗していないか確認する。

■ カセットホルダーが出てこないときは

- カセットカバーを一度完全に閉じてから、再度最後まで開く。
- バッテリーが消耗していないか確認する。

■ 画面上のテープ残量表示について

- テープ残量を分単位で表示します。（3 分未満は点滅表示）
- 15 秒以下の撮影では残量表示が出ないか、または正確に出ないことがあります。
- 実際のテープ残量より2〜3分少ない表示が出ることがあります。

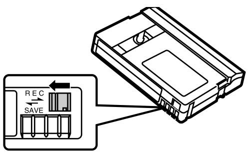
■ 使用できる当社のカセットについて（2003 年 5 月現在）

カセット品番	使用できる時間	
	SP	LP
AY-DVM30	30分	45分
AY-DVM60	60分	90分
AY-DVM80	80分	120分

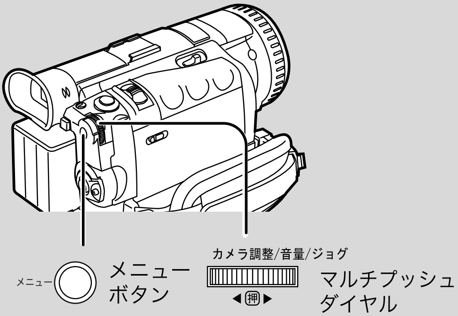
- SP（標準）：Standard　Play の意味です。
- LP（長時間）：Long Play の意味です。（P43）
- カセットは絶対に高温の場所に置かないでください。テープがいたんで再生時にモザイク状のノイズが出ることがあります。

■ 誤消去防止つまみについて

- 撮影後は、誤って撮影内容を消さないために、カセットの誤消去防止つまみを［SAVE］側（開く）にしておくと、撮影ができなくなります。［REC］側に戻すと、撮影が可能になります。



使う前に



マルチプッシュダイヤルの基本操作



クルッと回して選ぶ　　ポンと押し込んで決める（設定する）

メニューを設定する

さまざまな機能や設定を行うためにメニューを操作します。

例：「ヒョウジセッテイ」メニューの「カウンタモード」を「タイムコード」に設定する場合

本書内では、このような操作を下のように説明しています。

メニュー操作する

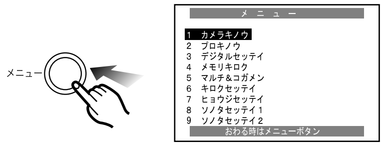


「ヒョウジセッテイ」メニュー
→「カウンタモード」
→「タイムコード」

■ メインメニューを操作する

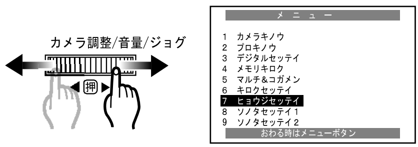
操作モード（撮影 / 再生 / カード再生）を選んでおく。

1. メインメニューを表示する



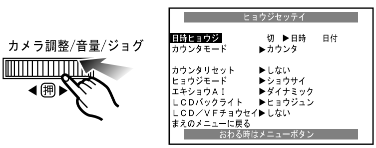
操作モードに応じたメニューが表示されます。（例：撮影モード）

2. サブメニュー項目を選ぶ



選んだサブメニュー項目が反転表示されます。

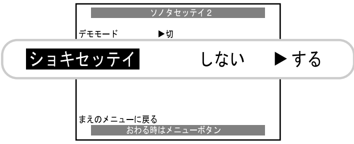
3. 選んだ項目に決める



選んだサブメニューが表示されます。

■ メニューを初期設定に戻す

機能の組み合わせによって、選択できないメニューがあります。(P119)
このときは、メニューをお買い上げ時の設定に戻してから操作してください。



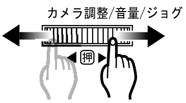
撮影モード
「ソノタセッテイ 2」メニュー
→「ショキセッテイ」
→「する」

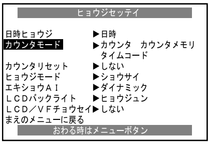
初期設定が完了すると、「設定カンリョウ」と表示されます。

初期設定の一覧は 116 ～ 118 ページをご覧ください。

■ サブメニューを操作する

4. 設定したい項目を選ぶ

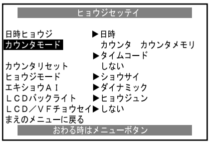




選んだ項目が反転表示されます。

5. 選んだ項目に決める





押すたびに ▶ が移動し、設定されます。

■ 設定を終えて、操作画面に戻る

メニューボタンを押す

■ サブメニューからメインメニューに戻る

マルチプッシュダイヤルを回して「まえのメニューに戻る」を選び、押す

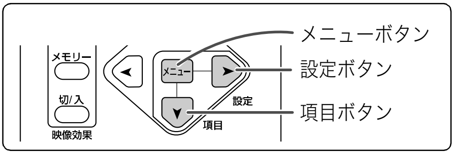
📖 お願い／ヒントなど

■ メニューの設定について

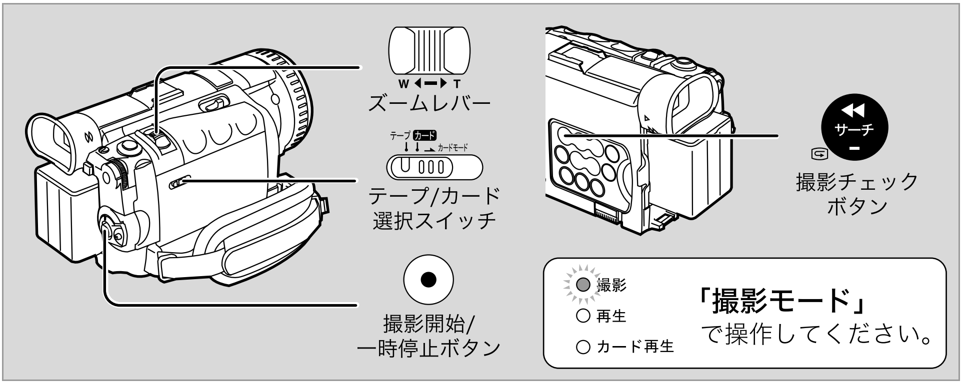
- メニュー表示中は操作モードを切り換えないでください。
- メニュー画面の各項目については、「メニュー画面の表示」をご参照ください。(P116 ～ 118)
- メニューの設定項目などによって選択できない項目は濃い青色で表示されます。(P119)
- 撮影中、録画中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中に撮影、録画はできません。

■ ワイヤレスリモコン（P110）を使ってメニューを設定する

- 項目を選ぶときは項目ボタン､設定するときは設定ボタンを押してください。

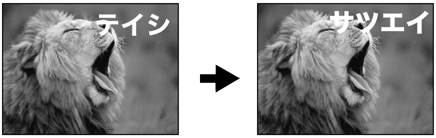


使う前に

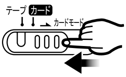


テープに撮る

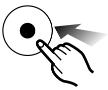
（通常の撮影）



1. 「テープ」にする



2. 撮影する / 一時停止する

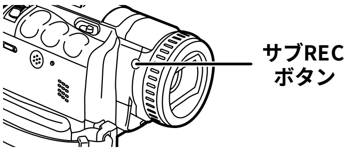


ボタンを押すと、撮影が始まります。もう一度押すと、撮影の一時停止状態に戻ります。

- 本機にカセットを入れたまま、撮影の一時停止（「テイシ」）状態が 5 分以上続くと、テープ保護とバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。
再び撮るときは、電源スイッチを「切」にしてから再度、「入」にしてください。また、カセットを出しておくと自動的に電源が切れることはありません。

■ サブ REC ボタンを使って撮る

ビデオカメラ上部前方にあるサブ REC（撮影開始 / 一時停止）ボタンを使っても同じように撮影することができます。



- 低い位置での撮影時など、背面にある撮影開始 / 一時停止ボタンを押しにくい場合に便利です。

■ 撮った内容を確認する（撮影チェック）

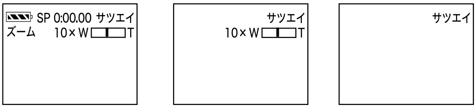


最後に撮った部分を 2 ～ 3 秒間再生します。チェック終了後は、撮影の一時停止状態に戻ります。

■ 画面の表示について

- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「ヒョウジモード」を設定すると、画面の表示を図のように切り換えられます。

「ショウサイ」設定時　「カンタン」設定時　「切」設定時

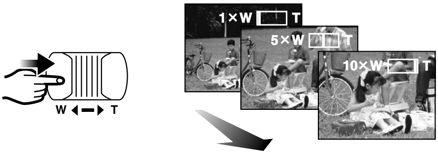


（撮影モード時の例です）

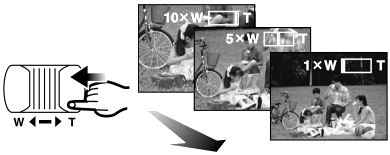
大きくまたは広く（広角に）撮る

遠くの人や物を大きく撮ったり、景色などを広角に撮ることができます。

大きく撮る（ズームイン）



広角に撮る（ズームアウト）



■ さらに大きく撮る（デジタルズーム）

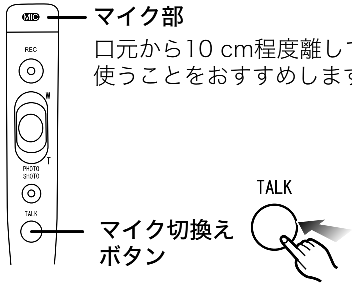


「カメラキノウ」メニュー
→「デジタルズーム」
→「25倍」または「100倍」

フリースタイルリモコンのマイクを使う

フリースタイルリモコンのマイク切換えボタン［TALK］を押すと、本体の内蔵マイクとフリースタイルリモコンのマイクを切り換えられます。本機との接続については 111 ページをご覧ください。

マイクを切り換える



マイク部
口元から10 cm程度離して使うことをおすすめします。

マイク切換えボタン



ボタンを押している間「🎤」が表示され、フリースタイルリモコンのマイク部［MIC］から録音されます。

■ 本体のマイクから録音する

マイク切換えボタンから指を離す

📖 お願い／ヒントなど

■ 通常の撮影について

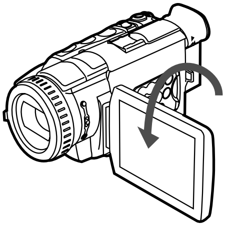
- 撮影中にテープフォトショット（P34）すると、静止画を記録したあとテープは撮影の一時停止になります。

■ 撮影チェックについて

- 撮影チェックは、撮影したときと同じモード（SP または LP）で行ってください。モードが異なっているとチェック画面が乱れる場合があります。

■ 対面撮影について

- 液晶モニターを手前（レンズ側）に回転させると、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ることができます。また撮影する相手にも内容を見せながら撮れるため便利です。

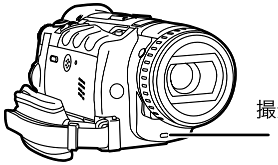


■ 液晶モニターに映る映像を左右反転させる

- 「ソノタセッテイ 1」メニューの「タイメンモード」を「ミラー」に設定すると、対面撮影時に液晶モニターに映る映像を左右反転して見ることができます。（記録されるのは「ノーマル」と同じ内容です）
  - 「ミラー」　：鏡を見ているような映像になります。
  - 「ノーマル」：記録しているのと同じ映像になります。
- 「タイメンモード」を「ミラー」に設定すると、タイトルインしたイラストは左右反転表示しますが、記録は通常どおりです。
- 「タイメンモード」を「ミラー」に設定すると、文章表示は「[!]」と表示されます。液晶モニターを元に戻して、文章表示内容を確認してください。（P122）

■ 撮影お知らせランプについて

- 撮影中に点灯、リモコン受信時に点滅します。



- 「ソノタセッテイ 1」メニューの「サツエイランプ」を「切」に設定すると、ランプは点灯しません。

■ お知らせブザーについて

- 撮影の開始や終了などを音で確認できます。

「ピッ」　：撮影開始時や電源を「切」から撮影モードにすると鳴ります。

「ピピッ」　：撮影の一時停止時に鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」

：カセットやカードが入っていなかったり、誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れたとき、つゆつき(P127)が起こったときなどに鳴ります。画面に出る文章表示(P122)の内容を確認してください。

- 「ソノタセッテイ 1」メニューの「お知らせブザー」を「切」に設定すると、ブザーは鳴りません。

■ PCM（ピーシーエム） 音声について

- 本機の音声サンプリング周波数は、［12 bit 32 kHz 4 トラック（12 bit）］と［16 bit 48 kHz 2 トラック（16 bit)］の 2 種類から選んで記録することができます。
- 「キロクセッテイ」メニューの「音声キロク」で「12bit」または「16bit」を選択できます。
- 「16bit」では、高音質で記録することができます。
- アフレコする場合に撮影時の音声を残したい場合は 「12bit」で撮影してください。「16bit」トラックでアフレコすると撮影時の音声は消去されます。

■ ズーム機能について

- 本機を手に持って拡大して撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。（P42）
- ズームレバーを T 側にして被写体を大きくしているときは、約 1.2 m 以上でピントが合います。
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。
- ズーム倍率 1 倍では、レンズから約 4 cm まで近づいて撮ることができます。（マクロ機能）

■ 可変速ズーム機能について

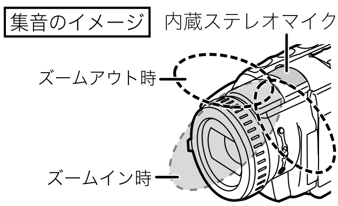
- ズームレバーを最後まで押し込むと、撮影の一時停止中は最速約 0.3 秒（撮影中は約 0.8 秒）で 1 ～ 10 倍までズームできます。
- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- フリースタイルリモコンを使った場合、ズーム速度は 2 段階に変化します。
- ワイヤレスリモコンでは可変速ズーム機能は使えません。

■ デジタルズームについて

- 設定した倍率まで大きく撮れます。
- ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。
- 拡大するほど画質が悪くなります。
- 白バランスの選択はできません。
- プログレッシブ機能は使えません。

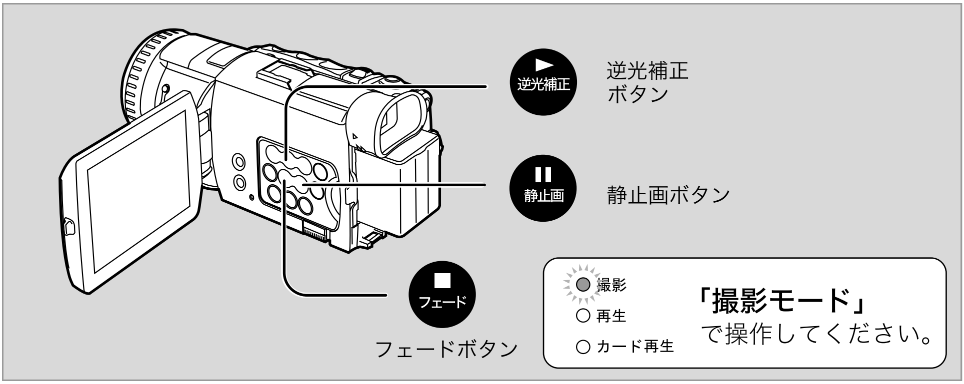
■ ズームマイク機能について

- 「キロクセッテイ」メニューの「ズームマイク」を「入」に設定すると、ズーム操作に連動して内蔵ステレオマイクの指向角、感度を可変して集音します。外部マイク使用時はズームマイク機能は使えません。



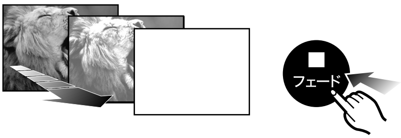
- メニューで「ズームマイク」を「入」に設定していても、外部マイクには効果は反映されません。
- カードへの撮影時には使えません。

撮る



映像と音声を徐々に現して／消して撮る

映像・音声を消しながら撮る（フェードアウト撮影）



ボタンを押し続けると、映像が少しずつ消えていきます。

映像・音声を現しながら撮る（フェードイン撮影）

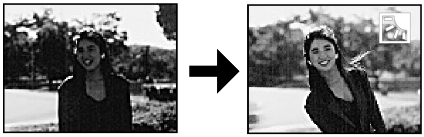


ボタンから指を離すと、映像が少しずつ現れます。

逆光で撮る

（逆光補正）

逆光で人物などが暗くなるのを防ぐときに使います。(逆光とは、人物など、被写体の後ろ側から光が当たることです)



逆光を補正する



「」が緑色で点滅している間は補正中です。補正が終わると、白く点灯し、画面の映像が明るくなります。

■ 元に戻す

もう一度、逆光補正ボタンを押す

映像を止めて撮る

(静止画撮影)

画面に映る映像を静止させることができます。

映像を止める



画面の映像が静止します。

■ 元に戻す

もう一度、静止画ボタンを押す

お願い／ヒントなど

■ フェード撮影について

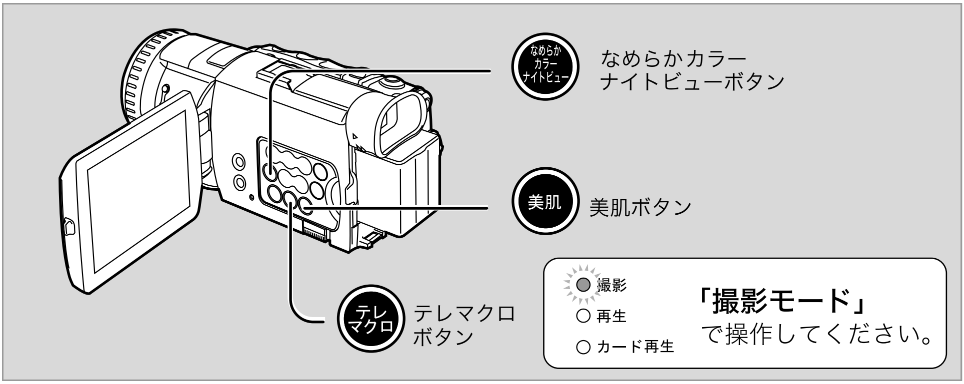
- フォトショット中、静止画中、マルチで9画面を表示しているときは、映像のフェードはできません。

■ 逆光補正について

- 電源/操作モード切換えスイッチを操作すると解除されます。
- 絞り・ゲイン設定時には働きません。

■ 静止画撮影について

- フラッシュ撮影時など静止画を撮影するときは、静止画ボタンを押して液晶モニターの画面を確認してから、フォトショットボタンや撮影開始/一時停止ボタンを押すことをおすすめします。
- ワイド / プロシネマボタン、なめらかカラーナイトビューボタンまたはテープ/カード選択スイッチを操作すると静止画は解除されます。
- 静止画にしていても、撮影開始 / 一時停止ボタンを使って撮影すると、フォトインデックス信号（P69）は記録されません。
- 静止画にしているときは、マルチ画面にはなりません。
- ライン入力時、DV 入力時は静止画ボタンは働きません。



クローズアップして撮る（テレマクロ機能）

撮りたいものにだけピントを合わせて、より際立たせることができます。



テレマクロモードにする



ズーム倍率が 10 倍以下のときは、自動的に 10 倍になります。
約 40 cm まで近づいて撮影できます。

■ 元に戻す
もう一度、テレマクロボタンを押す

肌の色をきれいに撮る（美肌モード）

人の肌をソフトに見せ、よりきれいに映します。（下図のように、人物の胸から上を大きく撮影すると、より効果的です）



美肌モードにする



肌色がソフトになります。

■ 元に戻す
もう一度、美肌ボタンを押す

暗い場所で撮る

(なめらかカラーナイトビュー)

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて、動きもなめらかに撮影できます。三脚に取り付けて使うと、よりぶれの少ない映像が撮れます。フォーカスはマニュアルになります。(P44)

「切」、「なめらかナイトビュー」、「0LUX ナイトビュー」を切り換える



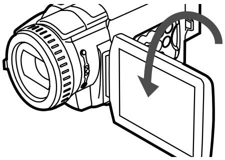
なめらかカラーナイトビューボタンを押すごとにモードが切り換わります。



「なめらかナイトビュー」:
画面の映像がカラーで明るくなります。(なめらかカラーナイトビュー)



「0LUX ナイトビュー」:
液晶モニターを反転させて、白く光るライトパネルとして使えます。(0 Lux カラーナイトビュー)



- ライトパネルの明かりを使うと、真っ暗な場所でも約 1 m 先まで撮影できます。ファインダーで映像を見ながら撮影してください。

■ 元に戻す

なめらかカラーナイトビューボタンを数回押して「なめらかナイトビュー」または「0LUX ナイトビュー」表示を消す

お願い／ヒントなど

■ テレマクロ機能について

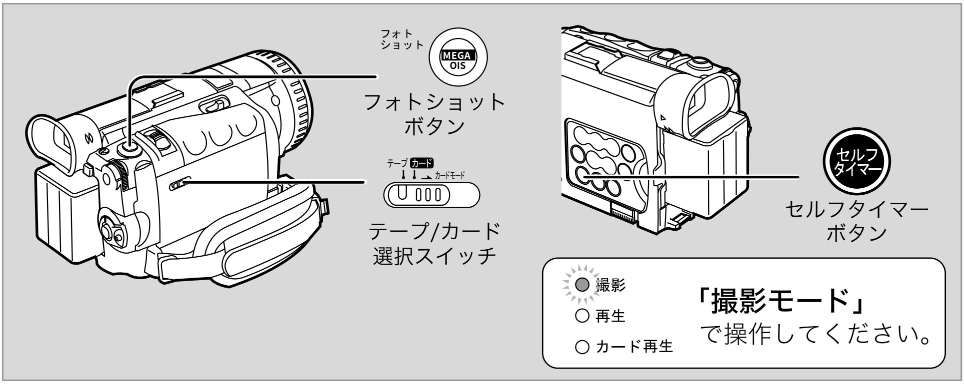
- ピントが合いにくいときは、マニュアルで調整してください。(P44)
- 撮影中はテレマクロボタンを押しても切り換わりません。
- ズーム倍率を 10 倍未満にすると、自動的に解除されます。
- デジタルズームを使うと、10 倍より大きな倍率でもテレマクロ機能が使えます。
- 電源/操作モード切換えスイッチを操作すると、解除されます。

■ 美肌モードについて

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。

■ なめらか / 0 Lux カラーナイトビューについて

- 以下の機能は使えません。
  - ・プログレッシブ機能　・AE 設定
  - ・フレーム動画　・デジタル機能
  - ・連写フォトショット　・フラッシュ
- モード切換えスイッチが「AE ロック」の位置にあると使えませんので、「フルオート」または「マニュアル」にしてから設定してください。
- 撮影した映像はコマ落としのようになります。
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
- 電子シャッター、絞り・ゲインは自動で調整されます。
- フォーカスはマニュアルになります。
- プロシネマモードとは同時に使えません。
- なめらかカラーナイトビューは、CCD の信号蓄積時間を最大で通常の約 8 倍にすることにより、通常では見えない暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 0 Lux カラーナイトビューは、なめらかカラーナイトビューほど映像はなめらかではありません。

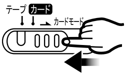


テープに静止画を撮る（テープフォトショット）

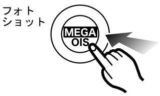
テープに約 7 秒間静止画を記録します。



1.「テープ」にする



2. 撮る

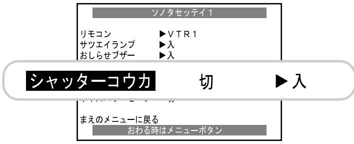


記録が終わると、撮影の一時停止状態に戻ります。

■シャッター効果を入れて撮る

フォトショット時に、シャッター映像とシャッター音が記録されます。

メニュー操作する（P24）

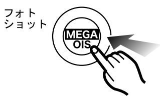


「ソノタセッテイ 1」メニュー
→「シャッターコウカ」
→「入」

■テープに連続した静止画を撮る（連写フォトショット）

シャッター効果を使っているときのみ可能です。
（プログレッシブ機能またはフラッシュを使っているときは連写できません）

フォトショットボタンを押し続ける



押している間、約 0.7 秒間隔で静止画を撮ります。
ボタンから指を離すと連写を終わります。

自分も入って撮る

（セルフタイマー撮影）

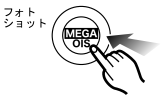
タイマーを使ってテープまたはカード（P76）へフォトショット撮影できます。

1. タイマーをセットする



もう一度押すとタイマーは解除されます。

2. タイマーをスタートさせる



「Ò」表示と撮影お知らせランプが 10 秒間点滅したあと記録されます。撮影後、セルフタイマーは解除されます。

■ タイマーを途中で止める

セルフタイマーボタンを押す、または
メニューボタンを押す

📖 お願い／ヒントなど

■ テープフォトショットについて

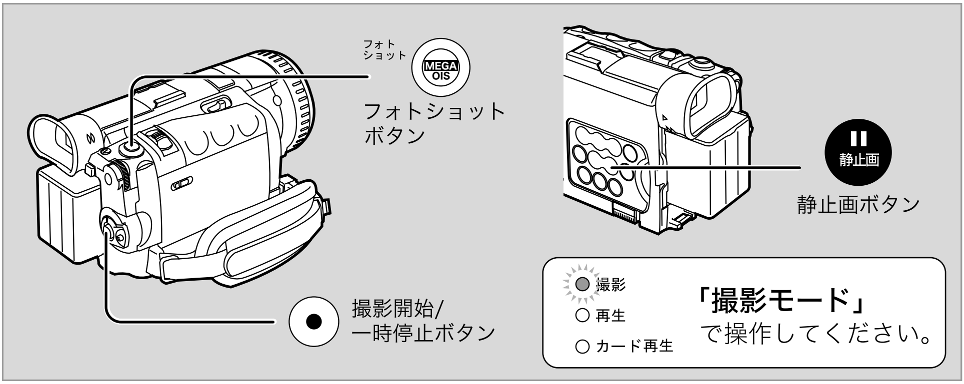
- プログレッシブ機能（P36）を使うと、より高画質な静止画を撮ることができます。
- フォトショット画像にはインデックス信号が記録されます。(ただし、連写フォトショット時には記録されません)
  後でフォトサーチ（P67）、画像伝送（P99）できます。
- テープフォトショット時は、フォトショットボタンを半押ししても MEGA OIS（P76）は働きません。

■ 連写フォトショットについて

- 静止画ボタンを押して静止画にしないでください。
- ボタンから指を離しても 1 コマ多く撮れることがあります。
- 以下の場合は使えません。
  - ・プログレッシブが「入」または「オート」設定時（P36）
  - ・なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー使用時（P33）
  - ・フラッシュ撮影時（P38）
- 連写フォトショットの画像にはインデックス信号は記録されません。

■ セルフタイマー撮影について

- 撮影の 3 秒前になると「Ò」表示と撮影お知らせランプの点滅する間隔が短くなります。
- 電源/操作モード切換えスイッチを操作すると、セルフタイマーは解除されます。
- 連写カードショット（P77）を設定している場合には、最大記録枚数まで撮影します。
- 撮影開始/一時停止ボタンを使ってのセルフタイマー撮影はできません。



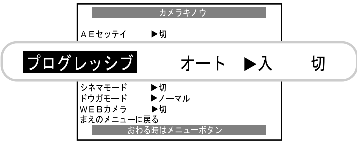
より高画質な静止画を撮る

（プログレッシブ機能）

静止画をより高画質なフレーム静止画で撮ることができます。



1. メニュー操作する（P24）



「カメラキノウ」メニュー
→「プログレッシブ」
→「オート」または「入」

2. 撮りたい場面を静止画にする



もう一度押すと静止画は解除されます。お気に入りの場面になったら撮影してください。

3. 撮る



■「プログレッシブ」が「入」のときに使えない機能

- デジタル機能（P50）
- デジタルズーム（P27）
- 電子シャッターの 1/750 以上（P45）
- フレーム動画（P37）

■「プログレッシブ」を「オート」にすると、以下のときにプログレッシブ機能が使えなくなります。（P マークが消えます）

- ズーム倍率が約 10 倍以上のとき
- 電子シャッターが 1/750 以上のとき
- マルチ画面が出ているとき
- マルチ、コガメン以外のデジタル機能を設定しているとき
- フレーム動画設定時

動画モードを切り換える（フレーム動画）

1 秒間に 30 枚の速度でフレーム静止画を連続して撮影します。静止画再生すると、動きのあるシーンも高画質な静止画が得られます。（音声も記録できます）

メニュー操作する（P24）



「カメラキノウ」メニュー
→「ドウガモード」
→「フレーム」

■ 元に戻す

「ドウガモード」を「ノーマル」に設定する

お願い／ヒントなど

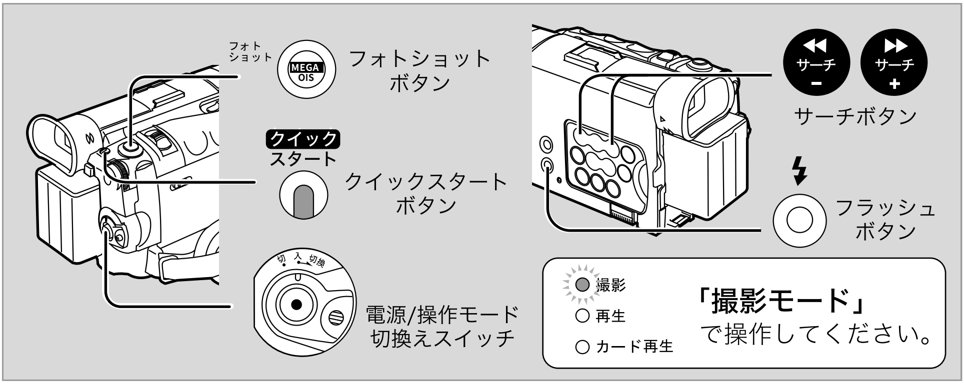
■ プログレッシブ機能について

- 静止画撮影時に、本機から「カチッ」音がしますが、故障ではありません。「カチッ」音が記録されないように、撮影の一時停止中にフォトショットボタンまたは静止画ボタンを押してください。
- AE 設定のスポーツモード、ポートレートモード時に映像の明るさが変わることがあります。
- 「プログレッシブ」を「入」または「オート」に設定すると、テープへ連写フォトショットはできません。
- なめらか / 0 Luxカラーナイトビュー(P33)使用時またはワイド/プロシネマモード設定時には使えません。
- カードモードにすると「プログレッシブ」は自動的に「入」になります。
- 「フラッシュ」が「切」で、「プログレッシブ」が「オート」に設定されている場合、明るさが不十分なときに P マークが点滅し、その間、プログレッシブ機能は使えません。
- 「プログレッシブ」が「オート」のとき、マニュアルでゲイン領域に設定すると P マークが点滅することがあります。

■ フレーム動画について

- 通常再生時は「コマ落とし」のような映像になります。
- 通常撮影時は「ドウガモード」を「ノーマル」にしてお使いください。
- 「ドウガモード」を「フレーム」にすると、デジタル機能（P50）は使えません。

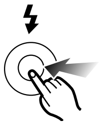
撮る



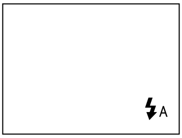
オートポップアップフラッシュを使って撮る

フラッシュを使うと、暗い場所でのフォトショット、静止画撮影に便利です。

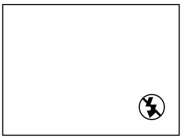
1. 「オート」、「切」、「入」を切り換える



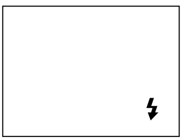
フラッシュボタンを押すごとに切り換わります。



「オート」:
周りの明るさを感知し、自動でポップアップして発光します。(明るいところでは表示が消え、発光しません)

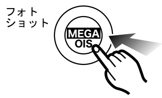


「切」:
フラッシュはポップアップも発光もしません。



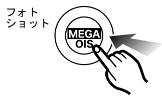
「入」:
常にポップアップし、発光します。

2. フォトショットボタンを半押し（浅く押す）してフラッシュをポップアップさせる



フラッシュの設定、周りの明るさによってはポップアップしません。

3. 半押しの状態から、全押し（下まで押す）して記録する

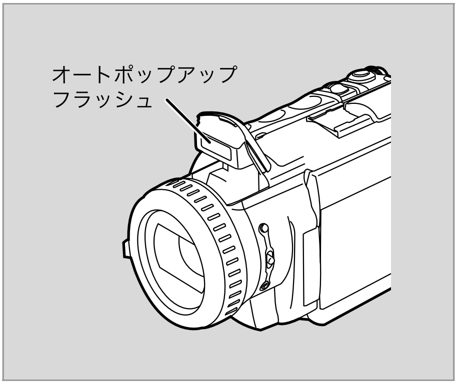


同時にフラッシュが発光します。

4. 使い終わったらフラッシュを指で押して閉じておく

■静止画ボタンを使ってフラッシュを発光させる

手順 2 で静止画ボタンを押すと、フラッシュが発光し、画面が静止します。お気に入りの場面になったら、記録してください。

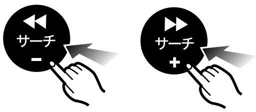


撮影の一時停止中に撮った場面を見る

(カメラサーチ)

撮影の一時停止中に、今まで撮影した場面を見る (探す) ことができます。
任意の場所を探し出し、そこから続けて撮影 (つなぎ撮り) するときに便利です。

場面を探す



ボタンを押し続けている間、テープを再生（逆再生）します。

■ カメラサーチを終了する

サーチボタンから指を離す

素早く撮影を始める

(1.7 秒クイックスタート)

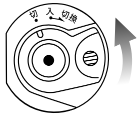
電源を入れてから約 1.7 秒で撮影の待機状態になります。

1. クイックスタートモードにする



クイックスタートボタンが点灯します。(もう一度押すと消灯し、解除されます)

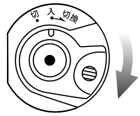
2. 電源を「切」にする



青いボタンを押しながら回してください。

クイックスタートの待機状態になります。

3. 電源を「入」にする



青いボタンを押しながら回してください。

約 1.7 秒で撮影の一時停止状態になります。

■ クイックスタートを解除する

クイックスタートの待機状態でクイックスタートボタンを 2 秒以上押す
(ボタンが消灯して解除されます)

撮る

■ フラッシュについて

- 本機はフラッシュを「切」にしていても、周囲の明るさを感知し、フラッシュの発光が必要かどうかを自動判別します。
（フラッシュが必要と判断したときは、「⊘」が黄色で表示されます）
- 「⚡」、「⚡+」、「⚡−」、「⚡A」、「⚡A+」、「⚡A−」が点灯するとフラッシュが発光します。また、「⊘」が点灯中は発光しません。
- フラッシュが発光する状態では、連写フォトショットはできません。
- 子画面にしたとき、タイトル作成時、フラッシュが発光します。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は暗い部屋で約 1 m ～ 2.5 m です。2.5 m 以上では暗く映ったり、画面が赤っぽくなる場合があります。「フラッシュ」が「オート」のとき、電子シャッター、絞り / ゲインを調整すると「⚡」などの表示が消え、フラッシュが発光しない場合があります。
- フラッシュを発光させると、電子シャッターの 1/750 以上は 1/500 に固定されます。
- 暗いところではピントが合わない場合がありますので、マニュアルでピント（フォーカス）を合わせてください。（P44）
- 白っぽい背景の前でフラッシュを発光させると、被写体が暗く映る場合があります。
- コンバージョンレンズ（別売）を付けていると、フラッシュの光をさえぎるため影が現れ、暗くなる場合があります（ケラレ）。
- フィルターキット /VW-LF43W（別売）の ND フィルターを取り付けた状態で使用しないでください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では、「フラッシュ」を「切」に設定しておいてください。
- フラッシュがポップアップした状態で持ち運ばないでください。
- フラッシュ発光部を手などでふさがないでください。
- 以下の場合フラッシュは発光しません。
  - ・撮影中
  - ・連写フォトショット時
  - ・連写カードショット時
  - ・なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー使用時
  - ・MPEG4 動画撮影中

■ フラッシュの明るさを調整する

- 「キロクセッテイ」メニューの「フラッシュアカルサ」でフラッシュの明るさを調整することができます。

「ノーマル」：通常の撮影時
（「⚡A」または「⚡」表示が出ます）

「＋」：明るさが不十分なとき
（「⚡A+」または「⚡+」表示が出ます）

「−」：明るさが強すぎるとき
（「⚡A−」または「⚡−」表示が出ます）

■ フラッシュ発光時に人物の目が赤くなるのを軽減する（赤目軽減）

- 「キロクセッテイ」メニューの「赤目ケイゲン」を「入」にすると、赤目を軽減することができます。（「👁」表示が出ます）
- 撮影状況によっては、目が赤く映る場合があります。

■ ビデオフラッシュ VW-FLHDJ3（別売）を使うと

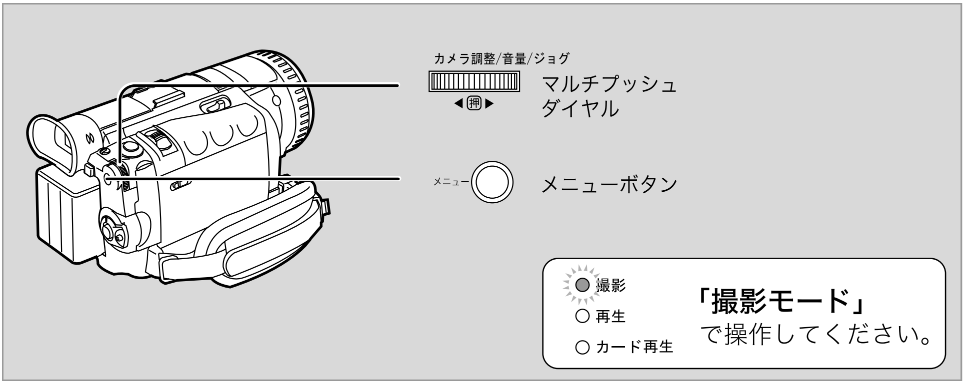
- 2.5 m 以上でも暗い場所でのフォトショット、静止画撮影ができます。使用可能範囲（めやす）は約 1 m ～ 4 m です。
- 内蔵フラッシュと同時に使用できません。
- フラッシュの明るさは調整できません。
- 電子シャッター、絞り / ゲイン、白バランスは固定になります。
- 屋外や逆光などの明るいところでフラッシュを使用すると、映像が白とび（色とび）する場合がありますので、この場合フラッシュを使用せずにマニュアルで絞りを調整するか、逆光補正機能をお使いください。
- ビデオフラッシュの説明書もよくお読みください。

■ カメラサーチについて

- 画面がモザイク状になる場合がありますが、これはデジタルビデオ特有の現象です。異常ではありません。
- 記録モード（SP/LP）の設定がテープに記録されている設定と異なっていると、映像が乱れることがあります。

■ クイックスタートについて

- クイックスタートの待機状態でも、わずかに電力を消費しています。
- 待機状態でクイックスタートボタンを約 2 秒押し続けると、ボタンが消灯してクイックスタートが解除され、完全に電源が切れます。
- クイックスタートボタンを点灯させたまま撮影の一時停止状態が 5 分以上続くと、クイックスタートの待機状態に切り換わります。再び電源を入れるには、一度電源 / 操作モード切換えスイッチを「切」にしたあと再度「入」にしてください。
- 待機状態が約 30 分以上続くと、ボタンが消灯して完全に電源が切れます。
- 白バランスがオートモードの状態でクイックスタートすると、最後に撮影した場面と光源が違う場合、白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。（ただし、なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー使用時は最後に撮影したときの白バランスが保持されます）
- 待機状態から電源を入れると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になり、待機する前と比べて画像の大きさが変わります。
- クイックスタートボタンが点灯しているときに、バッテリーを交換したり、電源 / 操作モード切換えスイッチを操作すると、ボタンが消灯し、設定は一時的に解除されます。再度撮影モードにすると、クイックスタートモードに設定されます。
- テープ / カード選択スイッチが「テープ」で、本機にテープが入っていないとき、または「カード」で、本機にカードが入っていないときは、クイックスタートモードに設定できません。



ぶれを少なくして撮る

(手ぶれ補正)

手ぶれが起きやすい場面でお使いください。

メニュー操作する(P24)



「カメラキノウ」メニュー
→「テブレホセイ」
→「入」

- カードフォトショット(P76)時にはフォトショットボタンを半押しすると、手ぶれ補正の効果が強くなります。
(MEGA OIS)

長時間撮る

(LPモード)

「LP」モードに設定すると、「SP」モードの1.5倍長くテープに記録することができます。

メニュー操作する(P24)



「キロクセッテイ」メニュー
→「キロクモード」
→「LP」

■ デモモードについて

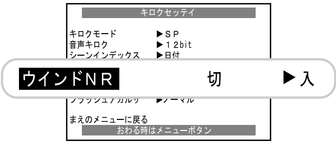
- 撮影モード中、カセットおよびカードが入っていない状態で「デモモード」を「スタンバイ / 入」に設定すると本機の紹介（デモ）が始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がない場合にも自動的に始まります。カセットまたはカードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると停止します。通常は「切」にしてお使いください。

風の強いときに撮る

（ウインドノイズリダクション）

内蔵マイクに当たる風の音を低減します。

メニュー操作する（P24）



「キロクセッテイ」メニュー
→「ウインド NR」
→「入」

お願い／ヒントなど

■ 手ぶれ補正について

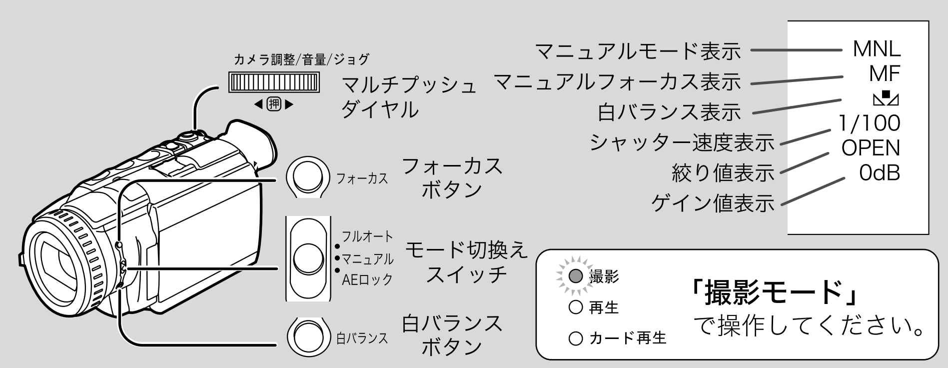
- 三脚使用時は、手ぶれ補正を使わないことをおすすめします。
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 蛍光灯下では、画面の色や明るさが変化することがあります。
- 以下の場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・デジタルズーム使用時
  - ・コンバージョンレンズ使用時
  - ・極端に暗い場所での撮影時

■ LP モードについて

- 本機の性能を十分に生かすため、パッケージに「LP モード」表示のある当社製のデジタルビデオカセットをおすすめします。
- LP モードで記録した映像にアフレコ（P100）はできません。（アフレコする場合は SP モードで記録してください）
- LP モードで撮っても画質は劣化しませんが、以下の場合にモザイク状のノイズなどが出たり機能が制限されることがあります。
  - ・他のデジタルビデオ機器、または LP モードがないデジタルビデオ機器で再生
  - ・他のデジタルビデオ機器で LP 録画したテープを本機で再生
  - ・スロー / コマ送り再生時（P62、63）
  - ・カメラサーチ（戻し）時（P39）

■ ウインドノイズリダクションについて

- 「入」に設定すると、風の強さに応じてマイクの指向性を制御し、自動的に風音ノイズを低減します。（強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的にもとのステレオ感のある音質に戻ります）
- 風のない場所でご使用の場合は、動作・音質に変化はありません。
- フリースタイルリモコンのマイクや外部マイクを使用しているときは働きません。

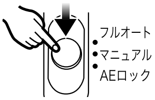


いろいろな場面で撮る

（AE 設定）

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りを調整します。

1.「マニュアル」にする



2. メニュー操作する（P24）



「カメラキノウ」メニュー
→「AE セッテイ」
→希望の設定

■ 元に戻す

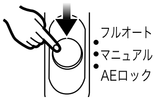
「カメラキノウ」メニューで「AE セッテイ」を「切」にする、またはモード切換えスイッチを「フルオート」にする

手動でピントを合わせる

（マニュアルフォーカス設定）

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

1.「マニュアル」にする

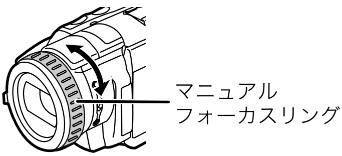


2. フォーカスをマニュアルにする



「MF」表示が出ます。

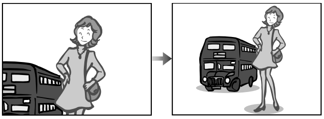
3. リングを回してピントを合わせる



■ 元に戻す

フォーカスボタンを押して「MF」表示を消す、または、モード切換えスイッチを「フルオート」にする

■ ピント合わせのコツ



大きくして
合わせると…

広角にしても
ピントはピッタリ！

- 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。

■ 絞り値・ゲイン値と明るさの関係

絞り値　ゲイン値

CLOSE－F16 ～ F1.7－OPEN (開放) 0dB ～18dB

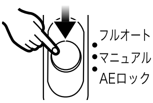
暗くする ⟷ 明るくする

自然な色合いで撮る

(白バランス設定)

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

1.「マニュアル」にする



2. 白バランスのモード（P47）を選ぶ



白バランスボタンを押すごとに白バランスのモードが切り換わります。(「マニュアル」または「AE ロック」時に白バランスボタンを長押しすると、セットモード（ ）になります）

■ 手動で白バランスの設定をする場合

手順 2 でセットモード（ ）を選び、画面いっぱいに白い被写体を映しながら、「 」表示が点滅から点灯に変わるまで白バランスボタンを押し続ける

■ 元に戻す

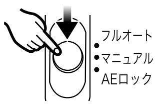
白バランスボタンを数回押して表示を消す、またはモード切換えスイッチを「フルオート」にする

動きの速いものを撮る／明るさを調整して撮る

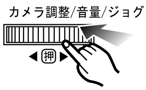
(電子シャッター／絞り・ゲイン)

撮りたい場面に合わせて、シャッター速度や絞りを調整します。

1.「マニュアル」にする

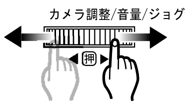


2. シャッター速度表示または絞り・ゲイン値表示を出す



マルチプッシュダイヤルを押すごとに調整できる項目が切り換わります。

3. シャッター速度または絞り・ゲイン値を設定する



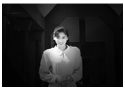
■ 元に戻す

表示が消えるまでマルチプッシュダイヤルを押し続ける

■ AE 設定について

- スポーツモード、ポートレートモード、ローライトモード時になめらか / 0 Lux カラーナイトビューを使うと、AE 設定は「切」になります。
- スポーツモード、ポートレートモード時にプログレッシブ機能を使うと、映像の明るさが変わることがあります。
- AE設定時は電子シャッター、絞り/ゲインは調整できません。

■ AE 設定の種類

スポーツ スポーツシーンなど、動きの速い場面で	
ポートレート 背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる	
ローライト 夕暮れなど暗い場面で明るく	
スポットライト スポットライトが当たる人物をきれいに	
サーフ&スノー 海辺やスキー場などまぶしい場面で	

＜スポーツモード＞

- 撮ったものをスロー再生や静止画再生したときに、ぶれの少ない映像になります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
- 明るさが足りない場合は、スポーツモードが働きません。このときは「 」が点滅します。
- 屋内で使うと、画面がちらつくことがあります。

＜ポートレートモード＞

- 屋内で使うと、画面がちらつくことがあります。このときは AE 設定を「切」にしてお使いください。

＜ローライトモード＞

- 極端に暗い場面では、きれいに撮れないことがあります。

＜スポットライトモード＞

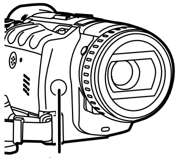
- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。
また、周囲が極端に暗くなることがあります。

＜サーフ&スノーモード＞

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

■ 白バランスセンサーについて

- 撮影時の光源がどのようなものか判断します。
- 撮影時に白バランスセンサーの前を手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。



■ 白バランスについて

- レンズキャップを付けたまま電源を入れるとオートホワイトバランスが正しく合わないことがあります。必ず外してから電源を入れてください。
- 白バランスと絞り·ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに絞り·ゲインを設定してください。
- 撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。
- 以下の場合は白バランスモードを変えることはできません。
  ·ズームが約 10 倍以上のとき
  ·デジタル効果の「セピア」、「モノトーン」使用時
  ·なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー使用時
  ·静止画時
  ·メニュー表示中

■ 白バランスのモードについて

表示	モード	撮影条件
(無表示)	オートモード	
	屋内 (白熱電球) モード	• 白熱電球、ハロゲンランプ
	屋外モード	• 屋外の晴天下
	蛍光灯モード	• 蛍光灯 (当社のパルック蛍光灯など)
	セットモード	• 水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯 • ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト • 日没・日の出など

■「」表示の点滅について

セットモードを選んだとき

• 以前にセットモードで設定した内容が保持されていることを示しています。(再度設定するまでその内容を記憶しています)

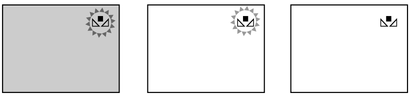
セットモードで設定できないとき

• 暗いところなどでは、セットモードでの設定がうまくできないことがあります。
このときは、オートモードで撮ってください。

セットモードで設定中のとき

• セットモードで設定中は「」表示が点滅します。設定が完了したら、「」表示が点灯に変わります。

■ 黒バランスについて

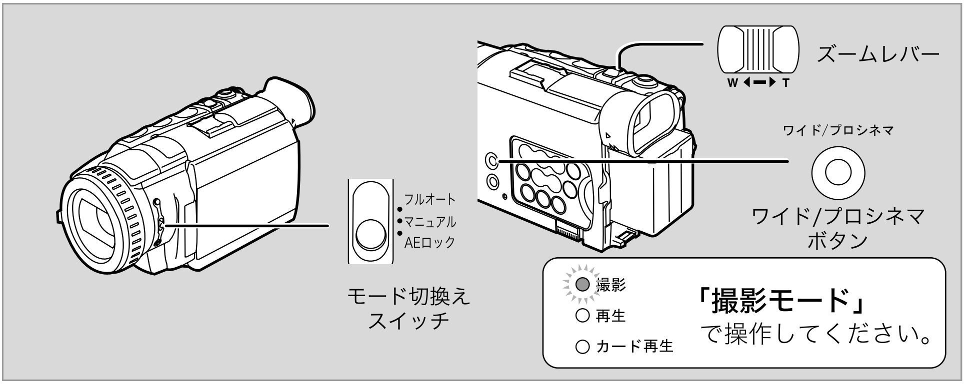


黒バランス調整中 (点滅)　白バランス調整中 (点滅)　調整完了 (点灯)

• 3CCD システムの機能の 1 つで、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には画面が一瞬暗くなります。

■ 電子シャッター、絞り・ゲインについて

• 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
• 選択できるシャッター速度は、
テープモード時 1/60 ～ 1/8000、カードモード時 1/2 ～ 1/2000（MPEG4 動画撮影時は 1/60 ～ 1/500）です。
• シャッター速度 1/2 ～ 1/15 のとき、白バランスは固定、フォーカスはマニュアルになります。
• 絞り値が「OPEN」にならないとゲイン値は調整できません。
• 絞り値の「OPEN」は、カメラデータ（P60）では撮影したときのズーム倍率によって「F 1.6」～「F2.8」の間の数値で表示されます。
• 明るく光っているものや、反射の強いものは縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
• 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
• ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
• ズーム倍率によっては表示されない絞り値（F 値）があります。
• プログレッシブ機能が「入」のときは、シャッター速度は 1/500 までしか設定できません。また、「オート」のときは 1/750 以上にすると、プログレッシブ機能が使えなくなります。
• なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー使用時（P33）、AE 設定時（P44）には、シャッター速度、絞り・ゲイン値は調整できません。



ワイドテレビに対応した映像を撮る

(ワイドモード / プロシネマモード / シネマモード)

S1(ワイド)、S2(シネマ)映像端子の付いたワイドテレビに対応した映像を撮ることができます。(接続するテレビによって、テープの再生映像は異なります。詳しくは 61 ページをお読みください)

■ ワイドモード / プロシネマモード

「ワイド」または「プロシネマ」に切り換える



ワイド / プロシネマボタンを押すごとにモードが切り換わります。



「ワイド」:
16：9 の比率で映像を記録します。
(本機で見る画面は縦長になります)



「プロシネマ」:
「ワイド」の効果に加えて、映画フィルムのようなしっとりとした映像で、1 秒 30 コマの動画を記録します。

■ 元に戻す

ワイド / プロシネマボタンを数回押して「ワイド」または「プロシネマ」表示を消す

■ シネマモード

メニュー操作する(P24)



「カメラキノウ」メニュー
→「シネマモード」
→「入」



上下に黒い帯が表示されます。

■ 元に戻す

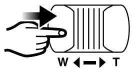
「シネマモード」を「切」に設定する

明るさを固定して撮る

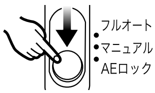
(AE ロック)

明るさを固定する機能です。逆光での撮影、暗い背景の中に立つ人物など、被写体と背景との間に極端な明るさの差がある場合、人物の明るさに合わせて撮ると、人物が明るく撮れます。

1. 撮りたい部分を拡大する



2. 明るさを固定する





「AE ロック」に合わせると、「AEロック」表示（緑）が点滅し、明るさを固定していることをお知らせします。その後、白く点灯します。

■ 好みの明るさに固定する

手順 2 でモード切換えスイッチを「マニュアル」にして絞り / ゲイン（P45）を設定したあと、「AE ロック」にする

■ 元に戻す

モード切換えスイッチを「フルオート」または「マニュアル」にする

お願い／ヒントなど

■ ワイド / プロシネマモードについて

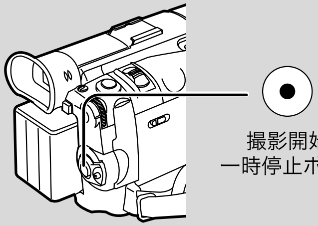
- カードへの撮影時には使えません。
- 「プロシネマ」に設定すると、自動的に「ドウガモード」は「フレーム」に、「バスエンハンサー」は「+6dB」なります。
- プロシネマモードは、以下の機能と同時に使えません。
  - ・プログレッシブ機能
  - ・シネマモード
  - ・デジタル機能
  - ・なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー
- ワイドモードは、以下の機能と同時に使えません。
  - ・プログレッシブ機能
  - ・シネマモード
- 通常の 4 : 3 のテレビをお使いの場合は、ワイド/プロシネマモードを使わないことをおすすめします。（画面が縦のびの映像になります）

■ シネマモードについて

- 撮れる範囲が広がるわけではありません。
- テレビに映像を映すと、日付表示が欠けることがあります。
- テレビによっては画質が悪くなる場合があります。
- パソコンにシネマ映像を取り込むとき、ソフトウェアによっては取り込み画像が正しく表示されない場合があります。
- カードへの撮影時には使えません。
- 以下の機能と同時に使えません。
  - ・ワイド / プロシネマモード
  - ・デジタル機能の「マルチ」、「コガメン」
  - ・タイトルイン

■ AE ロックについて

- AEロック設定後、テープ/カード選択スイッチを切り換えると設定値が変わる場合があります。再度設定し直してください。
- 電子シャッターは、1/750 以上に設定した状態でフラッシュを発光させて撮影した場合、1/500 に固定されます。
- AEロック設定時、なめらか/ 0 Luxカラーナイトビューは使えません。



● 撮影
○ 再生
○ カード再生

「撮影モード」
で操作してください。

＜デジタル効果＞

ネガポジ



ネガフィルムのような映像になります。

セピア



セピアカラーの映像になります。

モノトーン



白黒映像になります。

アート



絵画のような映像になります。

特殊効果を使って撮る *（デジタル機能 / 効果）*

いろいろな特殊効果を入れて撮影できます。

メニュー操作する（P24）

デジタルセッテイ

デジタルキノウ	切	マルチ	▶コガメン
	ワイプ	ミックス	ストロボ
	キセキ	モザイク	ミラー
デジタルコウカ	切	▶ネガポジ	セピア
	モノトーン	アート	

「デジタルセッテイ」メニュー
→「デジタルキノウ」
　または「デジタルコウカ」
　→希望の機能 / 効果
　　（上の表を参照）

■ 元に戻す

「デジタルキノウ」または「デジタルコウカ」メニューを「切」にする

■ ワイプ / ミックス

前の場面から次の画面に移り変わるときに使用する効果です。

1. メニュー操作する（P24）

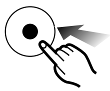
デジタルセッテイ

デジタルキノウ	切	マルチ	コガメン
	ワイプ	▶ミックス	ストロボ
	キセキ	モザイク	ミラー

まえのメニューに戻る
おわる時はメニューボタン

「デジタルセッテイ」メニュー
→「デジタルキノウ」
　→「ワイプ」または「ミックス」

2. 撮影する





<デジタル機能>



マルチ
9 つの画面を取り込みます。



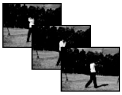
コガメン
静止画を子画面にして取り込みます。



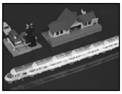
ワイプ
場面がカーテンを引くように変わります。



ミックス
場面が重なりながら変わります。



ストロボ
コマ送りのような映像になります。



キセキ
映像の軌跡が残ります。

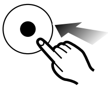


モザイク
映像にモザイクがかかります。



ミラー
画面中央に鏡を置いたような効果になります。

3. 撮影を一時停止する





最後の場面がメモリーされ、「ワイプ」や「ミックス」の表示が白黒反転します。

4. もう一度撮影する

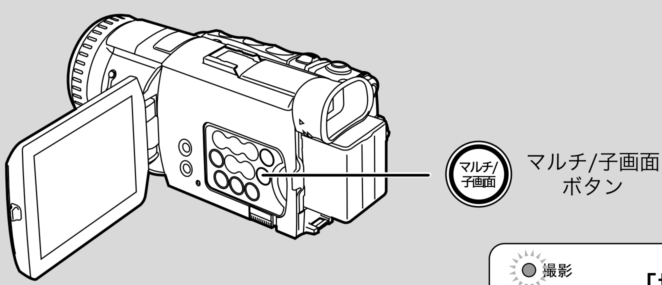


最後の場面から新しい場面へ「ワイプ」または「ミックス」の効果で変わります。

📖 お願い／ヒントなど

■ デジタル機能 / 効果について

- デジタル効果は電源 / 操作モード切換えスイッチを操作すると解除されます。
- なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー、タイトルインとデジタル機能/効果は同時に使えません。
- 「セピア」、「モノトーン」を選ぶと、白バランスは設定できません。
- デジタル機能は以下の場合、使えません。
  - ・カードへの撮影時
  - ・なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー設定時
  - ・プロシネマモード設定時
  - ・フレーム動画設定時
  - ・プログレッシブ機能「入」設定時
- デジタル効果は以下の場合、使えません。
  - ・カードへの撮影時
  - ・デジタルキノウの「マルチ」、「コガメン」、「ワイプ」、「ミックス」、「キセキ」設定時
- 「ワイプ」、「ミックス」メモリー時に以下の操作をすると、メモリー画像が消えて、ワイプ、ミックスはできなくなります。
  - ・カメラサーチする
  - ・静止画ボタンを押す
  - ・デジタル機能/効果などを別の項目に設定し直す
  - ・テープ/カード選択スイッチまたは、電源/操作モード切換えスイッチを操作する



○ 撮影
○ 再生
○ カード再生

「撮影モード」
で操作してください。

複数の画像を組み合わせて撮る

（マルチモード撮影）

1 画面に 9 枚の静止画を取り込みます。

1. メニュー操作する（P24）



「デジタルセッテイ」メニュー
→「デジタルキノウ」
→「マルチ」

2. メニュー操作する（P24）



「マルチ＆コガメン」メニュー
→「マルチモード」
→「ストロボ」または「マニュアル」

3. マルチ画面にする



- 手順 2、「マルチモード」メニューの設定によって、画面の取り込みの方法が異なります。（次ページ）

「ストロボ」　：ストロボマルチモード
「マニュアル」：マニュアルマルチモード

■ マルチ画面を消去する

取り込み終了後、マルチ / 子画面ボタンをポンと押す

■ 一度消去したマルチ画面を再表示する

マルチ / 子画面ボタンを 1 秒以上押す

■ ストロボマルチモード

９つの画面を自動で連続して取り込みます。

- 「マルチ＆コガメン」メニューの「ストロボソクド」で画像を取り込む速さを選択できます。

ストロボ速度	9画面の取り込み時間
ハヤイ	約１秒
フツウ	約1.5秒
オソイ	約２秒

- 「マルチ＆コガメン」メニューの「スイングモード」を「入」に設定すると、初めと終わり付近での取り込み速度が中間部分よりもゆっくりになります。

■ マニュアルマルチモード

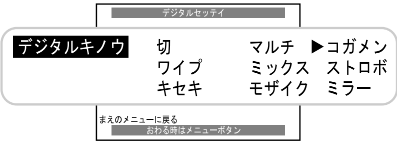
マルチ / 子画面ボタンを押すごとに１つずつ、９つの画面を手動で選んで取り込みます。

子画面を入れて撮る

（子画面機能）

画面の中に子画面（小さな静止画）を表示することができます。

1. メニュー操作する（P24）

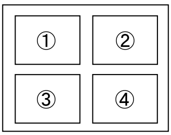


「デジタルセッテイ」メニュー
→「デジタルキノウ」
→「コガメン」

2. 子画面を入れる



- 「マルチ & コガメン」メニューの「コガメンイチ」で希望の位置を選ぶことができます。





■ 子画面を消去する

マルチ / 子画面ボタンを押す

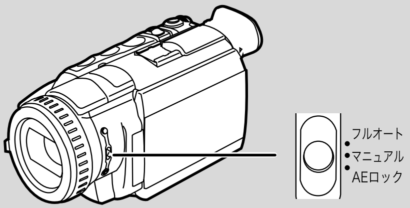
📖 お願い／ヒントなど

■ マルチモード撮影について

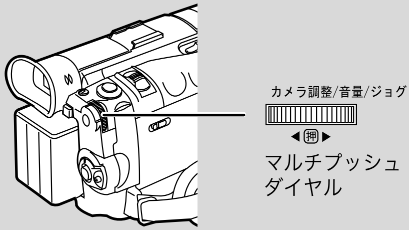
- 「タイメンモード」を「ミラー」に設定しているときは、画面の右上から画像が表示されます。（記録は通常と同じ左上からです）
- マルチ画面は画質が少し悪くなります。
- 静止画時はマルチ画面になりません。
- マルチ機能は以下の場合、使えません。
  - ・プログレッシブ機能「入」設定時
  - ・シネマモード設定時
  - ・フレーム動画設定時　・カードへの撮影時
- マニュアルマルチモード時にマルチ/子画面ボタンを１秒以上押すと、最後に取り込んだ画面が消去されます。さらに押し続けると、連続して消去されます。（一度消去した画像は再表示できません）

■ 子画面機能について

- 子画面はカメラサーチ、撮影チェック中は消えます。（サーチ終了後、再表示されます）
- 子画面はタイトルイン、または電源を切ると消去されます。
- タイトル（P95）付きで子画面にすることはできません。
- 撮影した画像にある子画面の消去、移動はできません。
- 「⚡」の表示中にマルチ / 子画面ボタンを押すと、フラッシュが発光し、子画面に取り込みます。
- 子画面機能は以下の場合、使えません。
  - ・プログレッシブ機能「入」設定時
  - ・シネマモード設定時
  - ・フレーム動画設定時　・カードへの撮影時



モード切換え
スイッチ



マルチプッシュ
ダイヤル

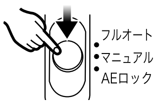
撮影
再生
カード再生

「撮影モード」
で操作してください。

画質を調整する

撮影時、映像の色レベルおよびディテールを調整することができます。調整内容はテープ、カード（PICTURE（静止画）モード時のみ）どちらの撮影時にも有効です。

1.「マニュアル」にする

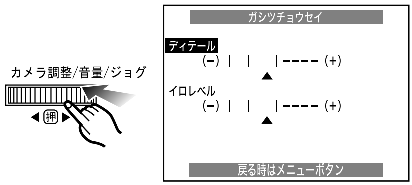


2. メニュー操作する（P24）



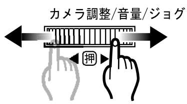
「プロキノウ」メニュー
→「ガシツチョウセイ」
→「する」

3. 調整する項目を選ぶ



押し込むごとに項目が変わります。

4. 調整する



回すとバー表示が変わります。

- バー表示を▲以外の位置にすると、「P-ADJ」表示が出ます。
- 調整中にマルチプッシュダイヤルを押し続けると、「ディテール」、「イロレベル」のバー表示は▲の位置に戻ります。

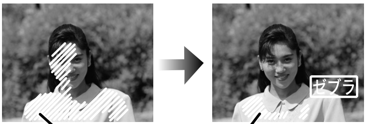
明るすぎる部分を表示する（ゼブラパターン）

映像で白とび（色とび）の起こりそうな部分（極端に明るい場所、光っている場所など）に縞模様（ゼブラパターン）を表示します。

メニュー操作する（P24）



「プロキノウ」メニュー
→「ゼブラパターン」
→「入」



ゼブラパターン

撮りたい部分のゼブラパターンがなくなるように、手動で絞り / ゲイン、電子シャッター（P45）を調整すると、白とび（色とび）の少ない映像が得られます。

■ 元に戻す

「ゼブラパターン」を「切」に設定する

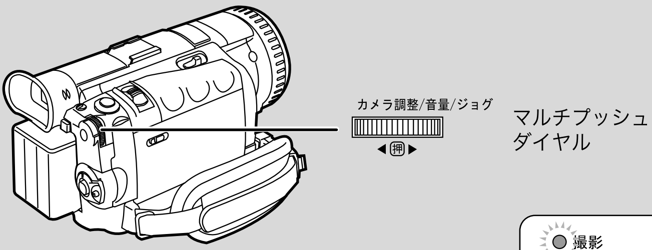
お願い／ヒントなど

■ 画質の調整について

- デジタル効果設定時は調整できません。
- モード切換えスイッチを「フルオート」にしていると調整できません。

■ ゼブラパターンについて

- 明るさを調整するときのめやすとしてお使いください。
- AE 設定の「サーフ＆スノー」、逆光補正を使用しているときは、ゼブラパターンは明るさを調整するときのめやすとはなりません。
- 人物の顔と白いシャツにゼブラパターンが表示されている場合に、白いシャツのゼブラパターンが消えるまで調整すると、人物の顔が暗くなりすぎることがあります。
- タイトル（P95）を表示させるとゼブラパターンは表示されません。



撮影
再生
カード再生

「撮影モード」
で操作してください。

マイクレベルを設定する

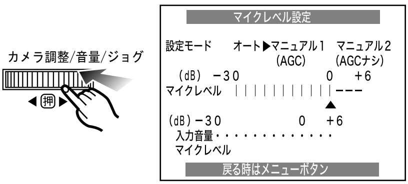
撮影時、内蔵ステレオマイクおよび外部マイク端子の入力レベル（録音時の音量）を調整することができます。

1. メニュー操作する（P24）



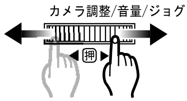
「プロキノウ」メニュー
→「マイクレベル設定」
→「する」

2. 設定モードを選ぶ

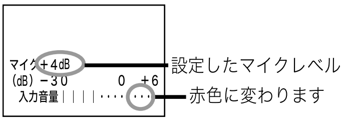


押し込むごとにモードが変わります。

3. 調整する



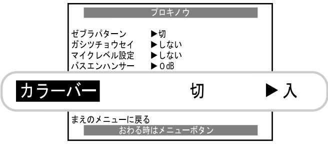
回すとマイクレベル表示が変わります。



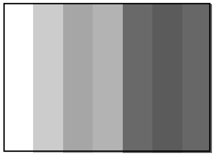
- マニュアル1､2に設定するとレベル表示が出ます。入力音量表示のバーが 3 本赤く点灯すると、音が歪みます。マイクレベルの設定を変えるか､「オート」または「マニュアル 1」に設定してお使いください。

■ カラーバーを表示する

テレビや外部モニターの画質調整に便利な 7 色のバーを表示します。



「プロキノウ」メニュー
→「カラーバー」
→「入」

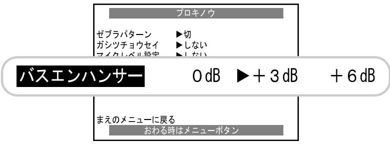


元に戻すには「カラーバー」を「切」に設定してください。

臨場感のある音声を記録する (バスエンハンサー)

音声の低域を上げて、より臨場感のある音声を記録します。

メニュー操作する（P24）



「プロキノウ」メニュー
→「バスエンハンサー」
→「＋ 3dB」または「＋ 6dB」

■ 元に戻す

「バスエンハンサー」を「0dB」に設定する

お願い／ヒントなど

■ マイクレベル設定について

- 「マイクレベル設定」（撮影モード）と「オーディオレベル設定」（再生モード）の設定モードは同じになります。（マイクレベルは同じにはなりません）
- 撮影前にヘッドホンで音が歪んでいないか確認してください。
- カードへの撮影時には使えません。

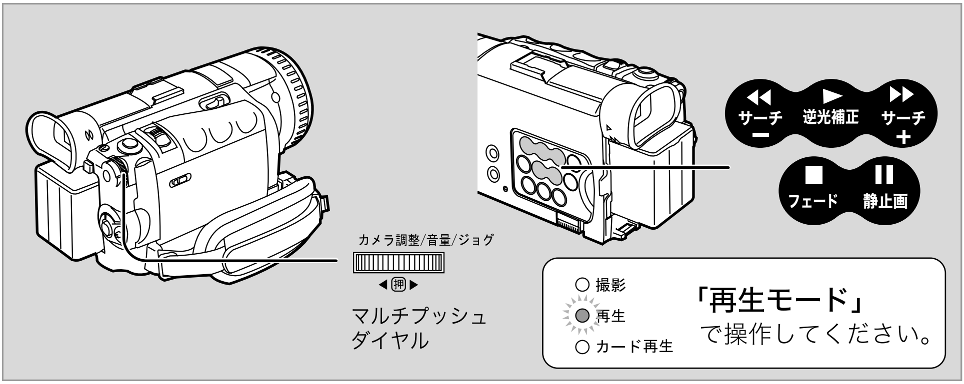
■ 設定モードについて

オート	AGC が働き、自動的に録音レベルを調整します。
マニュアル 1（AGC）	好みの録音レベルに設定できます。AGC も働きますので音の歪みを軽減できます。
マニュアル 2（AGC ナシ）	AGC が働きませんので、自然な録音ができます。最大音で音が歪まないように調整してください。またズームマイク機能設定時はズームを T 側にしてから調整してください。

AGC：Auto（オート） Gain（ゲイン） Control（コントロール） の略です。

■ バスエンハンサーについて

- 内蔵マイク使用時のみ切り換えられます。
- 再生モードでは、内蔵マイクでのアフレコ時のみ切り換えられます。
- プロシネマ機能を使うと、「＋ 6dB」に固定されます。



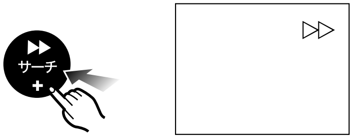
テープの映像を見る

撮った映像をその場で再生できます。

再生する

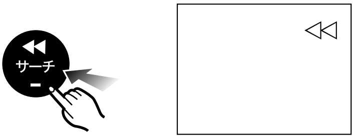


早送りする



停止中は早送り
再生中はポンと押すと連続早送り再生、押し続けている間のみ早送り再生

巻き戻す

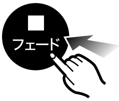


停止中は巻戻し
再生中はポンと押すと連続巻戻し再生、押し続けている間のみ巻戻し再生

一時停止する



停止する



■ サーチロックについて

- 再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンをポンと押すと、指を離しても、早送り再生、巻戻し再生を続けます。通常の再生に戻すには､再生ボタンを押します。

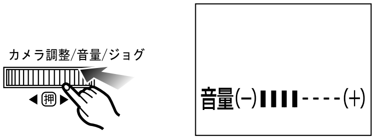
■ ハイパーチェック機能について

- 早送り中に、早送りボタンを押し続けると、押している間、早送り再生になります。
- 巻戻し中に、巻戻しボタンを押し続けると、押している間、巻戻し再生になります。

音量を調整する

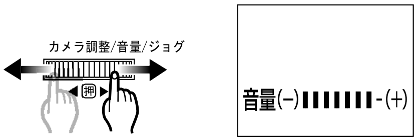
テープ再生時のスピーカー音量を調整します。(ヘッドホン使用時はヘッドホンの音量を調整します)

1. 音量を表示する



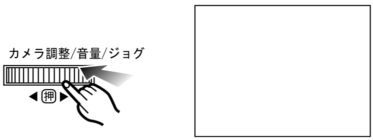
押し続けると音量表示が出ます。

2. 音量を調整する



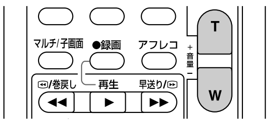
「I」バーが増えるほど、音量が大きくなります。

3. 音量の表示を消す



音量表示が消えます。

■ リモコンで音量を調節する



調整が終わると、数秒後に音量表示が消えます。

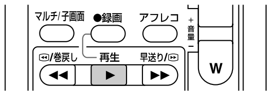
テレビにつないで見る

付属の映像 / 音声コード (ミニジャック対応) を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

1. 接続する

接続については14～15ページをご覧ください。

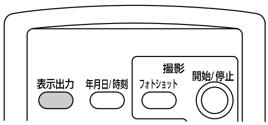
2. 本機の電源を入れて再生する



■ テレビ画面に機能表示などを表示する

- 液晶モニターやファインダーに表示されている情報 (カウンター、モード表示) をテレビ画面に表示することができます。

表示を出す



■ 表示を消す

表示出力ボタンを押す

見る

お願い／ヒントなど

■ テープの再生について

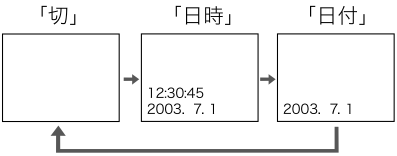
- 動きのある場面では、早送り / 巻戻し再生中に画面がモザイク状になります。
- 早送り / 巻戻し再生の前後に、画面が一瞬青くなったり、映像が乱れることがあります。

■ リピート再生について

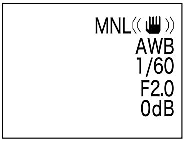
- 再生中に再生ボタンを 5 秒以上押し続けると、自動巻戻し再生（リピート再生）になり「R ▷」表示が出ます。（解除するには電源を「切」にします）

■ 年月日、時刻の表示について

- 本機は撮影した年月日、時刻をテープに自動的に記録しています。
- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「日時ヒョウジ」の設定によって、表示を切り換えることができます。（またはワイヤレスリモコンの年月日/時刻ボタンを押すごとに表示が切り替わります）



■ カメラデータについて



- 本機は撮影日時とともに撮影時の各種設定（シャッター速度、絞り / ゲイン値、白バランス設定など）をテープに自動的に記録しています。
- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「カメラデータ」を「入」にして再生すると、撮影時の設定情報を表示させることができます。（情報がない場合はーーーと表示します）
- 本機のカメラデータが入ったテープを他機で再生すると、正常に設定情報が表示されないことがあります。
- 「フルオート」設定時、カメラデータでは「AUTO」と表示されます。

■ タイムコード・カウンター表示について

- 撮影や再生の経過時間を表示しています。
- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「カウンタモード」で表示を切り換えられます。
  （ワイヤレスリモコンの表示切換ボタンを押しても切り換えられます）
  カウンタ：0：00. 00
  カウンタメモリ：M 0：00. 00
  タイムコード：0h00m00s00f

カウンターをリセットする

- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「カウンタリセット」を「する」に設定する。
  （ワイヤレスリモコンのリセットボタンを押してもリセットできます）

カウンターメモリー機能

- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「カウンタモード」を「カウンタメモリ」にしておくと、撮影や再生の操作のあと、カウンターをリセットした位置付近で巻戻しまたは早送りを自動的に停止します。

■ 音声の設定について

- 聞きたい音声が出ないときは、「再生キノウ」メニューの「12bit 音声」の設定（P101）を確認してください。
- 「12bit」で撮影、アフレコした場合、「再生キノウ」メニューの「12bit 音声」を「ミックス」にすると、「音声キリカエ」の設定に関係なく、再生する音声はステレオになります。

■ ヘッドホンで音声を聞く

- 「AV 入出力セッテイ」メニューの「AV タンシ」を「AV 出力 / ヘッドホン」に設定して、AV 入出力 / ヘッドホン端子に接続してください。
- 「AV タンシ」を「AV 入出力」に設定していると、右音声が聞こえません。ヘッドホンを使うときは必ず「AV 出力 / ヘッドホン」に設定してください。

■ ステレオ音声を聞く

- 「再生キノウ」メニューの「音声キリカエ」の設定によって、再生する音声を切り換えることができます。

ステレオ	：ステレオ音声 （主音声と副音声）
L	：左チャンネルの音声（主音声）
R	：右チャンネルの音声（副音声）

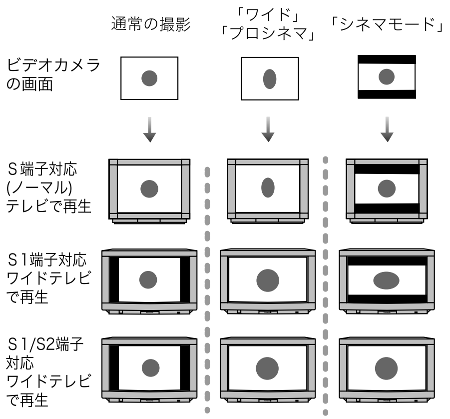
- 通常は「ステレオ」にしておいてください。

■ テレビでの再生について

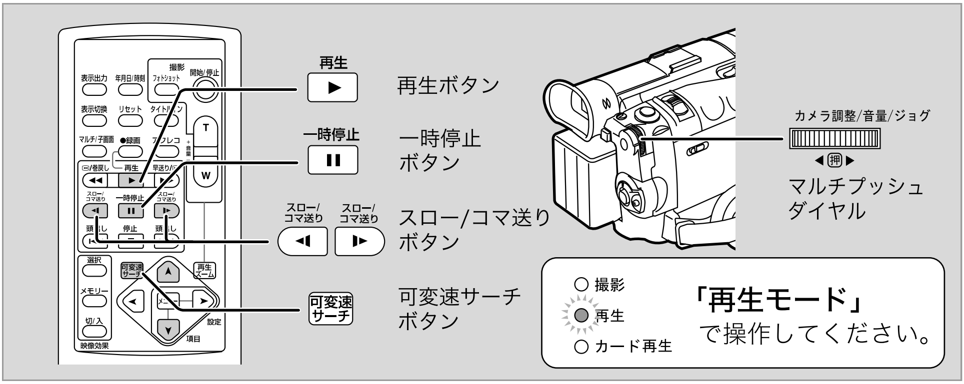
- テレビの説明書もお読みください。
- S 映像コード（別売）を使わず、付属の映像 / 音声コードだけでもテレビに映像を映すことができます。
- テレビに S 映像端子がある場合は、S 映像コード（別売）も接続すると、より鮮明な映像で見ることができます。
- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- 再生モード時、「AV 入出力セッテイ」メニューの「AV タンシ」を「AV 入出力」に設定していると、テープ再生時以外、テレビ画面には何も映りません。
- シネマモードの映像をワイドテレビで再生する場合、映像効果の「ネガポジ」、「セピア」を入れていると、テレビが誤作動する（表示サイズが変わる）ことがあります。

■ 接続するテレビと再生される映像について

- S 映像コード（別売）を使う場合、接続する端子の種類によって再生映像が図のようになります。



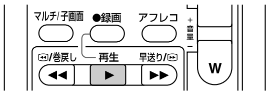
- 接続するテレビの設定によって変わりますので、詳しくはテレビの説明書をお読みください。



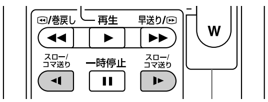
スローモーションで再生する（スロー再生）

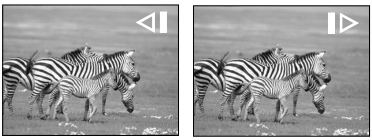
SP モード記録時ー約 1/5 の速度で再生
LP モード記録時ー約 1/3 の速度で再生

1. テープを再生する



2. スロー / 逆スロー再生する





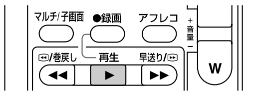
■ 通常の再生に戻す

再生ボタンを押す

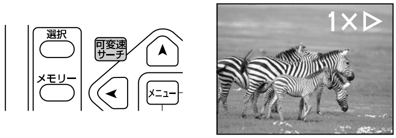
再生の速度を変える（可変速サーチ）

速度を変えて再生、逆再生します。

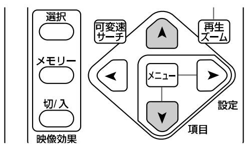
1. テープを再生する



2. 可変速にする



3. 再生の速度を変える



速度は再生、逆再生ともに 1/5（SP)、1/3（LP)、1、2、5、10、20 倍速があります。

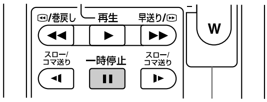
■ 通常の再生に戻す

再生ボタンを押す

静止画再生 /1 コマずつ再生する（静止画再生 / コマ送り再生・ジョグ再生）

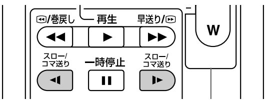
静止画状態の再生ができます。また、静止画を 1 コマごとに再生することができます。

1. 静止画再生する

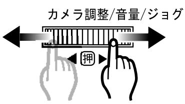




2. コマ送り再生する



ジョグ再生する



左に回すと逆方向	右に回すと正方向
	

■ 通常の再生に戻す

再生ボタンを押す

お願い／ヒントなど

■ スロー再生について

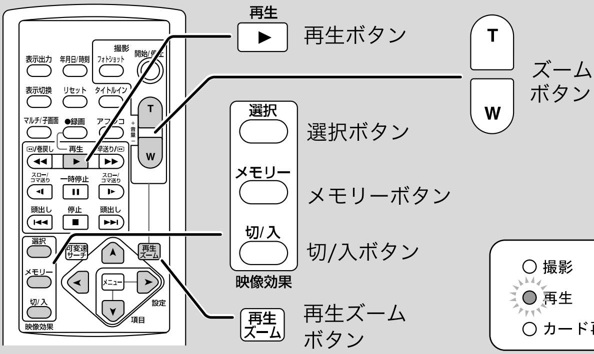
- 逆スロー再生時にタイムコード表示が一定にならない場合があります。
- 子画面静止画やマルチモードで撮影した映像をスロー再生すると、画面が縦揺れすることがあります。
- 約 10 分以上スロー再生が続くと、自動的に停止します。

■ 可変速サーチについて

- 画面がモザイク状になる場合があります。
- 音声は出ません。
- リピート再生中にはできません。

■ 静止画再生について

- 静止画再生中にスロー/コマ送りボタンを押し続けると、連続コマ送り再生になります。
- 約 5 分以上静止画再生が続くと、自動的に停止します。



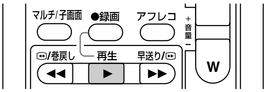
○ 撮影
● 再生
○ カード再生

「再生モード」
で操作してください。

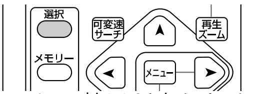
映像効果を入れて再生する

撮影した映像に特殊効果を入れて再生します。

1. テープを再生する



2. 希望の効果を選ぶ



押すごとに効果が変わります。

＜効果の種類＞
マルチ、ワイプ、ミックス、ストロボ、ネガポジ、セピア、モノトーン、キセキ、アート、モザイク、ミラー
(実際の効果は 50 ～ 51 ページをご覧ください)

■ 効果を一時解除する

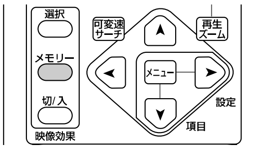
切 / 入ボタンを押す
画面の映像効果表示が点滅します。(マルチ、ワイプ、ミックス設定時は除く)

■ 効果を解除する

選択ボタンを繰り返し押して画面上の映像効果表示を消す

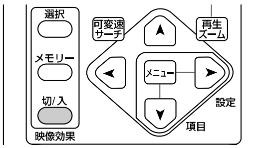
■ ワイプ・ミックス設定時

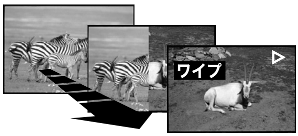
1. メモリーしたい場面を決める





2. メモリー画像に場面をつなげる

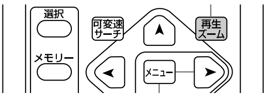


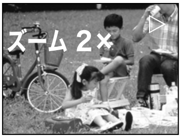


再生画面を大きくする
（再生ズーム）

テープ再生中に再生画面を拡大して (最大 10 倍まで) 表示することができます。

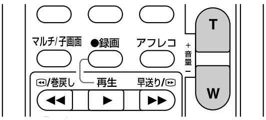
1. 画面を拡大する





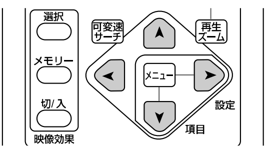
映像の中央が約 2 倍に拡大されます。

2. 拡大の倍率を調整する



押している間、最大 10 倍まで拡大されます。

3. 拡大した画像を移動させる



押している間、上下左右に移動できます。

■ 元に戻す

再生ズーム中に再生ズームボタンを押す

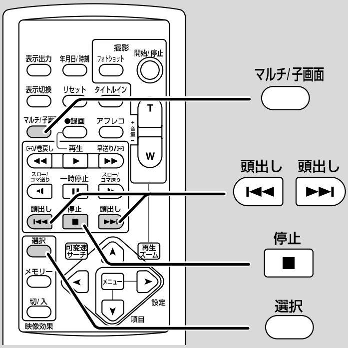
お願い／ヒントなど

■ 再生映像効果について

- 「デジタルセッテイ」メニューの「コウカセンタク」でも映像効果を選ぶことができます。
- 「デジタルセッテイ」メニューの「エイゾウコウカ」を「切」にしても効果を解除できます。
- 再生時の映像効果を「ワイプ」、「ミックス」に設定している場合、映像効果の切 / 入設定はリモコンでのみ操作できます。
- ワイプ（ミックス）効果中にリモコンの「切 / 入」ボタンを押すと、効果を途中で止められます。再度押すと効果が続きます。
- 映像効果はDV端子から出力される映像には入りません。（P104）また、MPEG4 動画（P99）にも記録されません。
- 無記録部分（ブルーバック画面）からの「ワイプ」、「ミックス」はできません。

■ 再生ズームについて

- 再生ズーム中でも、DV 端子からは元のテープ内容が出力されます。（P104）
- 拡大するほど画質が悪くなります。
- 電源/操作モード切換えスイッチを操作すると、再生ズームは解除されます。
- 再生ズーム中は、ワイヤレスリモコンで可変速サーチ速度、音量を変更できません。



マルチ/子画面ボタン

頭出しボタン

停止ボタン

選択ボタン

○ 撮影
○ 再生
○ カード再生

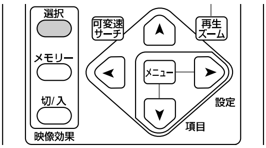
「再生モード」で操作してください。

再生映像から９画面取り込む

（マルチモード再生）

テープに記録されている映像から９画面を取り込み、表示します。

1. 繰り返し押して、映像効果を「マルチ」にする



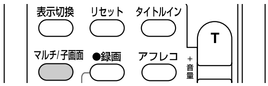


2. メニュー操作する（P24）



「マルチセッテイ」メニュー
→「マルチモード」
→「ストロボ」、「マニュアル」、「フォト」または「シーン」

3. 再生し、マルチ画面にする





９ 画面取り込むとテープは停止します。

- 手順 2、「マルチモード」の設定によって、画面の取り込みの方法が異なります。（P68）

「ストロボ」　：ストロボマルチモード
「マニュアル」：マニュアルマルチモード
「フォト」　　：インデックスマルチモード
「シーン」　　：インデックスマルチモード

■ マルチ画面を消去する

取り込み終了後、マルチ / 子画面ボタンをポンと押す

■ 一度消去したマルチ画面を再表示する

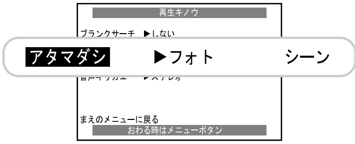
マルチ / 子画面ボタンを 1 秒以上押す

撮った作品を頭出しする

(フォトサーチ / シーンサーチ)

撮影時に記録されたインデックス信号(P69)をもとにテープを頭出しします。

1. メニュー操作する(P24)



「再生キノウ」メニュー
→「アタマダシ」
→「フォト」または「シーン」

2. 頭出しをする



■ 頭出しを途中でやめる

停止ボタンを押す

見る

お願い／ヒントなど

■ マルチモード再生について

- 「デジタルセッテイ」メニューの「コウカセンタク」でも「マルチ」に設定できます。
- マルチモードのメニュー設定は再生モードと撮影モードで連動して同じ設定になります。ただし、再生モードの「マルチモード」を「フォト」または「シーン」に設定した場合、撮影モードの「マルチモード」は「ストロボ」になります。
- DV 端子からの入力映像がある場合、マルチ画面になりません。DV 入力を止めてください。
- ビデオカメラのマルチ/子画面ボタンを押してもマルチ画面を表示させることができます。
- マルチ画面は画質が少し悪くなります。
- S2(S1) 映像入出力端子や AV 入出力端子から映像を入力しているときは、マルチ画面の再表示はできません。また入力映像をマルチ画面表示することはできません。
- 1枚目に取り込んだ画像の状態が2枚目以降にも保持されます。

■ ストロボマルチモード

- 9 つの画面を自動で連続して取り込みます。
- 「マルチセッテイ」メニューの「ストロボソクド」で画像を取り込む速さを選択できます。

ストロボ速度	9画面の取り込み時間
ハヤイ	再生映像の約1秒分
フツウ	再生映像の約1.5秒分
オソイ	再生映像の約2秒分

- 「マルチセッテイ」メニューの「スイングモード」を「入」に設定すると、初めと終わり付近での取り込み速度が中間部分よりもゆっくりになります。テニスやゴルフのスイングを分析するときに便利です。

■ マニュアルマルチモード

- マルチ / 子画面ボタンを押すごとに 1 つずつ、9 つの画面を手動で選んで取り込みます。
- マルチ / 子画面ボタンを 1 秒以上押すと、最後に取り込んだ画面が消去されます。さらに押し続けると、連続して消去されます。一度消去した画像は再表示できません。

■ インデックスマルチモード

- インデックス信号（P69）の入った画像を 9 つ取り込みます。
- 取り込まれる画像が 8 つ以下の場合はテープの終端で停止します。
- 取り込みの途中で停止ボタン押すと、テープは取り込みをやめて停止します。

■ 頭出しについて

- 頭出しボタンを2秒以上押し続けると、イントロサーチ機能が働き、フォトインデックス信号の入った画像を次々と頭出しし、数秒間ずつ再生します。(解除するには、再生ボタンまたは停止ボタンを押します)
- テープの始端では正しく働かないことがあります。
- シーンサーチはインデックスとインデックスの間隔が 1 分以内の場合は、正しく働かないことがあります。
- 連写フォトショットで撮影した画像は頭出しできません。

■ フォトサーチ / シーンサーチについて

フォトサーチ

- 前後にあるフォトインデックスが入った画像を頭出しします。頭出しすると、約 4 秒間再生後、その画像を静止画再生します。(約5分以上静止画再生が続くと、ヘッドの摩耗を防ぐために停止状態になります)

シーンサーチ

- 1 回頭出しボタンを押すと「S1」が表示され、前後にあるシーンインデックスが入った場面を頭出しします。動作開始後、ボタンを押すごとに「S2」、「S3」と表示され、2 場面目以降の頭出しをすることができます。頭出しをすると、その部分から再生を始めます。(頭出しの指定ができるのは、前後 9 場面目までです)

■ インデックスについて

- 本機では、頭出しをするための目印(INDEX:インデックス)となる信号を自動的に記録します。

フォトインデックス

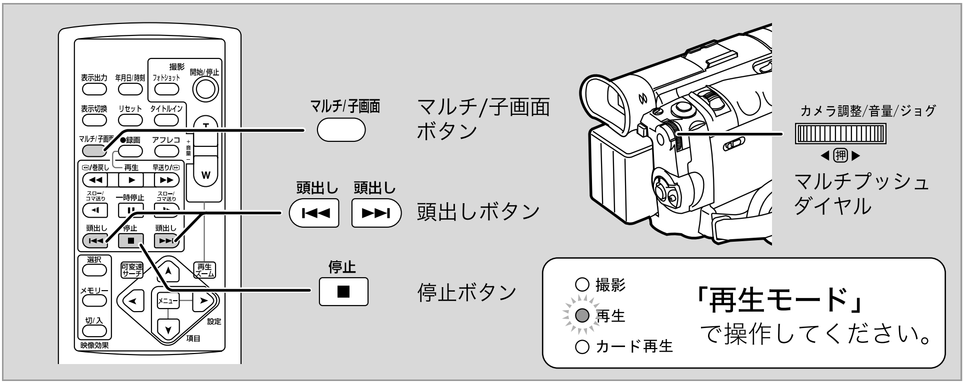
- 以下の場合に使います。
  ・フォトサーチ
  ・インデックスマルチモード
  (「マルチモード」の設定が「フォト」)
- テープフォトショット時、カードからの画像伝送時に自動的に記録します。

シーン(場面)インデックス

- 以下の場合に使います。
  ・シーンサーチ
  ・インデックスマルチモード
  (「マルチモード」の設定が「シーン」)
- 次の場合、自動的に記録します。(記録中は、「INDEX」の表示が数秒間点滅します)
  ・カセットを入れたあとの最初の撮影時
  ・「キロクセッテイ」メニューの「シーンインデックス」の設定に従って

日付	:撮影終了後、日付が変わったあとの最初の撮影時
2 ジカン	:撮影終了後、2 時間経過したあとの最初の撮影時

- ただし、電源 / 操作モード切換えスイッチを操作したときや日付を設定した場合は、その後の最初のインデックス信号は記録されません。

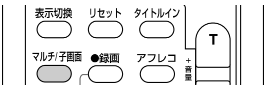


9 画面表示した画像から 1 枚探す

(マルチ画面サーチ)

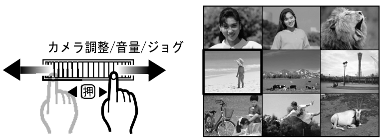
9画面の任意の画像のテープ位置を探します。

1. マルチ画面にする



マルチモードの設定については 66 ページをご覧ください。

2. テープ位置を探す画像を選ぶ



選んだ画像が赤い枠で囲まれます。

3. 選んだ画像のテープ位置へ移動する



選んだ画像のテープ位置で静止画再生します。

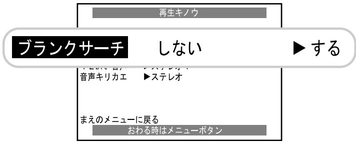
■ マルチ画面を再表示する

マルチ / 子画面ボタンを 1 秒以上押す(マニュアルマルチモード時は、9 画面すべてを取り込んでからマルチ / 子画面ボタンを押してください)

撮った最後の部分を探す（ブランクサーチ）

撮影した場面の最後の部分（テープの未使用部分）を探します。

1. メニュー操作する（P24）



「再生キノウ」メニュー
→「ブランクサーチ」
→「する」

最後の場面の約1秒手前で静止画になります。

■ ブランクサーチを途中でやめる

停止ボタンを押す

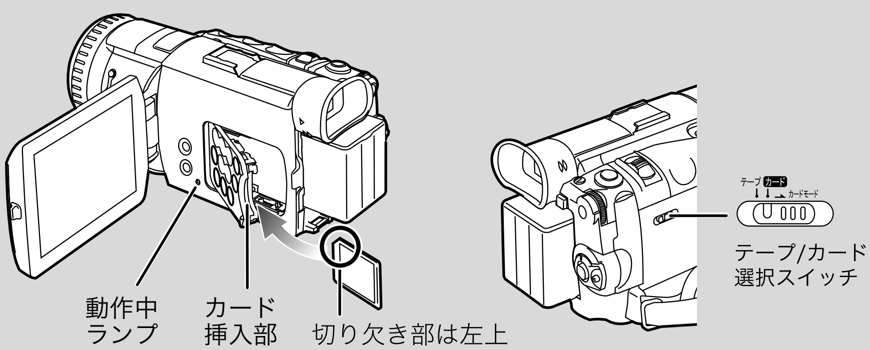
お願い／ヒントなど

■ マルチ画面サーチについて

- インデックスマルチモード時は 8 画面以下でも頭出しできますが、マニュアルマルチモード時は 9 画面すべてを取り込んでから操作してください。
- サーチされた画像は多少前後にずれることがあります。

■ ブランクサーチについて

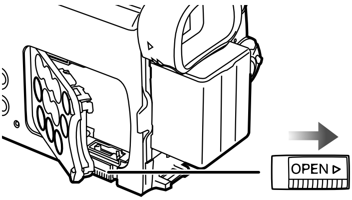
- テープに未記録部分がない場合は、テープ終端で止まります。
- 未記録部分を見つけたあと、そこから撮影を始めると、最後の部分からつなぎ撮りが始められます。
- ブランクサーチ終了後、「再生キノウ」メニューの「ブランクサーチ」は「しない」に戻ります。



カードを入れる *(出す)*

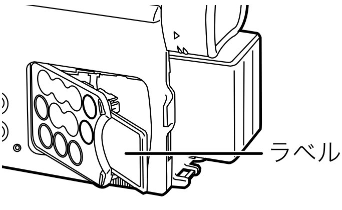
カードの出し入れは必ず電源 / 操作モード切換えスイッチを「切」にしてから行ってください。

1. カード挿入部を開く



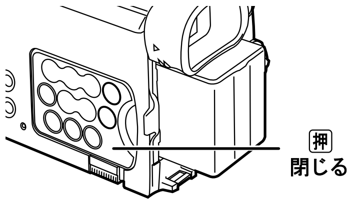
レバーを右へずらすと開きます。

2. カードを入れる（出す）



カードのラベルを手前に向けて、カード挿入部にグッと最後までまっすぐ押し込んでください。
（出すときは、カード側面中央部をつまんで、まっすぐ引き抜いてください）

3. カード挿入部を閉じる



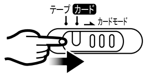
指で押して閉じてください。

- 液晶モニター内のボタンは、カード挿入部が開いた状態では動作しません。

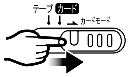
カードモードを選ぶ

カードを使用するときは、カードモードを選んでから操作してください。

1.「カード」を選ぶ



2. カードモードを選ぶ



カードモードの位置へ動かすたびに、3 つのカードモードが切り換わります。

PICTURE（静止画）モード [PICTURE]
↓
MPEG4（動画）モード [MPEG4]
↓
VOICE（音声）モード [VOICE]
↓
PICTURE（静止画）モード [PICTURE]
↓
・・・・・

• 撮影モードでテープ / カード選択スイッチが「カード」のとき、本機にカードを入れたまま、約 5 分間記録操作（撮影・録音）しないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます。再び記録するときは、電源スイッチを「切」にしてから再度、「入」にしてください。

記録する画質・サイズを選ぶ

メニュー操作する（P24）

＜静止画の画像サイズ＞



「メモリキロク」メニュー
→「ガゾウサイズ」
→「2048 × 1512」
または「640 × 480」

＜静止画の画質＞



「メモリキロク」メニュー
→「メモリガシツ」
→「ファイン」、「ノーマル」
または「エコノミー」

＜ MPEG4 動画の画質＞



「メモリキロク」メニュー
→「MPEG4 ガシツ」
→「スーパーファイン」、
「ファイン」または「ノーマル」

• それぞれの画質（サイズ）で記録できる枚数、時間は 75 ページをご覧ください。

■ カードについて

- 正規カード以外は使用しないでください。
- カード裏の接続端子部分に触れないでください。
- カードを他機やパソコンでフォーマットしないでください。使用できなくなる場合があります。
- カードが正しく入っているか確認してから、カード挿入部を閉じてください。
- 電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはUSB端子、PCカードアダプターやUSBリーダーライターなどを使って、パソコンなどにも保存してください。（P107）

■ 動作中ランプについて

- カードアクセス（認識、記録、再生、消去、画像伝送など）中は、動作中ランプが点灯します。
- 動作中ランプ点灯中に下記の操作を行わないでください。カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。
  - ・カード挿入部を開けてカードを出す
  - ・電源/操作モード切換えスイッチを操作する
  - ・テープ/カード選択スイッチを切り換える

■ SD メモリーカードとマルチメディアカード



SDメモリーカード
- •RP-SDH512L1A (512MB)
- •RP-SDH256L1A (256MB)
- •RP-SD128BL1A (128MB)
- •RP-SD064BL1A (64MB)
- •RP-SD032BL1A (32MB)



マルチメディアカード
- •VW-MMC16(16MB)
- •VW-MMC8(8MB)

記載の品番は 2003 年 5 月現在のものです。

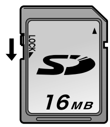
- SD メモリーカード（付属）とマルチメディアカード（別売）は小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。
- SDメモリーカードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、ビデオカメラやパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。

通常のメモリーとして利用可能な容量

8MB	約 6,800,000 バイト
16MB	約 14,900,000 バイト
32MB	約 31,100,000 バイト
64MB	約 63,500,000 バイト
128MB	約 128,300,000 バイト
256MB	約 255,700,000 バイト
512MB	約 515,100,000 バイト

■ SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチについて

- SDメモリーカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。



■ カードのフォーマット（初期化）について

- フォーマットするには、カード再生モードにして、「カードヘンシュウ」メニューの「フォーマット」を「する」に設定すると、確認のメッセージが出ますので「ハイ」を選んでください。
- 通常、フォーマットする必要はありません。
- 何度カードを抜き差ししても、「このカードは使えません」とメッセージが出る場合にフォーマットしてください。
- フォーマットするとカードに記録されているすべてのデータ(静止画、MPEG4 動画、音声データ、オリジナルタイトル、プリセットタイトルなど)は消去されますのでお気を付けください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。（P107）
- フォーマットは本機で行ってください。他機(パソコンなど)でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、使用できなくなる場合があります。

- 次の表は SD メモリーカード使用時の記録枚数、記録時間です。
  - ・静止画、MPEG4 動画、音声ファイル混在時は、記録枚数、記録時間は変動します。
  - ・付属の SD メモリカード（16MB）にはプリセットタイトルが入っていますので、記録枚数・記録時間は少なくなります。

■ 静止画の画質と記録枚数

画像サイズ	640 × 480			2048 × 1512		
画質	ファイン	ノーマル	エコノミー	ファイン	ノーマル	エコノミー
8MB	約 45 枚	約 95 枚	約 190 枚	約 2 枚	約 5 枚	約 8 枚
16MB	約 100 枚	約 200 枚	約 400 枚	約 8 枚	約 13 枚	約 18 枚
32MB	約 220 枚	約 440 枚	約 880 枚	約 18 枚	約 28 枚	約 39 枚
64MB	約 440 枚	約 880 枚	約 1760 枚	約 36 枚	約 56 枚	約 78 枚
128MB	約 880 枚	約 1760 枚	約 3520 枚	約 72 枚	約 112 枚	約 156 枚
256MB	約 1760 枚	約 3520 枚	約 7040 枚	約 144 枚	約 224 枚	約 312 枚
512MB	約 3520 枚	約 7040 枚	約 14080 枚	約 288 枚	約 448 枚	約 624 枚

- ファイン、ノーマル、エコノミーが混在している場合や、撮影される被写体によっては、静止画の記録枚数は変動します。

■ MPEG4 動画の画質と記録時間

- 最大連続記録時間は「スーパーファイン」、「ファイン」で約 2 分、「ノーマル」で約 2 時間です。

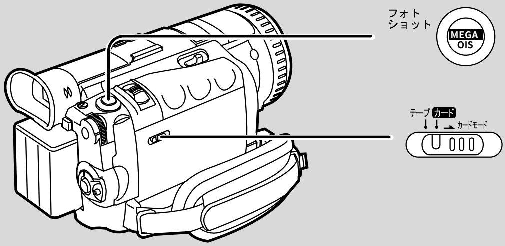
画像サイズ	320 × 240 (QVGA)	176 × 144 (QCIF)	
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
8MB	約 1 分 30 秒	約 2 分	約 6 分
16MB	約 4 分	約 5 分	約 15 分
32MB	約 8 分	約 10 分	約 32 分
64MB	約 17 分	約 21 分	約 1 時間 5 分
128MB	約 35 分	約 44 分	約 2 時間 20 分
256MB	約 1 時間 10 分	約 1 時間 33 分	約 5 時間
512MB	約 2 時間 20 分	約 3 時間 17 分	約 10 時間 30 分

- スーパーファイン、ファイン、ノーマルが混在している場合や撮影される被写体によっては、MPEG4 動画の記録時間は変動します。

■ 音声の記録時間

- 最大連続記録時間は約 24 時間です。

8MB	約 25 分
16MB	約 58 分
32MB	約 2 時間
64MB	約 4 時間
128MB	約 8 時間 10 分
256MB	約 17 時間
512MB	約 34 時間 30 分



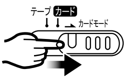
撮影
再生
カード再生

「撮影モード」
で操作してください。

カードに静止画を記録する（カードフォトショット）

最大画像サイズ約 310 万画素記録のメガピクセル静止画が撮影できます。
記録する静止画の画質・サイズを選んでから記録してください。（P73）

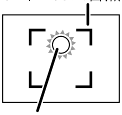
1. PICTURE（静止画）モードにする



2. フォトショットボタンを半押し（浅く押す）してピントを合わせる

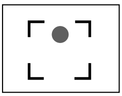
- 手ぶれ補正を「入」に設定していると手ぶれ補正の効果が高くなります。（「MEGA（MEGA OIS）表示が出ます）

フォーカス合焦枠



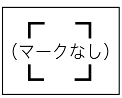
ピントを合わせているとき

シャッターチャンスマーク（白・点滅）



（緑・点灯）

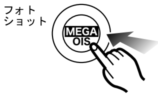
ピントが合ったとき（「ピピッ」と音がします）



ピントが合わなかったとき（「ピピピピッ」と音がします）

- フォトショットボタンを半押しすると絞り・ゲイン値は固定されます。
- フラッシュを使うときは、ここでポップアップします。

3. 半押しの状態から、全押し（下まで押す）して記録する





PICTURE が赤く点灯して、静止画がカードに記録されます。

フォトショットボタンを半押ししていなくても、シャッターチャンスマークは表示されますので、撮影の目安にしてください。

●（緑点灯）…ピントが合ったとき（フォーカスが安定して、よりきれいに撮れる状態）
○（白点灯）…ほぼピントが合ったとき（通常の写真印刷（6 つ切り）では問題ない状態）

■静止画をきれいに撮影するには

- 4～10倍またはそれ以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
- 静止画を記録する際は、ぶれないように両手でしっかり持ち、脇をしめて構えてください。
- 三脚・リモコンを使うと、手ぶれのない安定した映像を記録することができます。

静止画を連続撮影する（連写カードショット）

静止画を一定間隔で連続して記録します。

1. PICTURE（静止画）モードにする

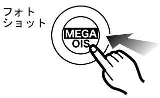


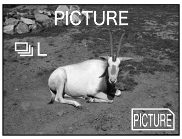
2. メニュー操作する（P24）



「メモリキロク」メニュー
→「レンゾクサツエイ」
→「⧉H」または「⧉L」

3. 連続撮影する





「⧉L」または「⧉H」が点滅、PICTURE が赤く点灯して、静止画がカードに記録されます。

■連続撮影を途中でやめる

フォトショットボタンから指を離す

■「レンゾクサツエイ」の速度について

「⧉L」　：約 0.7 秒間隔で連続して記録します。
「⧉H」（高速）：約0.07秒間隔で連続して記録します。

- 一度に連続して記録できる枚数は「⧉L」で最大 8 枚、「⧉H」（高速）で最大 16 枚です。

カード

お願い／ヒントなど

■ カードへの記録について

- カードにデータを記録している間はテープ / カード選択スイッチを操作しないでください。
- 動作中ランプ点灯中はカードを抜き差ししないでください。
- 本機で記録したデータを他機で再生した場合、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 撮影モードでテープ/カード選択スイッチが「カード」のとき、本機にカードを入れたまま、約 5 分間記録操作（撮影・録音）しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び記録するときは、電源 / 操作モード切換えスイッチを「切」にしてから再度、「入」にしてください。

■ 静止画撮影について

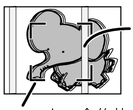
- あらかじめ静止画ボタンを押して､画面を確認してから､フォトショットボタンを押すことをおすすめします。
- マニュアルのシャッター速度の調整は 1/2 ～ 1/2000 で行えます。画面の色が変わったり、ちらついたりする場合は、1/60 または 1/100 に調節してください。(P45)
- マニュアルでシャッター速度を速くすると､感度が低くなることにより､自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- シャッター速度を速くして明るい部分を映すと画面に縦線が見えることがありますが、カードには記録されません。
- プログレッシブ機能は自動的に｢入｣になります。
- 画像サイズを「2048 × 1512」に設定するとメガピクセル撮影になります。
- カード画像の画質を「ノーマル」や「エコノミー」に設定して撮影すると、シーンによってはモザイク状になることがあります。
- 「シャッターコウカ」を「入」に設定していても、画面にシャッター映像は出ません。
- 以下の機能が使えなくなります。
  - ・なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー
  - ・ワイド / プロシネマモード
  - ・シネマモード
  - ・フレーム動画
  - ・デジタル機能 / 効果
  - ・デジタルズーム
  - ・ズームマイク
- 画像サイズを「2048 × 1512」に設定すると、以下の機能は使えません。
  - ・連写カードショット
  - ・タイトルイン / 作成
- 音声は記録できません。

■ シャッターチャンスマークについて

- 自動でピントが合いにくいときはマニュアルで合わせてください｡マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- シャッターチャンスマークが出なくてもカード記録は可能です。
- 以下のようなシーンではシャッターチャンスマークが表示されない、または、表示されにくくなります。
  - ・被写体が動いているシーン
  - ・ズーム倍率が大きいシーン
  - ・手ぶれが大きいシーン
  - ・遠近が共存したシーン
  - ・低照度で暗いシーン
  - ・横線しかないシーン
  - ・明るい部分が入っているシーン
  - ・逆光シーン
  - ・コントラストが少ないシーン

■ フォーカス合焦枠について

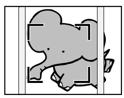
- フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると､被写体にピントが合わない（合焦しない）場合があります。そのときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。



コントラストの高いもの（柵など）にピントが合うので被写体はぼける。

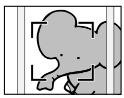
フォーカス合焦枠

フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。



少し画面をずらす。

または



少しズームインするまたは被写体に近づく。

■ カードスローシャッターについて

- シャッター速度を 1/2、1/4、1/8、1/15 に設定すると、スローシャッターモードになり、白バランスが固定されます。
- 電源/操作モード切換えスイッチを操作するとスローシャッターモードは解除されシャッター速度は 1/30 になります。
- スローシャッターモードでは、フォーカスはマニュアルになります。
- スローシャッターモードでフォーカスボタンを押すと、自動的に一度シャッター速度を 1/30 に戻してピントを合わせ、そのあと元のシャッター速度に戻ります。

ピントを合わせている間、「MF」が点滅します。

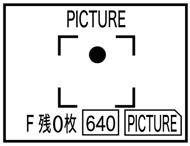


- スローシャッターモードではシャッターチャンスマークは表示されません。
- 低照度で暗い、またはコントラストが少ないシーンではピントが合わない場合があります。
- ピントを合わせている間は電源 / 操作モード切換えスイッチ、テープ / カード選択スイッチ、モード切換えスイッチ以外は働きません。
- 夜景を背景にして人物を撮るときなどは、スローシャッターモードにしてフラッシュを使うと、人物も背景も明るく撮ることができます。

■ ローライトショットについて

- 暗いシーンを撮影するとき、「メモリキロク」メニューで「ローライトショット」を「オート」に設定してください。（シャッター速度が 1/30 になると、「カード」表示が出ます）
- ローライトショット時は画像の明るさが変わることがあります。
- 電子シャッター設定時は、「ローライトショット」を「オート」にしても、ローライトショットは働きません。

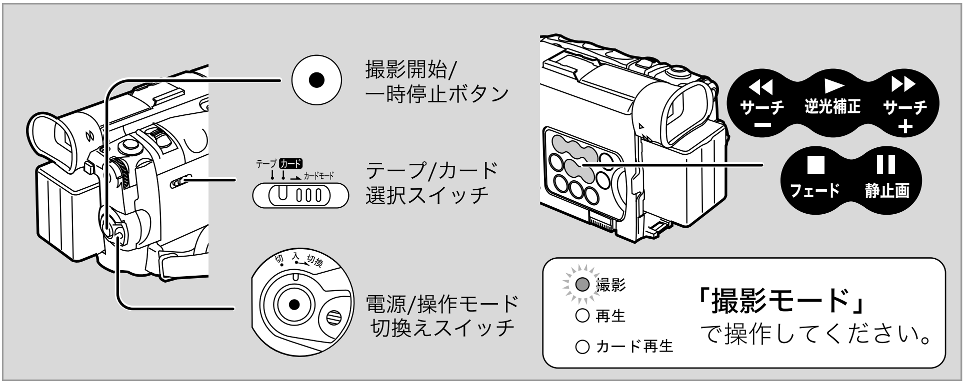
■ 画面の表示について



F　　　：ファイン画質
N　　　：ノーマル画質
E　　　：エコノミー画質
●（緑）　：ピントが合うと点灯します（オートフォーカス時）
○（白）　：ピント合わせ中は点滅、ほぼピントが合うと点灯します（オートフォーカス時）
640 / 2048　：画像サイズ
残 0 枚　：静止画の記録可能枚数
PICTURE（青）：PICTURE（静止画）モードの状態
PICTURE（赤）：記録中
PICTURE（緑）：カードにアクセス中（記録不可）
PICTURE（赤色点滅）：カードが入っていない状態

■ 連写カードショットについて

- 静止画ボタンを押して静止画にしないでください。
- ボタンから指を離しても 1 コマ多く撮れることがあります。
- セルフタイマー設定時は最大記録枚数まで連続撮影します。
- フラッシュは発光しません。
- 「H」（高速）での撮影時は
  - ・1 コマごとに画面は静止しません。
  - ・プログレッシブ機能は「切」になります。
  - ・シャッター音は撮影開始時に一度だけ鳴ります。
- 以下の場合、連続撮影はできません。
  - ・「メモリキロク」メニューの「ガゾウサイズ」を「2048×1512」に設定しているとき
  - ・タイトルを表示しているとき。
  - ・スローシャッターモード時



動画を記録する

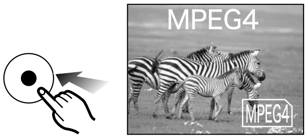
（MPEG4 動画撮影）

パソコンで再生できるMPEG4動画をカードに記録できます。（パソコンでの再生にはWindows Media™Player（Ver.6.4以降）をお使いください）

1. MPEG4（動画）モードにする



2. 撮影する / 撮影を停止する



MPEG4 が赤く点灯して、撮影が始まります。
もう一度押すと撮影を終わります。

音声を記録する

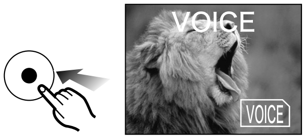
（ボイスレコーダー機能）

カードに音声を記録できます。
（リモコン / マイク端子を使ってフリースタイルリモコン（P27）や外部マイクからも記録できます）

1. VOICE（音声）モードにする



2. 録音する / 録音を停止する



VOICE が赤く点灯して、録音が始まります。
もう一度押すと録音を終わります。

■ カードコンテンツ表示について

カード再生モードになると、カードコンテンツ表示が現れ、カードに記録されているファイルの種類を確認できます。

セイシガ ：静止画が保存されています。
PICTURE（静止画）モードにすると再生および消去ができます。

MPEG4 ：MPEG4 動画が保存されています。
MPEG4（動画）モードにすると再生および消去ができます。

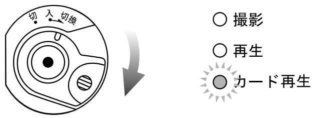
オンセイ ：音声データが保存されています。VOICE（音声）モードにすると再生および消去ができます。

カード コンテンツ
セイシガ
MPEG4
オンセイ

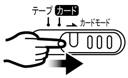
静止画を再生（スライドショー）する

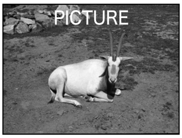
カードに記録した静止画を再生します。スライドショーを行うとカード内の静止画を順番に再生します。

1. カード再生モードにする



2. PICTURE（静止画）モードにする

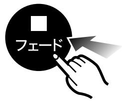




3. スライドショーを実行する



スライドショーを停止する



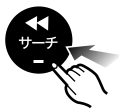
スライドショーを一時停止する



次の画像を再生する（スライドショー停止中）



前の画像を再生する（スライドショー停止中）



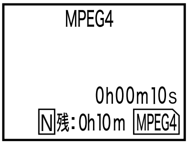
■ MPEG4 動画撮影について

- マニュアルのシャッター速度の調整は1/60～1/500で行えます。画面の色が変わったり、ちらついたりする場合は、1/60または1/100に調整してください。(P45)
- MPEG4動画の画像サイズは、「スーパーファイン」時は「320 × 240」、「ファイン」、「ノーマル」時は「176 × 144」に設定されています。
- MPEG4（動画）モードに設定すると、カメラの映像の解像度が落ちます。これはMPEG4 動画記録に最適な画質にするためで、異常ではありません。
- 記録可能時間が 100 時間以上の場合、99h59m と表示されます。
- 音声はステレオの「L」、「R」がミックスされ、モノラルで記録されます。
- 記録が始まるまでに約２～３秒かかります。(その間、MPEG4 が赤色で点滅します)
- フォトショットボタンは働きません。
- 以下の機能が使えなくなります。
  - ・なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー
  - ・ワイド / プロシネマモード
  - ・シネマモード
  - ・フレーム動画
  - ・デジタル機能 / 効果
  - ・デジタルズーム
  - ・ズームマイク
  - ・セルフタイマー
  - ・フェード
  - ・タイトルイン / 作成
- 記録時にお知らせブザーは鳴りません。

■ 記録時間について

- 最大連続記録時間は「スーパーファイン」、「ファイン」で約 2 分、「ノーマル」で約 2 時間です。
- メールに添付する容量としては 1MB（記録時間:「スーパーファイン」で約 15 秒、「ファイン」で約 20 秒、「ノーマル」で約 1 分）以内をおすすめします。

■ 動画撮影時の画面の表示について



0h00m10s　:記録経過時間
記録を停止すると 0h00m00s に戻ります。

残:0h10m　:記録可能時間
残り時間が59秒以下になると赤色点滅となり、そのときに記録を開始しても記録できない場合があります。

MPEG4（青）:MPEG4(動画)モードの状態

MPEG4（赤）:記録中

MPEG4（緑）:カードにアクセス中(記録不可)

MPEG4（赤色点滅）
:カードが入っていない状態

SF　:スーパーファイン画質

F　:ファイン画質

N　:ノーマル画質

■ ボイスレコーダー機能について

- 音声はステレオの「L」、「R」がミックスされモノラルで記録されます。
- 記録可能時間が 100 時間以上の場合、99h59m と表示されます。
- 記録される音声ファイルは自動的にロック（誤消去防止）されます。
- 記録が始まるまでに約２～３秒かかります。(その間、VOICE が赤色で点滅します)
- フォトショットボタンは働きません。
- 記録時にお知らせブザーは鳴りません。

■ 記録時間について

- 最大連続記録時間は約 24 時間です。

■ 音声記録時の画面の表示について



0h00m10s　：記録経過時間
記録を停止すると 0h00m00s に戻ります。

残:0h10m　：記録可能時間
残り時間が59秒以下になると赤色点滅となり、そのときに記録を開始しても記録できない場合があります。

VOICE（青）：VOICE(音声)モードの状態

VOICE（赤）：記録中

VOICE（緑）：カードにアクセス中(記録不可)

VOICE（赤色点滅）
：カードが入っていない状態

■ ボイスパワーセーブについて

- 「ソノタセッテイ 1」(再生モード時は「ソノタセッテイ」)メニューの「ボイスパワーセーブ」を「入」にするとパワーセーブが働き、録音などの動作をしたあと、数秒後に表示などが消えて画面が暗くなり、電力の消費をおさえます。
- メニュー画面操作時には働きません。
- 何か操作をすると解除されます。
- パワーセーブ時は、電源の切り忘れにお気を付けください。
- 撮影モードでテープ/カード選択スイッチが「カード」のとき、本機にカードを入れたまま約 5 分間記録操作（撮影・録音）しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再び記録するときは、電源/操作モード切換えスイッチを「切」にしてから再度、「入」にしてください。

■ カードの再生について

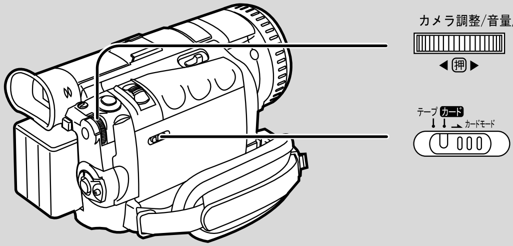
- カードのデータを再生中は、テープ / カード選択スイッチを操作しないでください。
- 動作中ランプ点灯中は、カードを抜き差ししないでください。
- カードにデータが記録されていない場合は白い画面になり、日付、時間が「ーー」表示になります。
- 形式の異なるデータや壊れたデータを再生したときには、画面中央に「×」が表示され、「再生できません」というメッセージが出ることがあります。

■ 静止画の再生について

- 本機以外で記録したファイルを再生すると、日時表示が記録日時と異なることがあります。
- 他の機器で記録された画像を再生すると、記録したときの画像サイズと本機で表示される画像サイズが異なる場合があります。(P121)
- タイトルを入れて再生できます。(P95)
- 再生時、画質表示は出ません。

■ 静止画の互換性について

- 本機は電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格 DCF(Design rule for Camera File system) に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。(JPEG 形式でも再生できないものもあります)
- 規格外のファイルを再生すると、フォルダー / ファイル名が表示されない場合があります。
- 静止画の最大再生可能サイズは「2560 × 1920」ですが、本機以外で記録したファイルは再生できない場合があります。
- 本機で記録したファイルを本機以外で再生すると画像が悪くなる場合があります。



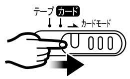
○ 撮影
○ 再生
● カード再生

「カード再生モード」
で操作してください。

スライドショーする画像を設定する

静止画をスライドショーする順序や再生時間を設定します。

1. PICTURE（静止画）モードにする



2. メニュー操作する（P24）



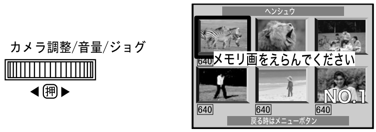
「カードヘンシュウ」メニュー
→「スライドショー設定」
→「する」

3. メニュー操作する（P24）



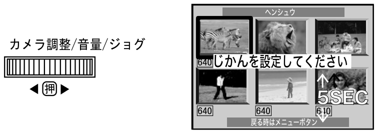
「スライドショー」
→「ヘンシュウ」
→「する」

4. 設定する画像を選ぶ



回して画像を選び、押して決定する。
ここで設定した順番で、スライドショーされます。

5. 再生時間を設定する



回して時間を設定し、押して決定する。
設定内容が表示されます。

■ 設定を終了し、メニュー画面に戻る

手順 4、5 を繰り返し、メニューボタンを押す

■ 設定したスライドショーを実行する

手順３で「スライドショー」を「プリセット」に設定してから、再生ボタンを押す（「M. スライド ▷」表示が出ます）

- スライドショーを設定していないときには「プリセット」は選べません。

■ すべての画像をスライドショーする

手順３で「スライドショー」を「オール」に設定してから、再生ボタンを押す（「スライド ▷」表示が出ます）

■ スライドショーの再生順序や再生時間を変更する

手順４で設定変更する画像を選び、再生する順番と再生時間を設定する

再生時間は下表のように設定できます。

画像サイズ（P121）	設定可能時間
QXGA UXGA	7 ～ 99 秒
上記以外	5 ～ 99 秒

■ スライドショー設定の内容を確認する

手順３で「設定カクニン」を「する」に設定すると、画像が設定した順序で、再生時間とともにマルチ画面に表示されます。

■ 設定された画像を解除する

手順３で「設定カイジョ」を「する」に設定し、解除する画像を選び、決定する

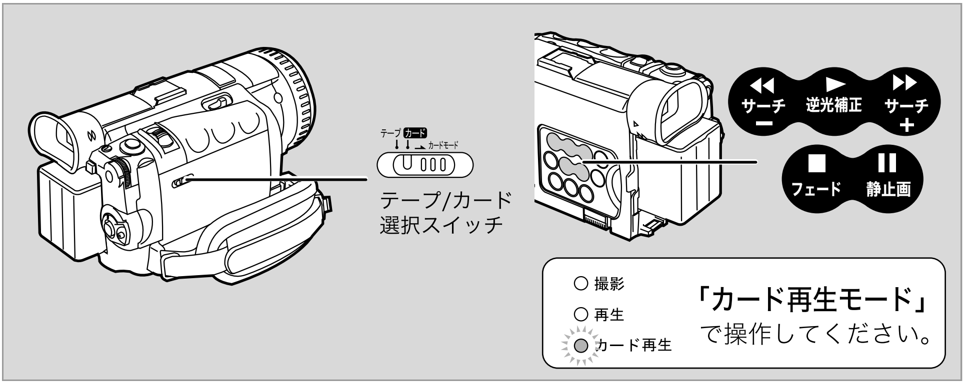
■ すべてのスライドショー設定を解除する

手順３で「設定オールクリア」を「する」に設定し、確認メッセージが出たら「ハイ」を選ぶ

お願い／ヒントなど

■ スライドショーの設定について

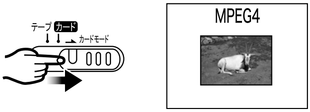
- スライドショー設定は本機で行ってください。
- スライドショー設定している画像には「●」（緑）が表示されます。（同じ画像に DPOF（P92）が設定されている場合は「●」（青）が表示されます）
- 画像サイズによっては、再生時間が設定した時間より長くなる場合があります。
- スライドショー再生中はタイトルイン（P95）できません。
- 「スライドショー」の設定が「プリセット」の場合、スライドショーの再生を途中で停止したり、再生が終了した場合は、カード内のファイル番号が一番大きい画像を表示して停止します。



MPEG4 動画を再生する

カードに記録した MPEG4 動画を再生します。

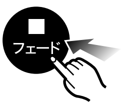
1. MPEG4（動画）モードにする



2. 再生する



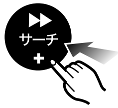
再生を停止する



再生を一時停止する



次の動画へ



再生中に押すと次のファイルの初めから再生

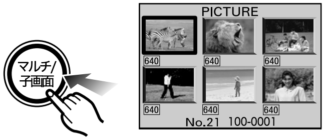
前の動画へ



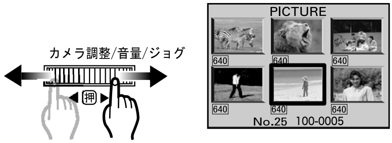
再生中に押すとそのファイルの初めから再生

■ マルチ画面から再生するファイルを選ぶ

1. マルチ画面にする



2. ファイルを選ぶ

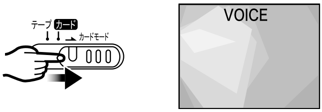


回すと選んだファイルが赤い枠で囲まれるので、押して決定する

音声データを再生する

カードに記録した音声ファイルを再生します。

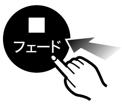
1. VOICE（音声）モードにする



2. 再生する



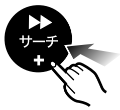
再生を停止する



再生を一時停止する



次の音声ファイルへ



再生中に押すと次のファイルの初めから再生

前の音声ファイルへ



再生中に押すとそのファイルの初めから再生

- 再生中または一時停止中に ▶▶（◀◀）ボタンを１秒以上押し続けると 10 倍速、7 秒以上押し続けると60倍速の早送り（早戻し）再生になります。ボタンから指を離すと元に戻ります。

■MPEG4 動画の再生について

- 再生中にマルチプッシュダイヤルを押し続けると、音量表示が出ます。回して調整してください。（もう一度押すと、音量表示が消えます）
- 被写体の動きが速かったり、ズーム操作などをした場面では、映像が一瞬止まったようになったり (コマ落ち)、モザイクが発生しますが、異常ではありません。
- 再生時、画像のサイズが小さくなりますが、異常ではありません。
- 再生中、日時表示は止まったままになります。
- 早送り / 巻戻し再生、スロー/ 逆スロー再生、コマ送り / 逆コマ送り再生、ジョグ再生をすることはできません。
- 再生終了前、約 1 秒間は一時停止ボタンを受け付けません。
- MPEG4 動画を DV 端子から出力することはできません。

■MPEG4 動画の互換性について

- 「スーパーファイン」、「ファイン」で記録した MPEG4 動画は当社製デジタルビデオカメラ NV-MX1000、NV-MX2500、NV-EX21 では再生できません。このとき「RESET ボタンをおしてください」などの表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- 本機で再生できるファイル形式は ASF 形式です。(ASF 形式でも再生できないものがあります)
- 本機で記録したファイルを本機以外で再生すると、画面の上下に黒い帯が出ることがあります。
- 本機以外で記録したファイルを再生すると、再生時間によっては、再生経過時間の一部が、"--" と表示されることがあります。
- 本機以外で記録したファイルは、本機で再生できない場合があります。
- 本機以外で記録したファイルを本機で再生しようとすると、画面に「×」が表示され再生できない場合があります。また、再生中に画面に「×」が表示されたり、画面がコマ落ちしたり、映像と音声の同期がとれないことがあります。

■ 音声ファイルの再生について

- 再生中にマルチプッシュダイヤルを押し続けると、音量表示が出ます。回して調整してください。（もう一度押すと、音量表示が消えます）
- 早送り (早戻し) 再生から通常再生に戻しても、約 1、2 秒は早送り (早戻し) 再生を続けます。
- 早送り(早戻し)再生した場合には、音声と再生経過時間の表示がずれる場合があります。
- 本機以外で記録したファイルを再生すると、再生時間によっては、再生経過時間の一部が、"--" と表示されることがあります。
- 再生中、日時表示は止まったままになります。
- 音声データをDV端子から出力することはできません。
- 音声データは当社製デジタルビデオカメラ NV-MX1000、NV-MX2500、NX-EX21、NV-GX7K、NV-MX5000、NV-GS50K、NV-GS70K または SD マルチカメラ SV-AV10、SV-AV30 などで再生できます。音楽再生機能搭載の当社製デジタルビデオカメラ (NV-C7、NV-MX2000)、SD-Jukebox、SD メモリカード対応の IC レコーダー (RR-XR320) では再生できません。(2003 年 5 月現在)

■ ボイスパワーセーブについて

- 「ソノタセッテイ」メニューの「ボイスパワーセーブ」を「入」にすると、再生などの動作をしたあと、数秒後に表示などが消えて画面が暗くなり、電力の消費をおさえます。
- メニュー画面操作時と音量調節中は働きません。
- 何か操作をすると解除されます。
- パワーセーブモード時は、電源の切り忘れにお気を付けください。

■ マルチ画面表示について

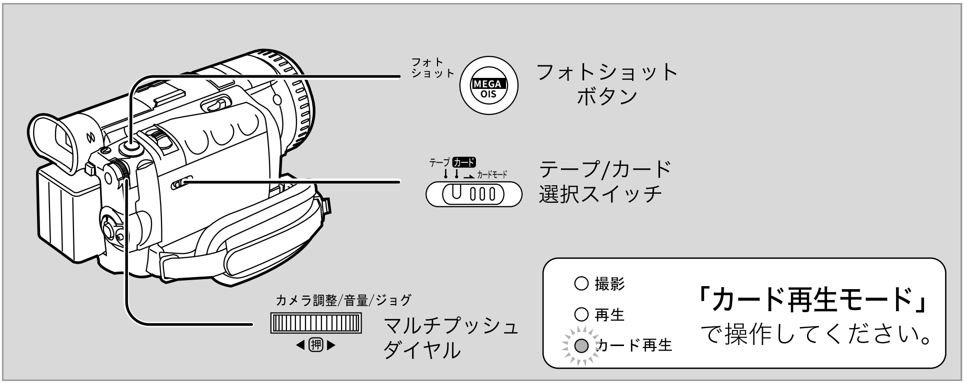
- マルチ画面で一度に表示できるのは 6 ファイルまでです。7 ファイル以上記録されている場合はマルチプッシュダイヤルを回して、次のマルチ画面を表示させてください。
- 早送り（▶▶）ボタンまたは巻戻し（◀◀）ボタンを押すと、6 画面ごとに送る（戻す）ことができます。

■ ワイヤレスリモコンでマルチ画面を操作する

- マルチ画面表示中に項目ボタンを押すとファイルを選択する枠が 1 つずつ右に移動します。（巻戻し（◀◀）ボタンを押すと画面の左上にあるファイル（7 ファイル目以降のときは、ひとつ前のマルチ画面）に戻ります）
- 設定ボタンを押すと選んだファイルを表示します。
- MPEG4（動画）モードまたは VOICE（音声）モードではさらに再生ボタンを押して再生を始めます。

■ ファイル番号を指定して再生する（ナンバー指定）

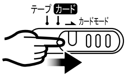
- 「カードヘンシュウ」メニューの「ナンバー指定」を「する」にして、ファイルナンバーを選ぶと、設定した番号のファイルが画面に現れます。
- MPEG4（動画）モードまたは VOICE（音声）モードではさらに再生ボタンを押して再生を始めます。



ファイルを消去する（メモリー消去）

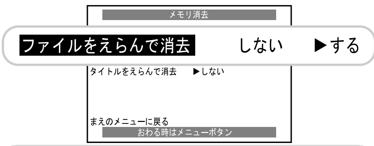
カードに記録したファイルを消去します。一度消去したファイルは元に戻りません。

1. カードモードを選ぶ



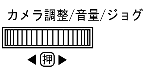
消去したいファイルと同じカードモード［PICTURE（静止画）/MPEG4（動画）/VOICE（音声）］を選んでください。

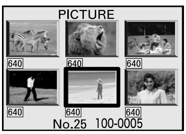
2. メニュー操作する（P24）



「メモリ消去」メニュー
→「ファイルをえらんで消去」
または「タイトルをえらんで消去」
→「する」

3. 消去するファイルを選ぶ

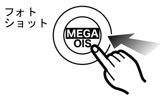




回して画像を選び、押して決定する。

- 同じ画面の複数のファイルを選択して消去することもできます。

4. 消去する



確認のメッセージが出たら「ハイ」を選んでマルチプッシュダイヤルを押す。やめるときは「イイエ」を選んでください。

■ファイルをすべて消去する場合

手順２で「ファイルをすべて消去」を「する」にし、確認のメッセージで「ハイ」を選び、マルチプッシュダイヤルを押す（そのときに設定されているカードモードのロック設定（P91）されていないファイルだけをすべて消去します。
たとえば、PICTURE（静止画）モード時に行うと、カードにある静止画のファイルだけをすべて消去し、MPEG4動画、音声のファイルは消去されません）

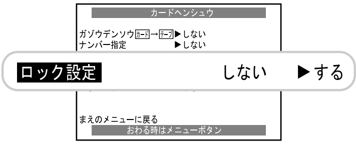
ファイルを誤消去防止する（ロック設定）

1. カードモードを選ぶ



ロックしたいファイルと同じカードモード［PICTURE（静止画）/MPEG4（動画）/VOICE（音声）］を選んでください。

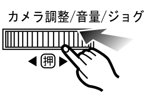
2. メニュー操作する（P24）



「カードヘンシュウ」メニュー
→「ロック設定」
→「する」

3. ファイルを選ぶ

（PICTURE（静止画）モードの場合のみ、ファイルの種類（「セイシガ」または「タイトル」）を選んでおく）





回して画像を選び、押すと「🔑」表示が出てファイルがロックされます。もう一度押すとロックは解除されます。

■設定を終了する

メニューボタンを押す

📖 お願い／ヒントなど

■ファイルの消去について

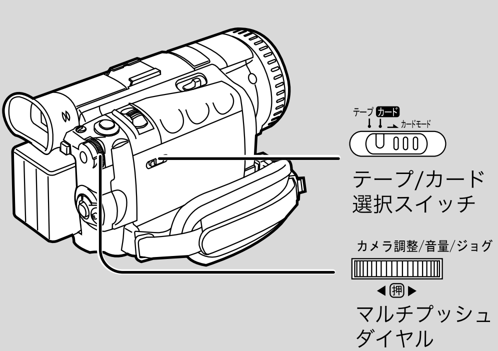
- ファイルはロックされていると消去できません。ロック設定を解除しておいてください。
- 記録時に「メモリ記録はできません」と表示されたときは、
  - ・カード再生モードにして、不要なファイルを消去してください。
- それでも消去するファイルがないときは、
  - ・他のカードモードのファイルやタイトルで容量がいっぱいです。
  - ・他のカードモードを選んだあと、不要なファイルを消去してください。
- SDメモリーカードの場合、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると「メモリー消去」メニューは選べません。

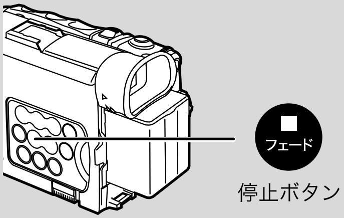
■他の機器でカードに記録された静止画のファイルを消去する場合

- 本機で再生できない静止画のファイル(JPEG以外のファイル)でも消去される場合があります。

■ロック設定について

- 他機で記録したMPEG4動画はロック解除できないことがあります。
- VOICE（音声）モードで記録されたファイルは、自動的にロックされています。
- ロックされたファイルは、消去しようとしても「消去できません」と表示され、消去できません。
- ファイルをロックしていても、フォーマット（P74）した場合は消去されます。（データの書き込み、消去、フォーマットをできなくするには、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチ（P74）を「LOCK」側にしてください）





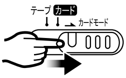
○ 撮影
○ 再生
● カード再生

「カード再生モード」
で操作してください。

プリント情報をカードに書き込む（DPOF 設定）

プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOF データ）をカードに書き込むことができます。

1. PICTURE（静止画）モードにする

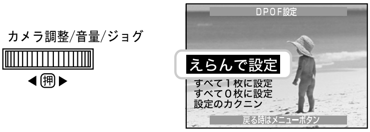


2. メニュー操作する（P24）



「カードヘンシュウ」メニュー
→「DPOF 設定」
→「する」

3. 「えらんで設定」を選ぶ



回して項目を選び、押して決定する。

4. プリントする画像を選ぶ



回して画像を選び、押して決定する。
枚数表示が出ます。

5. プリントする枚数を選ぶ



回して枚数(0 から 99 枚まで)を選び、押して決定する。
「○」表示が出ます。

■ 設定を終了する

手順 4、5 を繰り返したあと、メニューボタンを押す

■ すべての画像を 1 枚ずつプリントするように設定する

手順 3 で「すべて 1 枚に設定」にする。

■ すべての画像をプリントしないように設定する

手順 3 で「すべて 0 枚に設定」にする。

- DPOF データの書き込み中は「DPOF データを設定中です」と表示されます。

■ DPOF 設定の内容を確認する

手順 3 で「設定のカクニン」にし、マルチプッシュダイヤルを押し込む

- 1 枚以上に設定している画像が枚数表示とともに順番に再生され、そのあと、通常のカード再生に戻ります。

■ DPOF 設定の確認を途中でやめる

停止ボタンを押す

お願い／ヒントなど

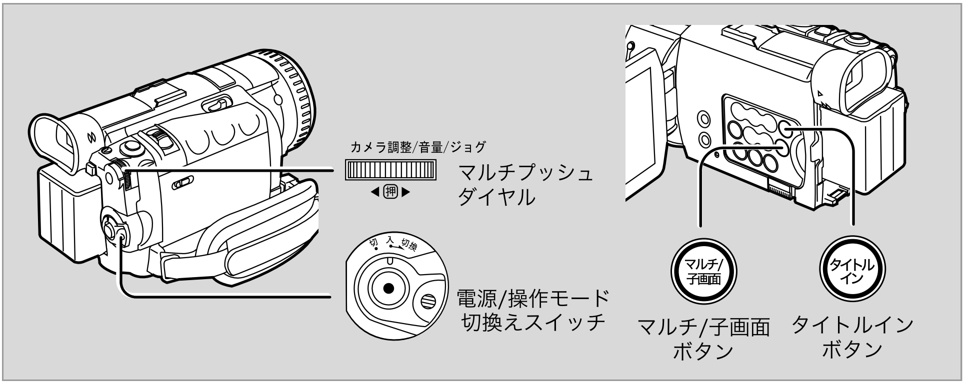
■ DPOF 設定について

- 他機でDPOF設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。
- DPOF 設定された画像の確認に時間がかかる場合があります。動作中ランプが消灯するまでお待ちください。
- 1000 枚以上記録されたカードで「すべて 1 枚に設定」にした場合、設定されるのはファイル番号が 1 ～ 999 までの画像だけです。
- DPOFでプリント枚数を1枚以上に設定している画像には「○」(白) が表示されます。(同じ画像にスライドショー設定されている場合は「●」(青) が表示されます)

■ DPOF とは

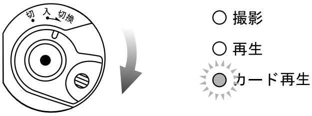
- Digital（デジタル） Print（プリント） Order（オーダー） Format（フォーマット） の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにカードのメモリー画像にプリント情報などを付加できるようにしたものです。

カード



素早くメニュー設定を行う
（ショートカットメニュー）

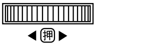
1. カード再生モードにする



2. ショートカットメニューを表示する



3. 希望のメニューを選んで、決定する



回して項目を選び、押して決定する。

■設定をやめる
「戻る」を選び、マルチプッシュダイヤルを押す

■ナンバー指定
「ナンバー指定」を選び、マルチプッシュダイヤルで再生したいファイルの番号を選び、押して決定する。

■メモリ消去
消去するファイルを選んでおいて、「メモリ消去」を選ぶと、確認のメッセージが出ます。
マルチプッシュダイヤルを使って「ハイ」を選ぶ。

■ロック設定
ファイルを選んでおいて、「ロック設定」を選ぶと、ファイルがロックされます。（選んだファイルがロックされていた場合は、解除されます）

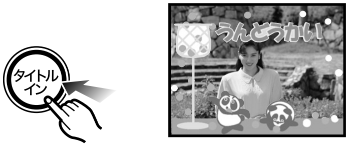
■DPOF 設定
※ PICTURE(静止画) モード時のみ
DPOF 設定するファイルを選んでおく。
「DPOF 設定」を選び、マルチプッシュダイヤルを使ってプリント枚数を選び、押して決定する。

タイトルを入れる

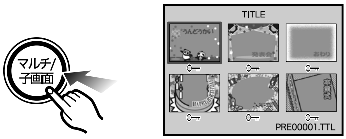
(タイトルイン)

付属のカードに入っている楽しいプリセットタイトルや、自分で作ったオリジナルタイトルを画面に表示することができます。[撮影 / 再生 / カード再生] いずれのモードでもタイトルインできます。
(MPEG4(動画)、VOICE(音声)モードではタイトルインできません)

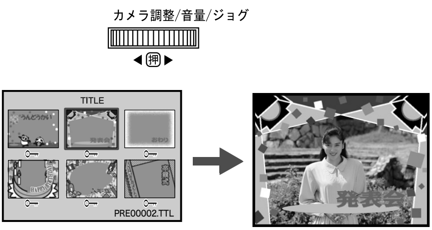
1. タイトルを表示する



2. マルチ画面にする



3. タイトルを選ぶ



撮影モードではタイトルインした映像を記録できます。
再生、カード再生モード時は、テープ映像やカードの静止画にタイトルを入れて楽しめます。

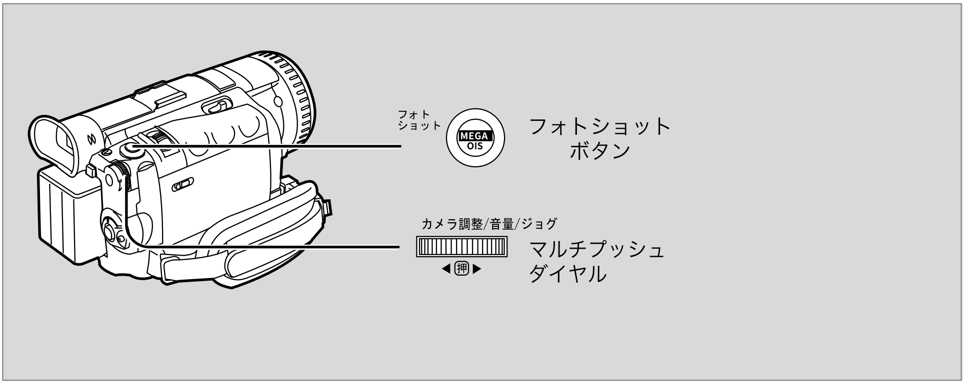
■ 表示したタイトルを消す

タイトルインボタンを押す

お願い／ヒントなど

■ タイトルインについて

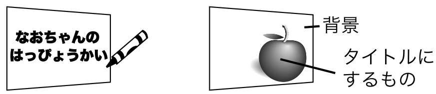
- カードフォトショット時は、画像サイズが「2048 × 1512」に設定されているとタイトルインできません。「メモリキロク」メニューで「ガゾウサイズ」を「640 × 480」に設定してください。
- 「640 × 480」以外の画像サイズをもつタイトルを表示させることはできません。
- タイトルインボタンを押すと、最後に作ったオリジナルタイトルが表示されます。
  オリジナルタイトルを作っていない場合はプリセットタイトルが表示されます。
- オリジナルタイトルはプリセットタイトルの後に記録されます。
- タイトルを表示させると、ゼブラパターンは消えます。
- タイトルインは以下の機能と同時に使えません。
  ・デジタル機能 / 効果
  ・シネマモード
  ・連写カードショット
- 再生モードでタイトルを表示していても、DV 端子からタイトルは出力されません。

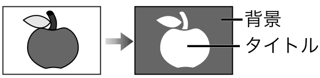


タイトルを作る

タイトルを作り、カードに記録できます。

1. タイトルにするものを用意する





タイトルにするものが白っぽい場合は黒い背景を用意し、黒っぽい場合は白い背景を用意する。

2. メニュー操作する（P24）



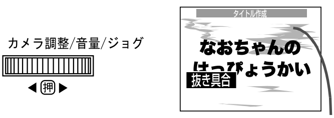
「メモリキロク」メニュー
→「タイトル作成」
→「する」

3. 用意したものを画面に映す



画像が静止します。
（再生モードのときは静止画再生している画像になります）

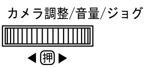
4.「抜き具合」を選び、調整する

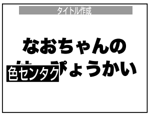


この部分がきれいになるように調整します。

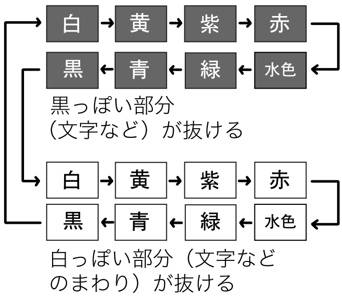
マルチプッシュダイヤルを回して調整し、終わったら押して決定してください。

5.「色センタク」を選び、色を決める

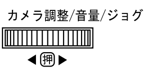


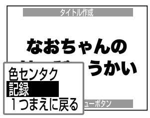


マルチプッシュダイヤルを右に回すと図の順番で色が変わります。調整が終わったら押して決定してください。



6.「記録」を選んで保存する

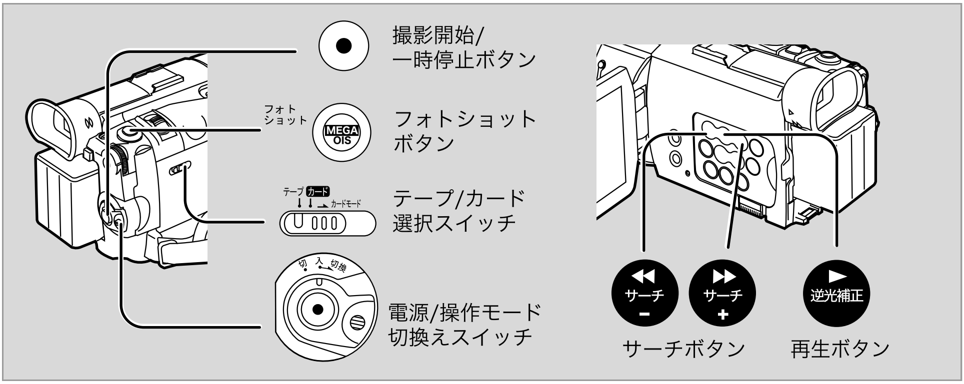




📖 お願い／ヒントなど

■ タイトル作成について

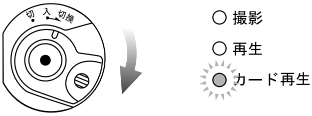
- 「ガゾウサイズ」が「2048 × 1512」に設定されていて、カード / テープ選択スイッチが「カード」側になっていると、「タイトル作成」はできません。
- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（P44）でピントを合わせてから、タイトル作成をしてください。
- タイトルにするものはコントラストのはっきりしたもの、光を反射しないものが適しています。
- 「1つまえに戻る」を選ぶと1つ前の画面が表示されます。
- 「抜き具合」を調整しても、タイトルにしたいものの明度差が少ないときれいに抜けないことがあります。
- 細かいものをタイトルにすると、きれいに作成できないことがあります。
- オリジナルタイトルを記録すると、記録可能枚数が少なくなります。
- 記録可能枚数が残り少ない場合、オリジナルタイトルが記録できないことがあります。
- 「ガゾウサイズ」の設定に関係なく、タイトルの画像サイズは「640×480」になります。
- 「ϟ」が表示されているときにフォトショットボタンを押すと、フラッシュが発光します。
- 本機以外のビデオカメラまたはマルチメディアカード用タイトル作成ソフト VW-SWMT1（別売）などで作られたフルカラータイトル (JPEG) は本機では再生またはタイトルインできません。
- 本機ではフルカラータイトルは作れません。



カードの静止画をテープに記録する

静止画を記録するテープ位置を確認しておいてください。

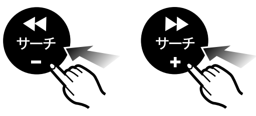
1. カード再生モードにする



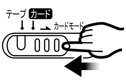
2. PICTURE（静止画）モードにする



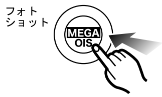
3. 記録する静止画を選ぶ



4.「テープ」にする



5. テープに記録する



合わせておいたテープ位置から約7秒間静止画が記録されます。

■ カードからテープへ画像を自動伝送する（画像伝送）

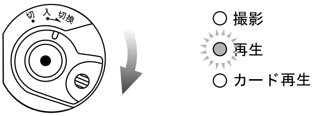
手順 5 で、「カードヘンシュウ」メニューの「ガゾウデンソウ カード → テープ」を「する」に設定する

- 「スライドショー」の「プリセット」の設定に関わらず、そのときに再生されている画像からカードに記録された順番で最後の画像までテープに記録されます。(画像 1 枚あたり 7 〜 11 秒間の静止画となります)

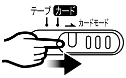
テープの映像をカードに記録する

撮影済みのテープ映像をカードに記録できます。

1. 再生モードにする（撮影済みのカセットを入れておいてください）



2. PICTURE（静止画）または MPEG4（動画）モードにして、画質を選ぶ（P73）

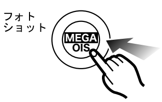


3. テープを再生する



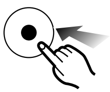
4. カードに記録する

静止画に記録



または

MPEG4 動画に記録



■テープからカードへ画像を自動伝送する（画像伝送）

手順 3 で、任意の位置でテープを一時停止し、「再生キノウ」メニューの「ガゾウデンソウ テープ→カード」を「する」に設定する。

お願い／ヒントなど

■カードからテープへの記録について

- テープに記録される画像のサイズは、「720 × 480」になります。（メガピクセル静止画記録ではありません）
- カードの静止画をテープに記録すると、画質が多少劣化することがあります。
- 自動的にインデックス信号が記録されますので、あとで頭出し（P67）ができます。
- MPEG4 動画、音声データをテープに記録することはできません。

■画像伝送（カード→テープ）について

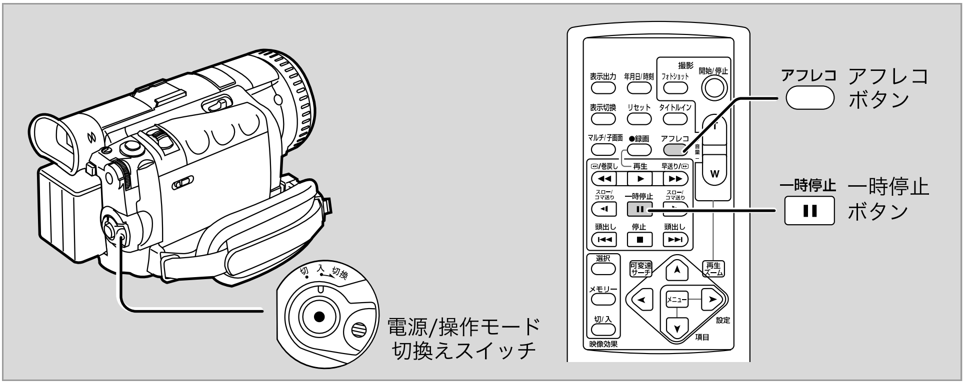
- 記録中は「メモリ画をテープに記録中です」と表示されます。
- 画像伝送の途中で停止ボタンを押すとその時点で画像の取り込みを終わります。

■テープからカードへの記録について

- カードに記録される静止画のサイズは、「640 × 480」になります。（メガピクセル静止画記録ではありません）
- テープ映像を静止画再生しないでフォトショットすると、ぶれのある画像を記録することがあります。
- S1 信号（16：9）の映像は、「ワイド画像は記録できません」と表示され、記録できません。
- 静止画を記録する場合、音声は記録できません。
- シャッター効果は働きません。
- 再生モードの映像効果は MPEG4 動画には記録されません。
- VOICE（音声）モードでは記録できません。

■画像伝送（テープ→カード）について

- 画像伝送が始まると、その時のテープ位置からサーチを開始し、フォトインデックス信号の入った画像が順番にカードに記録されます。
- 記録中は「テープ再生画をカードに記録中です」と表示されます。
- テープからカードへ記録中にカード記録の残りの枚数が 0 枚になると「メモリ記録はできません」と表示され、テープは静止画再生になります。
- 画像伝送の途中で停止ボタンを押すとその時点で画像の取り込みを終わります。

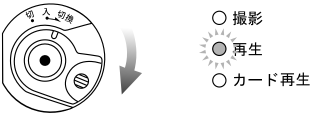


撮ったあとに別の音声を入れる

（アフレコ）

テープに撮った映像にあとから BGM やナレーションを入れることができます。
ライン入力する場合は「AV 入出力セッテイ」メニューの「AV タンシ」を「AV 入出力」にしておく。
（各機器との接続については P14 ～ 15）

1. 再生モードにする

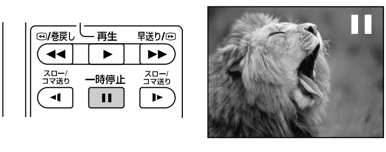


2. メニュー操作する（P24）

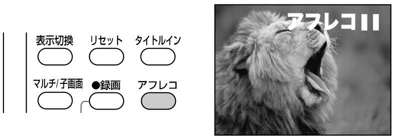


「AV 入出力セッテイ」メニュー
→「アフレコ入力」
→「マイク」（マイク入力）または
「ライン」（ライン入力）

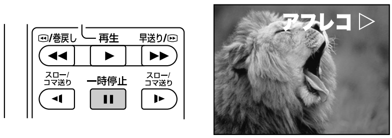
3. 音声を入れる場面を探し、静止画再生する



4. アフレコの準備状態にする

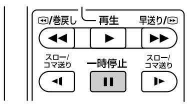


5. 録音を始める



本機の内蔵ステレオマイクに向かって音声を入れます。

6. 録音を終わる



■ アフレコ録音する前に

- 撮影時のオリジナルの音声も残したい場合は「キロクセッテイ」メニューの「音声キロク」を「12bit」にして撮影してください。(「16bit」設定時は、アフレコ録音後、撮影時の音声は消えます)
- 「キロクセッテイ」メニューの「キロクモード」を「SP」にして撮影してください。(「LP」モードで撮影した部分にはアフレコできません)

■ アフレコした音声を聞く

「再生キノウ」メニューの「12bit 音声」の設定によって、アフレコ音声と元の音声を切り換えることができます。

ステレオ 1：元の音声を再生します。
ステレオ 2：アフレコ音声を再生します。
ミックス　：元の音声とアフレコ音声を同時に再生します。

■ 音声を聞きながらアフレコするには

アフレコ一時停止時に「ステレオ 2」に設定すると、音声を確認できます。マイク入力時は、ヘッドホンを使うと音声を聞きながらアフレコできます。(ヘッドホンを使う場合、「AV 入出力セッテイ」メニューの「AV タンシ」を「AV 出力 / ヘッドホン」に設定してください）ライン入力時はスピーカーで音声を聞きながらアフレコできます。

■ カウンターメモリー機能を使ってアフレコの編集をするには

「ヒョウジセッテイ」メニューの「カウンタモード」を「カウンタメモリ」(P60）に設定し、アフレコを終わりたいところでカウンターをリセットしておいてから、開始位置まで巻き戻してアフレコを始めると、リセットした位置で自動的にテープが停止します。

お願い／ヒントなど

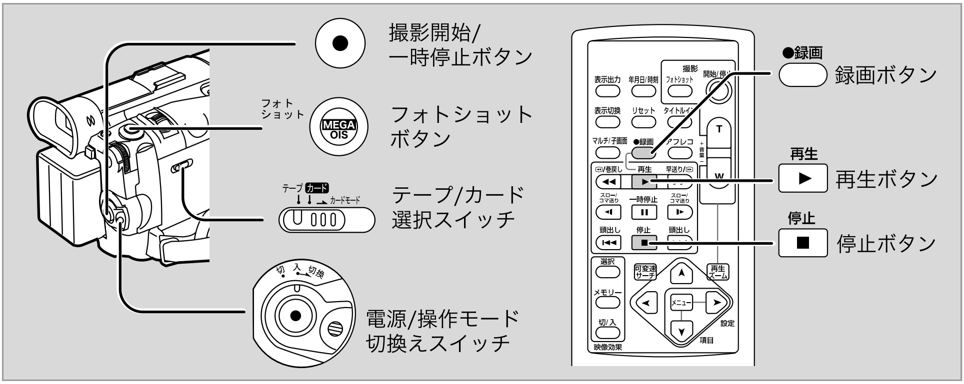
■ アフレコについて

- カードにアフレコはできません。
- 無記録部分にアフレコはできません。
- アフレコ中に無記録部分があると、その部分を再生したときに、映像、音声が乱れます。
- ＤＶ 端子からの音声をアフレコすることはできません。

■ マイク接続には以下の接続コード（別売）を使用します

- 大型ステレオプラグのヘッドホン端子の場合：ミニ録音コード S/RP-CA6A
- ピンプラグ- 2 の出力端子の場合：大型・ミニラインコード S/RP-CA59A
- ミニステレオプラグのヘッドホン端子の場合：ミニ・ミニ録音コード S/RP-CA2A

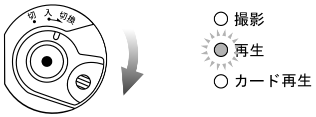
編集



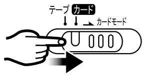
外部機器（ビデオ機器やテレビ）の内容を記録する

S-VHS(VHS) カセットの内容を DV カセットやカードにダビングしたり、テレビ番組を録画することができます。
(各機器との接続については P14 ～ 15)

1. 再生モードにする

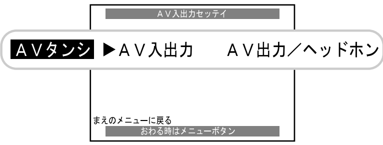


2.「テープ」または「カード」を選ぶ



「カード」の場合、PUCTURE（静止画）または MPEG4（動画）モードを選んでください。

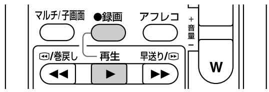
3. メニュー操作する（P24）



「AV 入出力セッテイ」メニュー
→「AV タンシ」
→「AV 入出力」

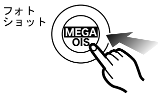
4. 電源を入れ再生する (外部機器)

5. 録画する（本機）
テープに記録

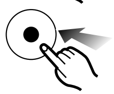


録画ボタンを押しながら、
再生ボタンを押す
(停止ボタンを押して録画を終わる)

カードに記録



PICTURE (静止画) モード

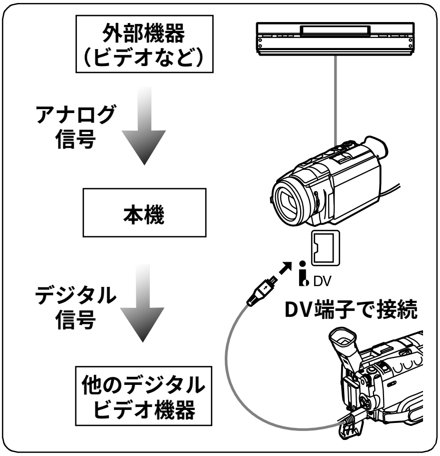


**MPEG4（動画）モード
（もう一度押して録画を終わる）**

6. 再生を終わる（外部機器）

■ AD(アナログ / デジタル) 変換について

「AV 入出力セッテイ」メニューの「AD ヘンカン出力」を「する」に設定すると、外部機器からアナログ入力した映像を、DV 端子を通して接続されている他のデジタルビデオ機器にデジタル出力することができます。

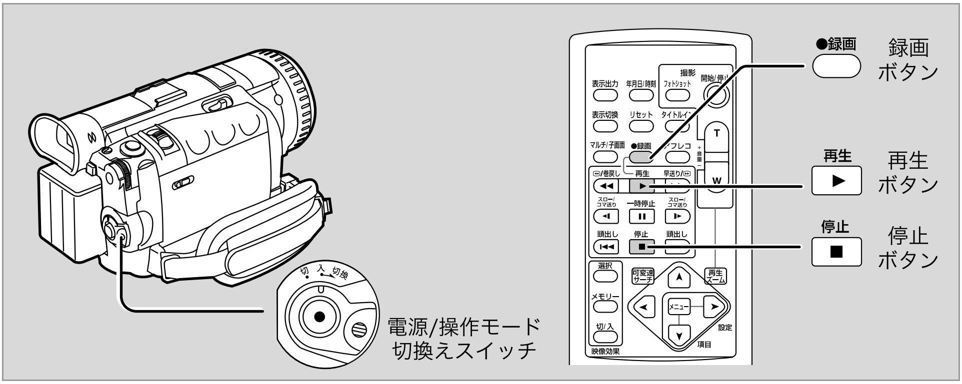


- 通常は「AD ヘンカン出力」を「しない」にしておいてください。「する」に設定していると、映像が乱れることがあります。

お願い／ヒントなど

■ 外部機器からの記録について

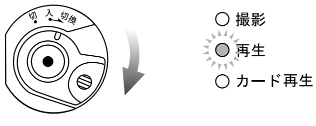
- 録画中はコードを抜き差ししないでください。正常に録画できないことがあります。
- お使いのテレビやビデオ機器の説明書をよくお読みください。
- 「キロクセッテイ」メニューの「音声キロク」で記録する音声モード（「12bit」または「16bit」）を設定してください。
- 主音声、副音声の入った映像（2 カ国語の映像など）をダビングしたときは、再生時に「再生キノウ」メニューの「音声キリカエ」で聞きたい音声を選んでください。（P61）
- 「キロクセッテイ」メニューの「キロクモード」を「LP」に設定しておくと、「SP」の 1.5 倍長く録画できます。（P42）
- 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を録画すると、録画時に「コピーガードがありただしく録画できません」とメッセージが出て、再生時に映像がモザイクになります。
- 本機は S1/S2 映像信号に対応していますが、ワイド映像を本機で再生すると、液晶モニター、ファインダーの映像は縦のびになります。
- 録画中に外部機器側で早送り再生やスロー再生などを行うと、再生時に映像がモザイクになることがあります。
- テレビなどの外部機器から映像を記録するときに、テレビの電波が弱い場面や画面にノイズが入っている場合にその映像を記録すると、映像が乱れたり再生できないことがあります。
- S 映像コード（別売）と映像 / 音声コード（付属）を両方接続している場合、S 映像が優先して入力されます。
- AV 入出力端子、S2(S1) 映像入出力端子のどちらか一方に映像信号を入力している場合、残りの端子から同じ映像信号を出力することはできません。
- アナログ入力映像の録画中は、カードフォトショット、MPEG4 動画記録はできません。
- 外部入力からカードに記録される静止画のサイズは、「640 × 480」になります。
（メガピクセル静止画記録ではありません）
- カードに静止画を記録する場合、音声は記録できません。
- シャッター効果は働きません。
- VOICE（音声）モードにするとカードに記録できません。
- モニター出力端子のないテレビからは録画できません。



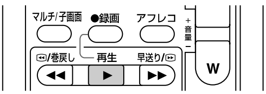
S-VHS（VHS）カセットにコピーする（ダビング）

本機で撮った映像をビデオを使って S-VHS（VHS）カセットにダビングすることができます。
（各機器との接続については P14 ～ 15）

1. 再生モードにする



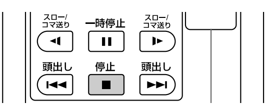
2. 再生する（本機）



3. 録画する（ビデオ）

4. 録画を終わる（ビデオ）

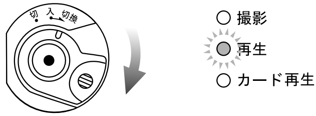
5. 再生を終わる（本機）



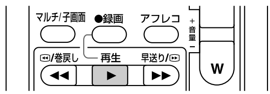
デジタルビデオ機器とつないで使う（デジタルダビング）

DV 端子 (IEEE1394 端子) を持ったデジタルビデオ機器と DV ケーブル VW-CD1(別売) でつなぐと、デジタル信号による高画質なダビングができます。
（各機器との接続については P14 ～ 15）

1. 再生モードにする（再生機・録画機）



2. 再生する（再生機）



3. 録画する（録画機）



録画ボタンを押しながら、
再生ボタンを押す
（停止ボタンを押して録画を終わる）

4. 再生を終わる（再生機）

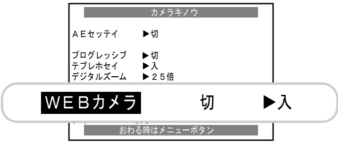


パソコンにつないで WEB カメラとして使う

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機とパソコンをつなぐと、インターネット回線を通してテレビ電話のようなコミュニケーションが楽しめます。

接続、インストールなどの説明は、別冊のパソコン接続編取扱説明書をお読みください。

パソコンに映像を映す



「カメラキノウ」メニュー
→「WEB カメラ」
→「入」



NetMeeting の画面に本機の映像が映ります。

- NetMeeting 以外の環境でのご使用については動作保障いたしません。
- WEB カメラとして使用している場合、テープやカードに記録することや、タイトルを表示させることはできません。

■ WEB カメラ機能を解除する

「WEB カメラ」を「切」にする

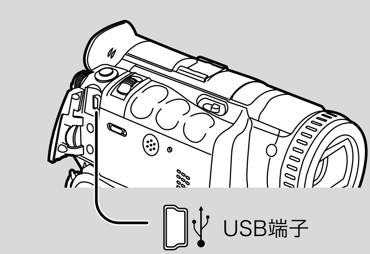
お願い／ヒントなど

■ ダビングについて

- 機能表示や年月日、時刻表示（P60）が不要な場合は表示を消しておいてください。
- ビデオ側で入力切り換えなどの設定も必要です。ビデオの説明書をお読みください。

■ デジタルダビングについて

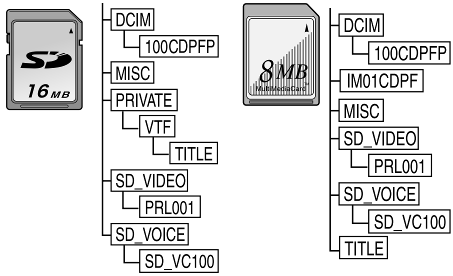
- ダビング中にDVケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しないことがあります。
- 主音声、副音声の入った映像（2 カ国語の映像など）をダビングしたときは、再生時に「再生キノウ」メニューの「音声キリカエ」で聞きたい音声を選んでください。（P61）
- DV 端子またはIEEE1394 端子を持った機器でも、デジタルダビングできない場合があります。詳しくは接続される機器の取扱説明書をお読みください。また、MPEG4 動画、音声データをDV端子から出力することはできません。
- 録画機側のメニューの設定に関係なく、再生テープの「音声キロク」モードと同じモードでダビングされます。
- 録画機側のモニター映像（ 液晶モニターやファインダー、テレビに映した映像) の画面下部がゆがんだり、上下にゆれることがありますが、異常ではありません。実際に記録される映像には影響ありません。
- 再生機側または録画機側でタイトルを入れても、ダビングされるのは元のテープ内容です。
- 著作権保護の信号 (コピーガード) が入っている映像を本機で録画すると、再生時に映像がモザイクになります。
- ２台の当社製デジタルビデオカメラをお使いの場合、リモコン設定をそれぞれ「VTR1」、「VTR2」にしておくと、リモコンによる誤動作を防ぐことができます。(P110)
- 「キロクセッテイ」メニューの「キロクモード」を「LP」にしておくと、「SP」の 1.5 倍長く録画できます。（P42）



パソコンとの接続については
14ページをご覧ください。

■ カードのフォルダー構造

SD メモリーカード　マルチメディアカード



パソコンを使って静止画を編集する

CD-ROM（付属）内のソフトウェアを使って、本機のテープ映像やカード画像をパソコンで扱うことができます。

接続、インストールなどの説明は、別冊のパソコン接続編取扱説明書をお読みください。

SD Viewer 1.6J-SE（ビューワーソフト）



カードの画像が一覧（サムネイル）表示されるので、内容が一目で確認できます。画像の整理や検索、DPOF設定などに便利です。

DV STUDIO 3.3J-SE（静止画取り込みソフト）



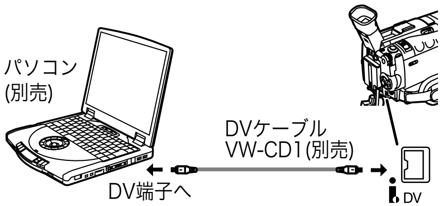
テープの映像からお好みの場面を静止画としてパソコンに取り込めます。また、撮影モードにすると、レンズに映った人や景色を取り込むこともできます。

パソコンを使って動画を編集する

Windows用DV動画編集ソフトMotionDV STUDIO（別売）を使うと、ノンリニア編集とテープ編集の両方の長所を生かしたハイブリッド編集を行うことができます。

接続や操作方法などの詳しい説明は、MotionDV STUDIO の説明書をお読みください。詳しくはカタログ、ホームページなどでご確認ください。

MotionDV STUDIO



■ ノンリニア編集

- デジタルビデオ機器の映像をデータとしてパソコンのハードディスクに取り込み、編集する方法です。パソコン上で取り込んだ映像に様々な特殊効果を入れることができます。

■ テープ編集

- ２台のデジタルビデオ機器を使って、映像をダビングしながらつないでいく方法です。ハードディスクの容量を気にせず編集できるので、長時間の編集に便利です。

「100CDPFP」
静止画が JPEG 形式（IMGA0001.JPG など）で記録されています。JPEG 画像対応のレタッチソフトなどで開くことができます。

「MISC」
静止画に設定した DPOF データのファイルが入っています。

「TITLE」
プリセットタイトル（PRE00001.TTL など）やオリジナルタイトル（USR00001.TTL など）のデータが入っています。

「PRL001」
MPEG4 動画が ASF 形式（MOL001.ASF など）で記録されています。

「SD_VC100」
音声データ（MOB001.VM1 など）が記録されていますが、パソコンでは再生できません。

「DCIM」や「IM01CDPF」、「PRIVATE」、「VTF」、「SD_VIDEO」、「SD_VOICE」などは、フォルダー構成上必要なものですが、実際の操作では関係のないフォルダーです。

お願い／ヒントなど

■ 静止画の編集について

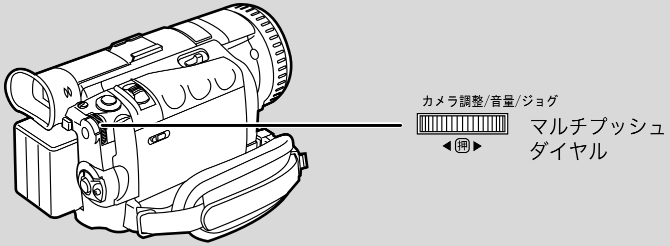
- パソコンと USB 接続していると、カードに記録することや、タイトルを表示させることはできません。

■ 動画の編集について

- カードのデータを使うときは、PICTURE（静止画）モードにしておいてください。
- 「640 × 480」以外のサイズを持つ画像を取り込むことはできません。画像サイズは「640 × 480」になります。

■ カード内のデータについて

- USB接続すると付属のCD-ROM内のソフトウェアなどでカードのデータを編集できます。この場合、静止画は「100CDPFP」フォルダーに入れてください。また、メガピクセル画像をタイトルにすることはできません。
- 本機で記録した画像データなどは、パソコン上で削除せず、本機で削除するようにしてください。
- MPEG4 動画（ASF 形式）ファイルは、Windows Media™ Player（Ver.6.4 以降）で再生できますが、音声が出ない場合は CD-ROM（付属）にある専用のソフトウェア（G.726）をインストールする必要があります。また、Windows Media™ Player にはこのソフトウェアの自動ダウンロード機能があります。インターネットに接続し、MPEG4 動画ファイルをダブルクリックすると、ソフトウェアが自動的にダウンロードされます。（Mac OS で再生する場合は、Windows Media™ Player for Macintosh が必要です）
- 「SD_VOICE」フォルダーおよびフォルダー内の音声ファイルは隠しファイルに設定されています。ご使用のパソコンの設定によっては、これらのフォルダーおよびファイルはエクスプローラーやマイコンピュータの画面には表示されません。
- MPEG4 動画の再生時、モザイクが出たり、コマ落ちしたり、画像が小さく再生される場合がありますが、異常ではありません。
- 本機は記録時にファイル名（IMGA 0001.JPG など）を自動的に記録します。
- MPEG4 動画のファイル名は記録されるごとに以下のように 16 進法で増えていきます。
  - ・MOL001.ASF → … → MOL009.ASF → MOL00A.ASF → … → MOL00F.ASF → MOL010.ASF → …
- 日付などの表示情報については、接続機器側ソフトウェアに表示機能がない場合、表示されません。また、ソフトウェアによっては日付、時間が正しく表示されないことがあります。
- パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機ではそのデータを認識することはできません。
- カードのデータは PC カードアダプター / BN-SDAAP3（別売）や USB リーダーライター/BN-SDCAP3などでもパソコンに取り込むことができます。**詳しくはカタログ、ホームページなどでご確認ください。使用方法については、パソコンや各アダプターの説明書をお読みください。**



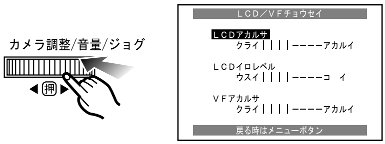
液晶モニター／ファインダーを調整する

1. メニュー操作する（P24）



「ヒョウジセッテイ」メニュー
→「LCD/VF チョウセイ」
→「する」

2. 調整する項目を選ぶ



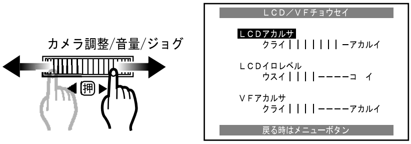
押すごとに項目が変わります。

LCD アカルサ：
　液晶モニターの明るさ

LCD イロレベル：
　液晶モニターの色の濃さ

VF アカルサ：
　ファインダーの明るさ

3. 調整する



回すとバー表示が増減します。

■ メニュー画面に戻す

メニューボタンを押す

■ 液晶モニターの画質を変更する（液晶 AI）

「ヒョウジセッテイ」メニューの「エキショウ AI」を「ダイナミック」または「ノーマル」に設定する

ダイナミック：
　明暗がはっきりした、メリハリのある画面になります。

ノーマル：
　標準の液晶画質になります。

年月日／時刻を合わせる

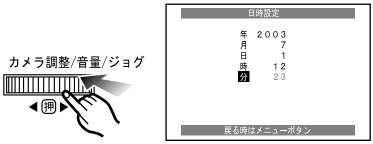
画面に表示される年月日 / 時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

1. メニュー操作する（P24）



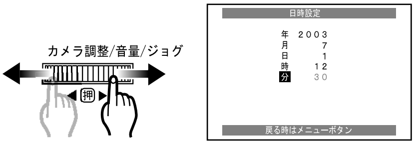
「ソノタセッテイ 1」メニュー
→「日時設定」
→「する」

2. 合わせる項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選ぶ



押すごとに項目が変わります。

3. 数字を合わせる



回して設定してください。

- 「年」は 2000 → 2001 →…→ 2089 → 2000 と変わります。
  「時間」は 24 時間表示です。
  （秒は 0 から始まります）

■ メニュー画面に戻す

メニューボタンを押す

お願い／ヒントなど

■ 液晶モニター、ファインダーの調整について

- 調整内容は、実際に録画される映像には影響しません。
- LCD は液晶モニターのことで、Liquid（リキッド） Crystal（クリスタル） Display（ディスプレイ） の略です。
  また、VF はファインダーのことで、View（ビュー） Finder（ファインダー） の略です。

■ 液晶 AI について

- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「エキショウ AI」を「ダイナミック」に設定すると、撮影シーンに応じて最適なコントラスト･明るさに設定されます。輝き感のある、引き締まった映像を表現します。
- 液晶 AI の効果は撮影シーンに応じて異なります。
- ファインダーの画質は変わりません。

■ LCD バックライトについて

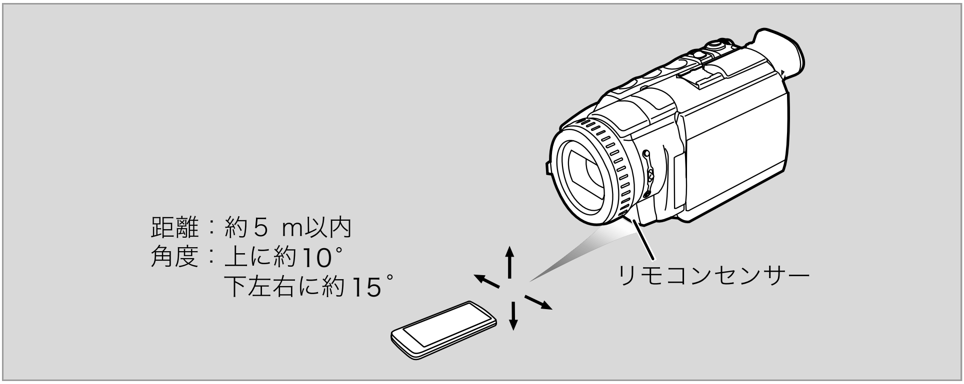
- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「LCD バックライト」を「アカルイ」に設定して液晶モニターの明るさを変えることもできます。
- AC アダプターを使用時は、電源を入れると「LCD バックライト」は「アカルイ」に自動で設定されます。

■ 年月日 / 時刻の調整について

- 内蔵時計は誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 年月日、時刻は、内蔵日付用電池を使って記憶させていますが、電源を入れたときに、「⊗」あるいは「ーー」表示が出るときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、日時を設定してください。

■ 内蔵日付用電池を充電する

- 電源 / 操作モード切換えスイッチを「切」にして本機にACアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けて、約 4 時間そのままにしておいてください。内蔵電池が充電されます。

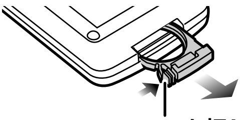


ワイヤレスリモコンを使う

離れた場所から本機に操作の指示ができるワイヤレスリモコンを使いましょう。(コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください)

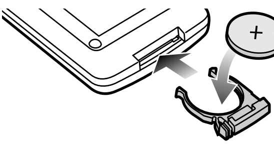
■ 付属のコイン電池を入れる

1. ホルダーを引き抜く



---

2. 電池を入れて、ホルダーを戻す



■ 同時に２台のビデオカメラを使う場合のワイヤレスリモコン

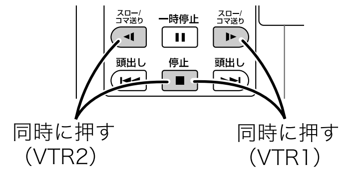
１台のビデオカメラとワイヤレスリモコンの設定を「VTR1」に、もう１台のビデオカメラとワイヤレスリモコンを「VTR2」に設定すると、２台の間でのリモコン誤作動を防ぐことができます。(お買い上げ時の設定は「VTR1」です。またコイン電池を交換すると、設定は「VTR1」になります)

■ リモコンモードの設定

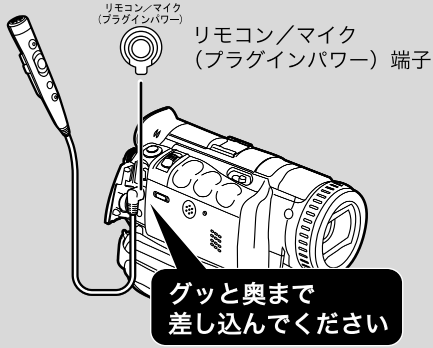
ビデオカメラ

「ソノタセッテイ 1」メニューの「リモコン」を「VTR1」または「VTR2」に設定する。

ワイヤレスリモコン



- ビデオカメラとワイヤレスリモコンのリモコンモードが違うときは、画面に「リモコン」(電源を入れたあとの最初の操作時のみ「リモコンのセッテイをカクニンしてください」（P122））と表示が出て操作ができません。同じリモコンモードに設定してください。

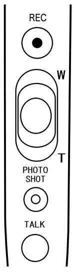


フリースタイルリモコンのプラグは、本体のリモコン/マイク(プラグインパワー)端子にしっかりと奥まで差し込んでください。

フリースタイルリモコンを使う

ハイアングルからローアングルまで様々な角度から撮影でき、また三脚使用時にも便利です。
右手で操作が苦手な左利きの方もより使いやすくなります。
（フリースタイルリモコンのコードの長さ:約 93 cm）

ボタンを押す



撮影開始 / 一時停止ボタン
（P26、80）

ズームレバー
（P27）

フォトショットボタン
（P34、76）

マイク切換えボタン
（P27）

📖 お願い／ヒントなど

■ ワイヤレスリモコンについて

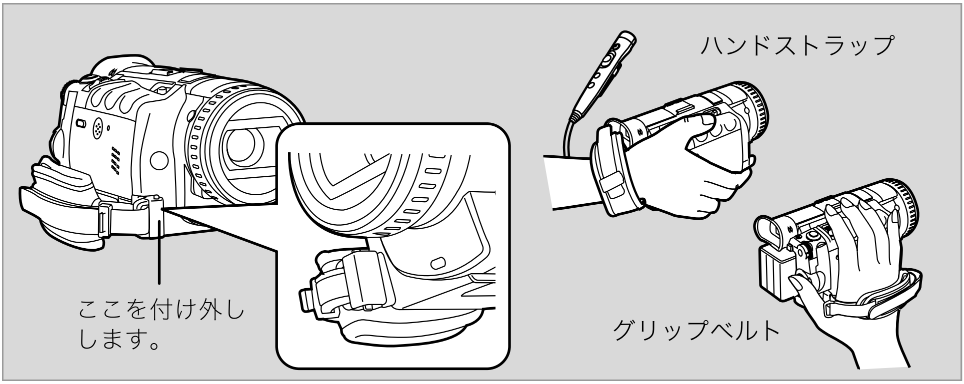
- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサー部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。
- 近距離（約 1m 以内）で操作するときは、リモコンセンサー横（液晶モニター側）からもリモコン操作ができます。

■ コイン電池について

- ワイヤレスリモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池 (CR2025) が消耗しています。新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です)
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

■ フリースタイルリモコンについて

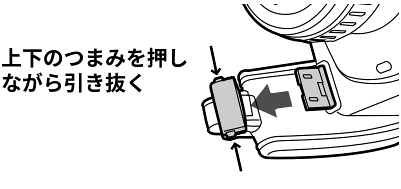
- リモコン / マイク（プラグインパワー）端子の奥まできちんと差し込まれていないと、正しく操作できない場合があります。
- 使う前にもう一度、プラグが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- フリースタイルリモコンのフォトショットボタンを半押しすることはできません。
- 使用しないときは、クリップをグリップベルトにはさんでおくと便利です。



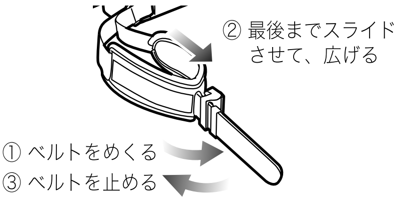
ワンタッチマジックストラップを使う

■ ハンドストラップとして使う

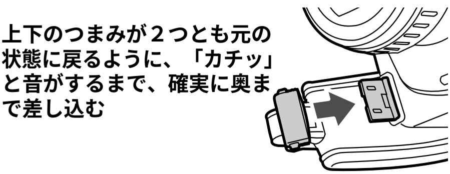
1. 本機から外す



2. ベルトの長さ、パットの位置を調整する



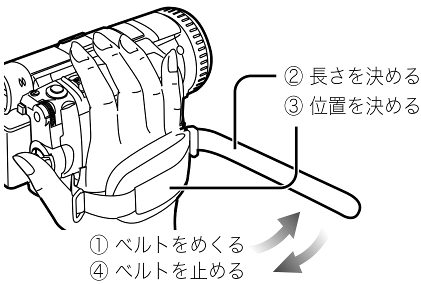
■ グリップベルトに戻すとき

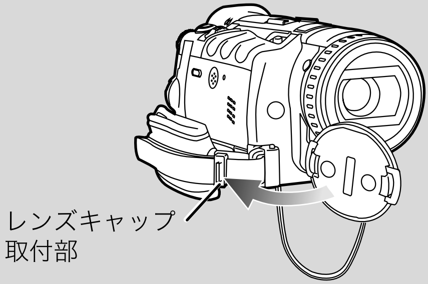


■ グリップベルトとして使う

手の大きさに合わせて調整してください。

ベルトの長さ、パットの位置を調整する



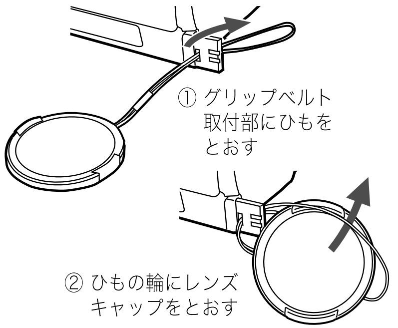


• レンズキャップはレンズキャップ取付部に付けておくことができます。（ハンドストラップとして使用しているときは、取り付けることはできません）

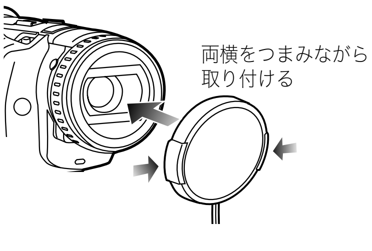
レンズキャップを付ける／外す

撮影をしないときは、付属のレンズキャップを付けて、レンズ面を保護してください。

1. 本体にレンズキャップのひもを付ける（グリップベルトを外しておくと付けやすくなります）



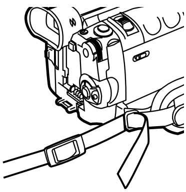
2. レンズキャップを本体に取り付ける



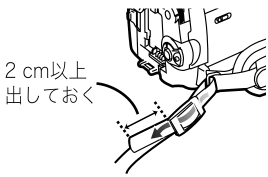
ショルダーベルトを付ける

ショルダーベルトを付けておくと持ち運びの際に便利です。

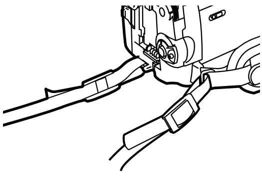
1. 取付部にとおす



2. 止め具にとおして止める

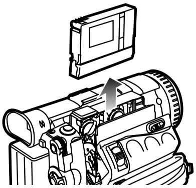


3. もう片方も同じように付ける

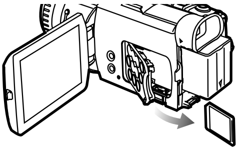


使い終わったら

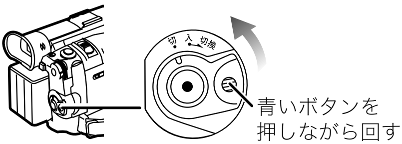
1. カセットを出す（P22）



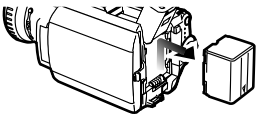
2. カードを出す（P72）



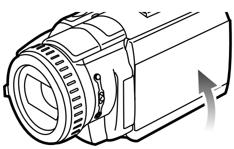
3. 電源を切る（P20）



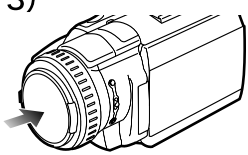
4. バッテリー（電源コード）を外す（P18、19）



5. 液晶モニターを閉じる（P21）

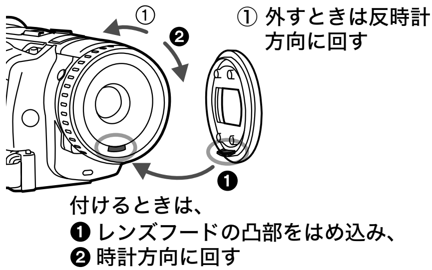


6. レンズキャップを付ける（P113）



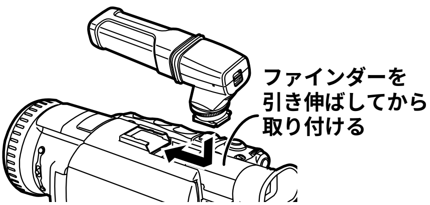
お願い／ヒントなど

■ レンズフードについて



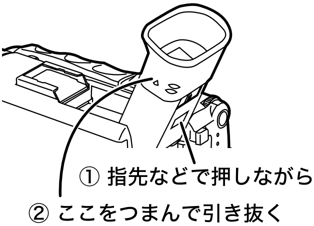
- フィルターキット /VW-LF43W（別売）のND フィルター、MC プロテクターはレンズフードの前部に取り付けてください。
- レンズフードの前部には、レンズキャップ、フィルターキット /VW-LF43W（別売）以外、何も取り付けないでください。
- テレコンバージョンレンズ /VW-LT4314M（別売）やワイドコンバージョンレンズ /VW-LW4307M（別売）は、レンズフードを外してから取り付けてください。
- ND フィルターとテレコンバージョンレンズなどを 2 枚重ねて取り付けた場合、ズームを W 側にすると、四隅が暗くなる場合があります。（ケラレ）

■ ホットシューについて



- ステレオズームマイクロホン /VW-VMH3（別売）やビデオ DC ライト /VW-LDH3（別売）などを取り付けるところです。（ファインダーを引き伸ばしてから取り付けてください）
- ステレオズームマイクロホン /VW-VMH3（別売）を使用中（「[icon]」表示が出ます）に、風が強くウィンドスクリーンだけで風雑音を防ぎきれないとき、また低域ノイズが気になるときは、「ソノタセッテイ 2」メニューの「ホットシューマイク」を「ローカット」に設定してください。
- ホットシュー対応のアクセサリー使用時は、電源などを本機から供給します。

■ ファインダーのお手入れについて

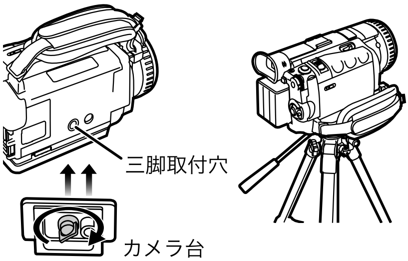


- ファインダーの中のごみを取りたいときは、ファインダーを外してから取り除いてください。ごみが取りにくいときは、水で少し湿らせた綿棒などで取り除き、そのあと乾いた綿棒などでふいてください。

■ リモコン / マイク（プラグインパワー）端子について

- プラグインパワー対応のマイクがラインマイクとして使えます。
- マイクによっては、「ブー」という音が出ることがあります。この場合はバッテリーでのご使用をおすすめします。

■ 三脚取付穴について

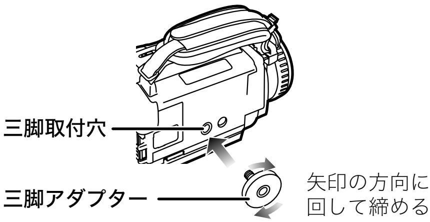


- 別売の三脚に取り付けるための穴です。
- 三脚の取扱説明書をよくお読みください。
- フリースタイルリモコンを使うと便利です。
- フリースタイルリモコンを使用しないときはクリップをグリップベルトに挟んでおくと便利です。
- フリースタイルリモコンのクリップをポケットなどに取り付けた状態で移動するときは、三脚の転倒にお気を付けください。

■ 三脚アダプター（付属）の取り付けかた

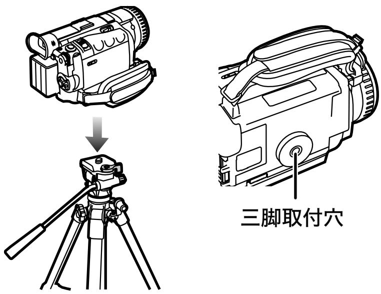
- 三脚によっては液晶モニターを開閉するときに三脚（カメラ台）に接触することがありますので、付属の三脚アダプターを使用してください。

1. ビデオカメラの三脚取付穴に三脚アダプターを取り付ける



本体を手で押さえながら、
しっかりと締め付けてください。

2. 三脚アダプターの三脚取付穴に三脚を取り付ける



本体を手で押さえながら、
しっかりと締め付けてください。

メニュー画面の表示

画面のイラストは説明用です。実際の表示とは異なります。イラスト中の▶は初期設定（P25）の項目を示しています。

撮影モードメニュー

メ　ニ　ュ　ー
1　カメラキノウ
2　プロキノウ
3　デジタルセッテイ
4　メモリキロク
5　マルチ＆コガメン
6　キロクセッテイ
7　ヒョウジセッテイ
8　ソノタセッテイ１
9　ソノタセッテイ２
おわる時はメニューボタン

1　カメラキノウ

	カメラキノウ				
1	ＡＥセッテイ	▶切			
2	プログレッシブ	オート	入	▶切	
3	テブレホセイ	切	▶入		
4	デジタルズーム	切	▶２５倍	１００倍	
5	シネマモード	▶切	入		
6	ドウガモード	▶ノーマル	フレーム		
7	ＷＥＢカメラ	▶切	入		

2　プロキノウ

	プロキノウ			
8	ゼブラパターン	▶切	入	
9	ガシツチョウセイ	▶しない	する	
10	マイクレベル設定	▶しない	する	
11	バスエンハンサー	▶０dB	＋３dB	＋６dB
12	カラーバー	▶切	入	

3　デジタルセッテイ

	デジタルセッテイ			
13	デジタルキノウ	切	マルチ	▶コガメン
		ワイプ	ミックス	ストロボ
		キセキ	モザイク	ミラー
14	デジタルコウカ	▶切	ネガポジ	セピア
		モノトーン	アート	

4　メモリキロク

	メモリキロク			
15	ガゾウサイズ	▶2048×1512	640×480	
16	メモリガシツ			
		▶ファイン	ノーマル	エコノミー
17	ＭＰＥＧ４ガシツ			
		スーパーファイン	ファイン	▶ノーマル
18	レンゾクサツエイ	▶切	H	L
19	ローライトショット	切	▶オート	
20	タイトル作成	▶しない	する	

5　マルチ＆コガメン

	マルチ＆コガメン			
21	マルチモード	▶ストロボ	マニュアル	
22	ストロボソクド	ハヤイ	▶フツウ	オソイ
23	スイングモード	▶切	入	
24	コガメンイチ	1　2	3	▶4

6　キロクセッテイ

	キロクセッテイ			
25	キロクモード	▶ＳＰ	ＬＰ	
26	音声キロク	▶12bit	16bit	
27	シーンインデックス	▶日付	２ジカン	
28	ウインドＮＲ	▶切	入	
29	ズームマイク	▶切	入	
30	赤目ケイゲン	▶切	入	
31	フラッシュアカルサ	−	▶ノーマル	＋

＜撮影モードメニュー＞

1　AE セッテイ（P44）
2　プログレッシブ（P36）
3　テブレホセイ（P42）
4　デジタルズーム（P27）
5　シネマモード（P48）
6　ドウガモード（P37）
7　WEB カメラ（P105）
8　ゼブラパターン（P55）
9　ガシツチョウセイ（P54）
10　マイクレベル設定（P56）
11　バスエンハンサー（P57）
12　カラーバー（P57）
13　デジタルキノウ（P50）
14　デジタルコウカ（P50）
15　ガゾウサイズ（P73）
16　メモリガシツ（P73）
17　MPEG4 ガシツ（P73）
18　レンゾクサツエイ（P77）
19　ローライトショット（P79）
20　タイトル作成（P96）
21　マルチモード（P52）
22　ストロボソクド（P53）
23　スイングモード（P53）
24　コガメンイチ（P53）
25　キロクモード（P42）
26　音声キロク（P101）
27　シーンインデックス（P69）
28　ウインド NR（P43）
29　ズームマイク（P29）
30　赤目ケイゲン（P40）
31　フラッシュアカルサ（P40）

7　ヒョウジセッテイ

ヒョウジセッテイ				
32	日時ヒョウジ	切	▶日時	日付
33	カウンタモード	カウンタ	カウンタメモリ	
		▶タイムコード		
34	カウンタリセット	▶しない	する	
35	ヒョウジモード	▶ショウサイ	カンタン	切
36	エキショウＡＩ	▶ダイナミック	ノーマル	
37	ＬＣＤバックライト	▶ヒョウジュン	アカルイ	
38	ＬＣＤ／ＶＦチョウセイ	▶しない	する	

8　ソノタセッテイ１

ソノタセッテイ１				
39	リモコン	▶ＶＴＲ１	ＶＴＲ２	切
40	サツエイランプ	切	▶入	
41	おしらせブザー	切	▶入	
42	シャッターコウカ	切	▶入	
43	日時設定	▶しない	する	
44	タイメンモード	▶ミラー	ノーマル	
45	ボイスパワーセーブ	▶切	入	

9　ソノタセッテイ２

ソノタセッテイ２			
46	デモモード	▶切	スタンバイ／入
47	ショキセッテイ	▶しない	する
48	ホットシューマイク	▶ノーマル	ローカット

再生モードメニュー

下記に記載のないメニューは撮影モードメニューの同名の項目を参照してください。

メ　ニ　ュ　ー
1　再生キノウ
2　デジタルセッテイ
3　メモリキロク
4　マルチセッテイ
5　キロクセッテイ
6　ＡＶ入出力セッテイ
7　ヒョウジセッテイ
8　ソノタセッテイ
おわる時はメニューボタン

1　再生キノウ

再生キノウ			
1	ブランクサーチ	▶しない	する
2	ガゾウデンソウ テープ→カード	▶しない	する
3	アタマダシ	▶フォト	シーン
4	１２bit 音声	▶ステレオ１　ステレオ２	ミックス
5	音声キリカエ	▶ステレオ　Ｌ	Ｒ

2　デジタルセッテイ

デジタルセッテイ				
6	エイゾウコウカ	切	▶入	
7	コウカセンタク	切	▶マルチ	ワイプ
		ミックス	ストロボ	ネガポジ
		セピア	モノトーン	キセキ
		アート	モザイク	ミラー

3　メモリキロク

メモリキロク				
8	メモリガシツ			
		▶ファイン	ノーマル	エコノミー
9	ＭＰＥＧ４ガシツ			
		スーパーファイン	ファイン	▶ノーマル
10	タイトル作成	▶しない	する	

4　マルチセッテイ

マルチセッテイ				
11	マルチモード	▶ストロボ	マニュアル	
		フォト	シーン	
12	ストロボソクド	ハヤイ	▶フツウ	オソイ
13	スイングモード	▶切	入	

32　日時ヒョウジ(P60)
33　カウンタモード(P60)
34　カウンタリセット(P60)
35　ヒョウジモード(P27)
36　エキショウ AI(P108)
37　LCD バックライト(P109)
38　LCD/VF チョウセイ(P108)
39　リモコン(P110)
40　サツエイランプ(P28)
41　おしらせブザー(P28)
42　シャッターコウカ(P34)
43　日時設定(P109)
44　タイメンモード(P28)
45　ボイスパワーセーブ(P83)
46　デモモード(P43)
47　ショキセッテイ(P25)
48　ホットシューマイク(P114)

<再生モードメニュー>

1　ブランクサーチ(P71)
2　ガゾウデンソウ テープ→カード(P99)
3　アタマダシ(P67)
4　１２ bit 音声(P101)
5　音声キリカエ(P61)
6　エイゾウコウカ(P65)
7　コウカセンタク(P65)
8　メモリガシツ(P73)
9　MPEG4 ガシツ(P73)
10　タイトル作成(P96)
11　マルチモード(P66)
12　ストロボソクド(P68)
13　スイングモード(P68)

5　キロクセッテイ

キロクセッテイ

	キロクモード	▶ＳＰ	ＬＰ
	音声キロク	▶１２bit	１６bit
14	オーディオレベル設定	▶しない	する

6　AV入出力セッテイ

ＡＶ入出力セッテイ

15	ＡＶタンシ	ＡＶ入出力▶ＡＶ出力／ヘッドホン	
16	アフレコ入力	▶マイク	ライン
17	ＡＤヘンカン出力	▶しない	する

7　ヒョウジセッテイ

ヒョウジセッテイ

	日時ヒョウジ	切	▶日時	日付
	カウンタモード	カウンタ	カウンタメモリ	
		▶タイムコード		
	カウンタリセット	▶しない	する	
	ヒョウジモード	▶ショウサイ	カンタン	切
18	カメラデータ	▶切	入	
	エキショウＡＩ	▶ダイナミック	ノーマル	

カード再生モードメニュー

下記に記載のないメニューは撮影または
再生モードメニューの同名の項目を参照してください。

メ　ニ　ュ　ー

1　メモリ消去
2　カードヘンシュウ
3　ヒョウジセッテイ
4　ソノタセッテイ

おわる時はメニューボタン

1　メモリ消去

メモリ消去

1	ファイルをえらんで消去	▶しない	する
2	ファイルをすべて消去	▶しない	する
3	タイトルをえらんで消去	▶しない	する

2　カードヘンシュウ

カードヘンシュウ

4	ガゾウデンソウ カード→テープ	▶しない	する
5	ナンバー指定	▶しない	する
6	ロック設定	▶しない	する
7	スライドショー設定	▶しない	する
8	ＤＰＯＦ設定	▶しない	する
9	フォーマット	▶しない	する

4　ソノタセッテイ

ソノタセッテイ

	リモコン	▶ＶＴＲ１	ＶＴＲ２	切
	日時設定	▶しない	する	
10	ボイスパワーセーブ	▶切	入	

14　オーディオレベル設定(P57)
15　AV タンシ(P61)
16　アフレコ入力(P100)
17　ADヘンカン出力(P103)
18　カメラデータ(P60)

<カード再生モードメニュー>

1　ファイルをえらんで消去(P90)
2　ファイルをすべて消去(P90)
3　タイトルをえらんで消去(P90)
4　ガゾウデンソウ カード→テープ (P98)
5　ナンバー指定(P89)
6　ロック設定(P91)
7　スライドショー設定(P84)
8　DPOF 設定(P92)
9　フォーマット(P74)
10　ボイスパワーセーブ(P89)

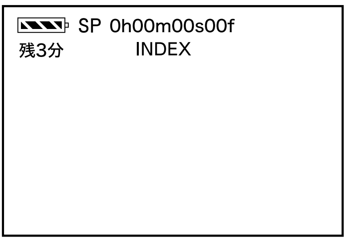
■カードへの撮影時、以下の項目は設定できません。

- 「カメラキノウ」メニューの「プログレッシブ」、「デジタルズーム」、「シネマモード」、「ドウガモード」
- 「キロクセッテイ」メニューの「キロクモード」、「音声キロク」、「シーンインデックス」、「ズームマイク」
- 「ヒョウジセッテイ」メニューの「カウンタモード」、「カウンタリセット」

■ 本機では仕様上、各機能の設定によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。下の表は機能が制限される例です。

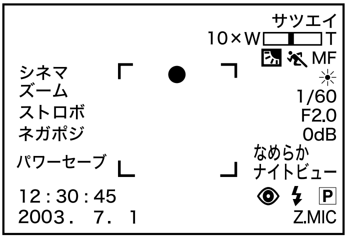
使えない機能	使えなくなる条件
デジタルキノウ	カードへの撮影時 「プログレッシブ」機能 なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー、プロシネマモード
デジタルコウカ	カードへの撮影時 「デジタルキノウ」の「マルチ」、「コガメン」、「ワイプ」、「ミックス」、「キセキ」
デジタルズーム	カードへの撮影時 「プログレッシブ」機能
ズームマイク / ワイドモード / プロシネマモード	カードへの撮影時
なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー	カードへの撮影時 AE ロック
シネマモード	カードへの撮影時 ワイド / プロシネマモード タイトルイン
ドウガモード	カードへの撮影時 「プログレッシブ」機能
フェード	MPEG4 動画撮影、音声記録
タイトルイン	MPEG4 動画撮影、音声記録 連写カードショット
タイトル作成	MPEG4 動画撮影、音声記録 「2048 × 1512」設定時
連写フォトショット	「プログレッシブ」機能 なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー、フラッシュ撮影時
連写カードショット	「2048 × 1512」設定時 スローシャッターモード時
ウインド NR	外部マイク使用時
AE セッテイ	なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー、AE ロック
プログレッシブ	なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー ワイド / プロシネマモード ズーム倍率約 10 倍以上 電子シャッター 1/750 以上 「マルチ」、「コガメン」以外の「デジタルキノウ」 「マルチ」画面表示時
白バランス設定	なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー ズーム倍率約 10 倍以上 「デジタルコウカ」の「セピア」、「モノトーン」 静止画時・メニュー表示時 スローシャッターモード時
電子シャッターの調整	なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー AE セッテイ、AE ロック
電子シャッター 1/750 以上	「プログレッシブ」機能 フラッシュ撮影時
絞り・ゲインの調整	なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー AE セッテイ、AE ロック
アフレコ	テープの「LP」モードで記録された部分
フラッシュ	MPEG4 動画撮影、音声記 なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー、連写カードショット

画面の表示



	バッテリー残量表示
残 3 分	テープ残量表示
00:00.00 M 0:00.00 0h00m00s00f	カウンタ カウンタメモリ タイムコード
INDEX	インデックス表示
S 1	サーチ番号(シーンサーチ時)
SP LP	標準モード 長時間モード

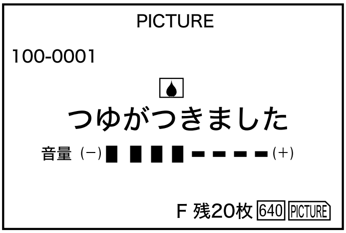
画面の表示 *（つづき）*



サツエイ	撮影中
テイシ	撮影の一時停止中
チェック	撮影の確認中
フォト	テープフォトショット撮影中
▷	再生中 / カメラサーチ（送り）中
◁	カメラサーチ（戻し）中
❚❚	静止画再生中
▷▷	早送り中 / 早送り再生中
◁◁	巻戻し中 / 巻戻し再生中
❚▷/◁❚	スロー再生中 / 逆スロー再生中
❚❚▷/◁❚❚	正方向コマ送り中 / 逆方向コマ送り中
▷▷❚/❚◁◁	正方向頭出し中 / 逆方向頭出し中
2 ×	ズーム倍率表示
2 × ▷▷	可変速サーチ中
R ▷	リピート再生中
●	録画中
(M.) スライド ▷	スライドショー実行中（プリセット設定時は「M.」を表示します）
(M.) スライド ❚❚	スライドショー一時停止中
アフレコ ▷	アフレコ中
アフレコ ❚❚	アフレコ一時停止中
ブランク	ブランクサーチ中
((✋)) (MEGA)	手ぶれ補正 (MEGA OIS)
MNL	マニュアルモード
フルオート	フルオートモード

マイク	マイク入力（アフレコ時）
ライン	ライン入力（アフレコ時）
12bit、16bit	音声記録モード
1/60	電子シャッター速度
F2.0	絞り値
0dB	ゲイン値
12 : 25 : 30 2003. 7. 1	年月日、時刻
ワイド	ワイドモード
プロシネマ	プロシネマモード
シネマ	シネマモード
ズーム	デジタルズーム
ズーム 2 ×	再生ズーム
パワーセーブ	ボイスパワーセーブ
MF	マニュアルフォーカス
マルチ コガメン ワイプ ミックス ストロボ キセキ モザイク ミラー	デジタル機能
ネガポジ セピア モノトーン アート	デジタル効果
AWB 	オートモード 屋内（白熱電球）モード 屋外モード 蛍光灯モード セットモード
    	スポーツモード ポートレートモード ローライトモード スポットライトモード サーフ&スノーモード
	逆光補正表示
AEロック	AE ロック
カード	ローライトショット
なめらか ナイトビュー	なめらか カラーナイトビュー
0 Lux ナイトビュー	0 Lux カラーナイトビュー
テレマクロ	テレマクロ機能

ビハダ	美肌モード
ゼブラ	ゼブラパターン
P-ADJ	画質調整
P	プログレッシブ
	ナレーションマイク
	ホットシュー対応外部マイク
ローカット	ホットシュー対応外部マイク（ローカット）
ϟ（ϟ+、ϟ−） ϟA（ϟA+、ϟA−） 	フラッシュ
	赤目軽減
Z.MIC	ズームマイク
	セルフタイマー
○（白） ●（緑）	シャッターチャンスマーク



PICTURE MPEG4 VOICE	PICTURE（静止画）モード MPEG4（動画）モード VOICE（音声）モード
セイシガ MPEG4 オンセイ	静止画 MPEG4 動画 音声データ
TITLE	タイトル画像
残 20 枚	カードフォトショットの残り枚数（残り 0 枚で赤色点滅となります）
残 :0h00m	MPEG4 動画、音声ファイルの残り記録可能時間
0h00m00s	MPEG4 動画、音声ファイルの記録経過時間
F, N, E	静止画の画質モード
2048（640）	画像サイズ　2048 × 1512（640 × 480）
SF, F, N	MPEG4 画質モード

本機で撮影していない画像は、水平方向画素数によって次のようなサイズ表示になります。また、水平方向画素数が 2048 または 640 の場合は、垂直方向画素数に関係なく、2048 あるいは 640 が表示されます。（640 未満のときは、サイズは表示されません）

QXGA UXGA SXGA XGA SVGA 640	2048 以上のとき 1600 以上 2048 未満のとき 1280 以上 1600 未満のとき 1024 以上 1280 未満のとき 800 以上 1024 未満のとき 640 以上 800 未満のとき
PICTURE（青） PICTURE（赤） PICTURE（赤） PICTURE（緑）	カードフォトショットモード カードフォトショット中 カードなし アクセス中、記録操作不可時
MPEG4（青） MPEG4（赤） MPEG4（赤） MPEG4（緑）	MPEG4 動画撮影モード MPEG4 動画撮影中 カードなし アクセス中、記録操作不可時
VOICE（青） VOICE（赤） VOICE（赤） VOICE（緑）	ボイス記録モード ボイス記録中 カードなし アクセス中、記録操作不可時
	ミラーモード時
No.00	データ番号
00 枚	DPOF 設定枚数
○（白） ●（緑） ●（青）	DPOF 設定済み（1 枚以上に設定） スライドショー設定済み DPOF 1 枚以上に設定済みでスライドショー設定済み
	ロック設定済み
WEB カメラ（WEB）	WEB カメラモード（ミラーモード時）
L	連写カードショット
H	連写カードショット（高速）
100-0001	フォルダー/ファイル名表示
音量	音量表示

その他

画面の表示（つづき）

文章表示

確認内容を文章で表示します。

「つゆがつきました」と「カセットを取りだしてください」が交互点滅	つゆつきが起こっています。カセットを取り出してしばらくお待ちください。(P127)
「バッテリーを取りかえてください」	バッテリー容量がなくなっています。十分に充電したバッテリーと交換してください。(P18)
「カセットを入れてください」	カセットが入っていません。(P22)
「カセットを取りかえてください」	テープの終端です。
「このカセットでは撮影できません」	誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れて、撮影操作をしています。(P23)
「このカセットでは録画できません」	誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れて、アフレコや録画（デジタルダビング）操作をしています。(P23、100、102)
「リモコンのセッテイをカクニンしてください」	リモコンの設定が合っていません。電源を入れて、最初のリモコン操作時のみ表示されます。(P110)
「再生できません」	再生不能のテープかカードです。または、ヘッドが汚れています。(P127)
「このカセットは使えません」	未対応のカセットです。
「LP 記録部のため録画できません」	LP モードで撮影したテープに、アフレコ操作をしています。(P101)
「コピーガードがありただしく録画できません」	著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を録画しています。(P103)
「撮影ボタンを押してください」	MPEG4（動画）モードまたは VOICE（音声）モードで、フォトショットボタンを押しています。(P80)
「フォトショットボタンを押してください」	PICTURE（静止画）モードで、撮影開始 / 一時停止ボタンを押しています。カード再生モードで撮影開始 / 一時停止ボタンを押しています。(P76)
「テープモードに切りかえてください」	カード再生モードでカードに記録しようとしています。(P98)
「このカードは使えません」	未対応のカードです。 本機で認識できないカードです。 フォーマットしてください。(P74)
「カードを入れてください」	カードが入っていません。(P72)
「タイトルがありません」	タイトル画像が記録されていません。(P96)
「メモリ記録はできません」	カードの容量がありません。画像や音声ファイルなどを消去するか、新しいカードを入れてください。
「メモリ記録がありません」 「ドウガデータがありません」 「音声データがありません」	それぞれのモードに対応したデータが記録されていません。 それぞれのモードに対応したデータが記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。一度電源を入れ直してください。
「タイトルは再生できません」	MPEG4（動画）または VOICE（音声）モード、あるいは撮影モードで「ガゾウサイズ」を「2048 × 1512」に設定してタイトルインしています。(P95)

「ワイド画像は記録できません」	S1 信号（16：9）の映像をカードフォトショットしています。（P99）
「消去できません」	ロック設定されているファイルに消去操作をしています。（P91）
「カードがロックされています」	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。（P74）
「ヘッドをクリーニングしてください」	ヘッドが汚れています。ヘッドをクリーニングしてください。（P127）
「ライン入力記録中はメモリー記録できません」	録画・録音中です。停止してからやり直してください。（P100、102）
「RESET ボタンをおしてください」	本機が自動的に異常を検出しました。カセットを取り出してから、RESET ボタンを押して本機を再起動させてください。（P136）
「シュウリがひつようです。お店へ…」	まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは「保証とアフターサービス」（P150）をお読みください。
「USB ケーブルをセツゾクしてください」	USB ケーブルを使ってパソコンと接続してください。
「WEB カメラモードをシュウリョウしてください」	WEB カメラモード中は操作モードは切り換わりません。
「USB ケーブルセツゾク中のためソウサはできません」	USB 接続ケーブルをつないだ状態で、タイトルインボタン、フォトショットボタン、撮影開始 / 一時停止ボタンを押しています。（P107）
「WEB カメラモードのためソウサできません」	WEB カメラモード中に、撮影開始 / 一時停止ボタン、フォトショットボタンまたはタイトルインボタンを押しています。（P105）
「PC セツゾクモードのためモードはきりかわりません」	カード再生モードで接続中は操作モードは切り換わりません。
「カセットカバーをとじてください」	カセットカバーを閉じて撮影してください。（P22）
「AE ロックをカイジョしてください」	AE ロック使用中になめらかカラーナイトビューボタンを押しています。（P49）

確認表示

!	対面撮影のミラーモード時に警告が出ています。液晶モニターを戻して文章表示を確認してください。
	つゆつきが起こったとき（P127）
	誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れたとき（P23）
	内蔵日付用電池が消耗したとき（P109）
	ヘッドが汚れているとき（P127）
リモコン	リモコンの設定が合っていないとき（P110）
カセットなし	カセットが入っていないとき
テープおわり	撮影中にテープが終端になったとき

使用上のお願い

■ビデオカメラについて

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

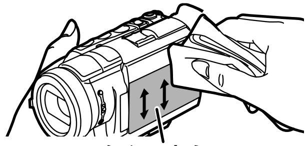
- 砂やほこりは、本機やテープの故障につながります。（カセット、カードの出し入れ時はお気を付けください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと、乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障するおそれがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または、電源プラグをコンセントから抜いておきます。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 本機は、柔らかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 特に下図の箇所は、矢印の方向に向かってふくと、表面の汚れなどが落ちやすくなります。



- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。
- 本機は業務用ではありません。

■AC アダプターについて

- 熱くなっているバッテリーは、通常より充電時間が長くかかります。
- バッテリーの温度が非常に高い、あるいは非常に低い場合、［CHARGE1］または［CHARGE2］ランプが点滅し続け、充電できないことがあります。バッテリーの温度が適温になったあと、自動的に充電が始まりますので、しばらくお待ちください。それでも［CHARGE1］または［CHARGE2］ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、最大約 0.5 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

■バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外す

- 付けたままにしておくと、ビデオカメラの電源が「切」であっても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3〜4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。(P128)

バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取る

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体や AC アダプターに付けると、本体や AC アダプターをいためます。

使用後は、必ずカセットを取り出し、バッテリーを外す、または、電源プラグをコンセントから抜く

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度 :15 ℃〜 25 ℃、推奨湿度:40% 〜 60%です)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。

不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

- **加熱したり火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。**

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

- バッテリーには寿命があります。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店･サービスセンター･販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。

(ホームページ : http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

Li-ion

リチウムイオン
電池使用

■カセットについて

使用後は、必ずカセットを始端まで巻き戻し、取り出して保管する

- カセットをビデオカメラに入れたままにしたり、テープを途中で止めた状態で半年以上(保管状態により異なります)置いておくとテープがたるみ、いたみます。
- 半年に一度テープを巻き直ししてください。テープを 1 年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。またテープどうしがはりついてしまうことがあります。
- ほこりや直射日光(紫外線)、湿気などでテープをいためます。このようなテープを使用すると、本機やヘッドをいためるおそれがあります。
- カセットは必ずケースに入れ、立てて保管してください。

カセットに強い磁気を近付けない

- 磁石を使った器具(磁気ネックレスやおもちゃなど)は、思ったより磁気が強く、大切な撮影内容を消したり、ノイズを増やす原因となります。

■カードについて

カードの出し入れは必ず電源/操作モード切換えスイッチが「切」の状態で行う

動作中ランプが点灯中（カードにアクセス中）は、カード挿入部を開けてカードを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない、また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。

使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

- 使用後や保管時、持ち運びのときは付属の収納袋や収納ケースなどに入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また、手などで触れないでください。

■液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい、乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい、乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

- **液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。**液晶モニターの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はテープやカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

■ファインダーについて

- **ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。**ファインダーの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はテープやカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

■定期点検のお願い

美しい映像をご覧いただくために、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ使用 1000 時間をめやすに清掃、ヘッドなどの摩耗部品を交換されることをおすすめします。

- ヘッドの汚れについては 127 ページをお読みください。

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機やカセット（テープ）に起こった場合が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると撮影できなくなります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 冷房のきいた車などから車外へ出したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たっていたとき
- 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置

つゆつきが起こっているときに電源を入れると、ファインダーや液晶モニターにつゆつきマークが点滅します。約 1 分間経過すると、自動的に電源が切れます。以下の処置をしてください。

■ カセットを出す

その他の機能は働きません。つゆつきの状態によっては、カセットが出せない場合があります。この場合は、2 ～ 3 時間待ってから出してください。

■ 2 ～ 3 時間後、電源を入れて、つゆつき表示が消えているかどうかを確かめる

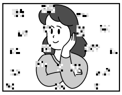
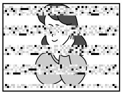
消えていても念のために 1 時間ほど待ってから使ってください。

- つゆつきが始まってから10～15分間はつゆつき表示が出ない場合があります。
- 特に温度が低い寒冷地では、つゆが凍結し、霜になることがあります。このような場合、つゆつき表示が出るまでさらに
2～3時間ほどかかることがあります。

レンズがくもっているときの処置のしかた

電源スイッチを「切」にし、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

ヘッド汚れについて

ヘッドが汚れていると、上のような映像になり…



さらに汚れると、画面全体が青一色になったり、静止画と青一色の画面が交互に現れたりします。

- ヘッド（テープが密着する部分）が汚れていると、撮影時に「ヘッドをクリーニングしてください」が表示されます。また、再生時に部分的にモザイク状のノイズが出たり画面全体が青一色になったり、静止画と青一色の画面が交互に現れたりします。（上図参照）
- 汚れがひどくなると、正常に撮影や再生ができなくなりますので、デジタルビデオ用ヘッドクリーナー AY-DVMCL（別売）または VFK1449S（別売・サービスルート扱い）でヘッドをクリーニングしてください。ヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- ヘッドをクリーニングしても、再びヘッド汚れが発生した場合は、テープに起因している可能性がありますので、このようなカセットはご使用を避けてください。パナソニック製デジタルビデオカセットのご使用をおすすめします。

ヘッド汚れが発生する原因

- 高温･多湿な環境
- 長時間の使用
- テープの傷
- 空気中のほこり

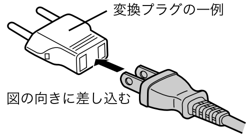
海外で使う

■撮ったものを海外で見るには

テレビに接続して見る場合、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

- アメリカ合衆国
- アンチグア･バーブーダ
- イエメン（一部地域）
- 英領バーミューダ諸島
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グァテマラ
- グァム島
- グレナダ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- スリナム
- セントクリストファー･ネイビス
- セントビンセント･グレナディーン諸島
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ共和国
- ドミニカ国
- トリニダード･トバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- フィジー
- フィリピン
- プエルトリコ
- 米領サモア
- ベトナム（一部地域）
- ベネズエラ
- ベリーズ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- マーシャル諸島
- マリアナ諸島
- ミクロネシア連邦
- ミャンマー
- メキシコ



ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■AC アダプターを海外で使用するには

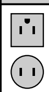
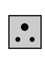
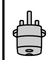
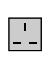
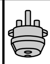
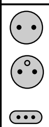
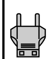
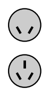
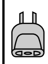
AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターは、全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しております。
市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

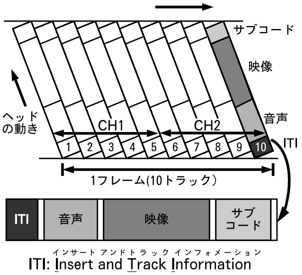
北米							
カナダ	A	アメリカ合衆国	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	ノルウェー	C	アイルランド	C	ハンガリー	C
イギリス	B.BF	フィンランド	C	イタリア	C	フランス	C
オーストリア	C	ベルギー	C	ギリシャ	C	ポーランド	B.C
オランダ	C	ポルトガル	B.C	スイス	B.C	ルーマニア	C
スウェーデン	C	ロシア	C	スペイン	A.C	ウクライナ	C
デンマーク	C	ベラルーシ	C	ドイツ	C	カザフスタン	C
アジア							
インド	B.C	モルジブ	B	インドネシア	B.C	バングラデシュ	C
シンガポール	B.BF	フィリピン	A.C.S	タイ	A.BF.C	ベトナム	A.C
大韓民国	A.B.C	中華人民共和国	A.B.BF.C.S	スリランカ	B	マカオ特別行政区	B.C
香港特別行政区	B.BF	マレーシア	B.BF.C	ネパール	C	モンゴル	C
パキスタン	B.C	台湾	A				
オセアニア							
オーストラリア	S	トンガ	S	グァム島	A	ニュージーランド	S
タヒチ	C	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	バハマ	A	コロンビア	A	プエルトリコ	A
ジャマイカ	A	ブラジル	A.C	チリ	B.C	ベネズエラ	A
ハイチ	A	ペルー	A.C	パナマ	A	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	クウェート	B.C	イラン	C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	ザンビア	B.BF	エジプト	B.BF.C	タンザニア	B.BF
カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B.C	ギニア	C	モザンビーク	C
ケニア	B.C	モロッコ	C				

タイプ	形状	変換プラグ
A		不要
B		
BF		
C		
S		

用語解説

■デジタルビデオ

映像や音声をデジタル信号に変換し、テープに記録します。デジタル信号で記録すると画質や音質の劣化の少ない記録･再生が可能になります。



特長

- 高解像度、高 S/N 比
- 色のにじみが少ない（広帯域）、安定した画面
- ダビング劣化が少ない
- PCM（ピーシーエム） 音声
- LP モードでも画質劣化しない
- タイムコード編集

S-VHS（VHS）カセットとの互換性

デジタル信号を記録しているため、アナログ信号を記録している S-VHS ビデオや VHS ビデオとは互換性がありません。

出力信号

AV 入出力端子からの信号は、従来の信号と同じ信号なので、テレビやビデオで再生画を見ることができます。

入力信号

AV 入出力端子にアナログ信号（従来のテレビやビデオの信号）を入力することができます。また入力されたアナログ信号は本機でデジタル信号で録画したり、デジタル信号に変換して DV 端子から出力することができます。アナログ信号を記録したものを再生し、それを他の機器に取り込んだ場合、映像の左右に黒い帯が出る場合があります。

サブコード

デジタルビデオの記録方式は、テープ上にサブコードという領域を確保し、使用することができます。
本機では、このサブコード領域に、
- タイムコード
- 撮影時の年月日 / 時刻
- インデックス信号

などを記録しています。

タイムコード

撮影（録画）したテープ上に記録される時間データのことで、時、分、秒、フレーム（1 秒は約 30 フレーム）で表されます。タイムコードは撮影と同時に記録されているので、撮影した映像のテープ上での絶対位置を知ることができます。
- 新しい（何も記録されていない）カセットを入れると、タイムコードはゼロから始まります。
- 途中まで記録されているカセットを入れると、そこから続けてタイムコードが記録されます。（カセット挿入時はゼロの表示が出ることがありますが、撮影を始めると続きの値から表示します）

ただし、テープの途中に無記録部分があると、タイムコードは再びゼロから記録され始めますので、テープをあとで編集する場合に誤動作する原因となります。
本機で撮影するときは、記録部分が途切れないように、カメラサーチやブランクサーチをすることをおすすめします。
- タイムコードは、リセットできません。
- 通常再生時以外では、タイムコードが表示されない（または、不正確になる）ことがあります。

カウンター表示

撮影や再生の経過時間を表示するためのものです。
カウンター表示は、自由にリセット（カウンター表示を 0:00.00 に戻す）することができます。撮影や再生を始めた位置でリセットしておけば、その時点からの経過時間を表示することができます。しかしタイムコードのように映像のテープ上での絶対位置を知ることはできません。

■オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。
以下のような特性があります。

- 被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する
- よりコントラストの強いものに焦点を合わそうとする
- 画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンではオートフォーカスは正しく働きません。マニュアルフォーカスで撮影してください。

●遠くと近くのものを同時に撮る

画面の中央に焦点が合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。
遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

●汚れたガラスの向こうのものを撮る

汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

●キラキラと光るものが周りにある

キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。
海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

●暗い場所を撮る

レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

●動きの速いものを撮る

機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときはピントがぼけることがあります。

●コントラストの少ないものを撮る

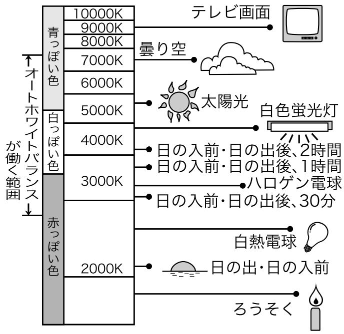
コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

■白バランス（ホワイトバランス）

ビデオカメラで撮影すると光源の影響を受け青っぽく撮れたり、赤っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

■オートホワイトバランス

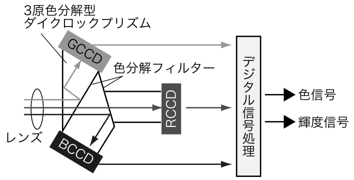
本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。



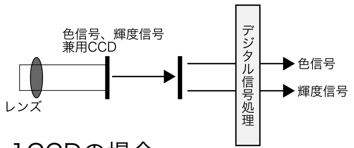
オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

■3CCD システム

レンズがとらえた映像を高精度に信号化するのがビデオカメラの目ともいえる CCD。本機では光の 3 原色、R（赤）、G（緑）、B（青）のそれぞれに、専用の CCD（固体撮像素子）を搭載していますので、より鮮やかな映像記録が可能になります。1CCD システム（単板式）のビデオカメラは、1 つの CCD から色信号と輝度信号を取り出しています。一方、本機ではR（赤）、G（緑）、B（青）それぞれ専用のCCD で信号を処理していますので、単板式のものに比べると、解像度や色再現性が向上し、優れた高画質を実現しています。



3CCDの場合



1CCDの場合

■クリスタルエンジン

RGB それぞれの信号を美しく描き出すことで、「高画質 DV 動画記録」、「高精細 310 万画素記録」を実現。RGB 各色に次の 3 つの処理を独立して行います。

●新 3 次元ノイズリダクション

低照度時のノイズを抑え、暗い所でも明るく、より美しく再現します。

●画素補間処理技術 AXIS

CCD の画素のすき間を補間することで、ハイコントラストで解像感のあるくっきりした映像を実現します。

●デジタル信号処理

ディテールや色を放送画質なみに忠実に再現し、白はより白く、黒はより黒く、髪の毛などの細かいものをリアルに再現します。

■4ECM ステレオマイクロホン

音を収音する ECM 素子 (エレクトレット・コンデンサ・マイクロホン) を天面に４つ配置することにより、広がりのあるすぐれたステレオ感と、正面方向の音声を確実に集音する指向性とを両立させています。

■メガピクセルについて

100 万画素のことです。メガピクセルで記録した画像は、通常の撮影で撮った映像よりもきれいにプリントできます。画質を保持するために、カードの画像データを使ってプリントしてください。(本機に映像コードなどを接続し、出力した映像信号を使ってプリントしてもメガピクセルのきれいな画質は得られません)

■プログレッシブ機能

本機のフレーム静止画機能は、ずれのない高画質な静止画を撮影するために、絞りをシャッター動作させ、フィールドメモリーを 2 個搭載し、制御しています。
実際には、

1. フォトショットボタンを押す
（または静止画ボタンを押す）
2. **瞬間に、絞りを閉じ、次の映像がレンズから入ってこないようにする**
3. **同じ画像データを２つのフィールドメモリーに記憶する**

といった動作をします。

この結果、

2 つのフィールドにそれぞれ同じ映像を記録し、フレーム映像にするのでフィールド画像に比べると約 1.5 倍の解像度になり、しかもずれがありません。

■MPEG4 について

MPEG とは Motion（モーション） Picture（ピクチャー） Expert（エキスパート） Group（グループ） の略で、カラー動画像のフォーマットの名称です。MPEG4 は ASF （Advanced（アドバンスド） Systems（システムズ） Format（フォーマット））と呼ばれる形式で記録され、Windows Media™ Player で再生が可能です。

その他

故障？と思ったら（Q&A）

■電源 / 本体関係

電源が入らない。	●バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。（P18） ●バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーをACアダプターに5～10秒取り付けてみてください。（P18）それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。
電源が勝手に切れる。	●本機にカセットが入っていると、バッテリーの消耗やテープの摩耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が 5 分以上続くと、自動的に電源が切れます。（P26） ●また、カード記録時に 5 分以上操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために、自動的に電源が切れます。（P78）
電源が入ってもすぐに切れる。	●バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。（P18） ●つゆつきになっていませんか。寒いところから暖かいところにビデオカメラを持ち込んだときなどは、内部につゆつきが発生することがあります。この場合は、自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつきがなくなるまでお待ちください。（P127）
バッテリーの消耗が早い。	●十分に充電されていますか。AC アダプターで充電してください。（P18） ●低い温度のところで使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用時間が短くなります。 ●バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が入っているのに何も操作できない、正常に動作しない。	● DPOF 設定内容の確認中ではないですか。設定内容の確認は時間がかかる場合があります。「動作中ランプ」が消灯するまでお待ちください。 ●カセットを取り出してから、RESET ボタンを押してください。それでも直らない場合は電源を外して 1 分程度たってから再度電源を入れ直してください。（「動作中ランプ」が点灯中に上記の操作を行うとカードのデータが破壊されることがあります）
カセットの取り出しができない。	●電源 / 操作モード切換えスイッチは「入」になっていますか。バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。（P18～20） ●放電したバッテリーを使用していませんか。バッテリーを充電してから取り出してください。（P18） ●カセットカバーを一度完全に閉じてから、再度最後まで開いてください。（P22）
カセットの取り出し操作以外何も操作できない。	●つゆつきになっていませんか。つゆつきがなくなるまで待ってください。（P127）
ワイヤレスリモコンが働かない。	●リモコンのコイン電池が消耗していませんか。新しいコイン電池と交換してください。（P110） ●リモコンの設定は合っていますか。リモコンと本機の「リモコン」設定が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。（P110）
フリースタイルリモコンが正常に働かない。	●差し込みがゆるいと正常に動作しません。（P111）

■ 撮影関係

電源、カセットを正しく入れているのに撮影できない。	●カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている（SAVE 側になっている）と撮影できません。(P23) ●カセットがテープ終端（テープの一番最後）になっていませんか。新しいカセットに交換してください。 ●撮影モードにしていますか。再生モード、カード再生モードになっているときは撮影できません。(P20) ●つゆつきになっていませんか。つゆつき時は、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつきがなくなるまでお待ちください。(P127)
画面が急に変わった。	●デモが始まったのではないですか。デモモードを「スタンバイ / 入」に設定し、カセットを入れずに撮影モードにするとデモモードになります。 通常は「切」にしてお使いください。(P43)
映像が止まったままになっている。	●静止画ボタンを押しませんでしたか。静止画ボタンを押すと撮っている映像が静止画になります。(P31) もう一度、静止画ボタンを押すと元に戻ります。 ●マルチ / 子画面ボタンを押しませんでしたか。押すと、マルチ画面または子画面表示となります。マルチ画面表示または子画面表示時にもう一度ポンと押すと、元に戻ります。
自動でピントが合わない。	●マニュアルフォーカスモードになっていませんか。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 ●オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。(P130) この場合はマニュアルフォーカスモードで手動でピントを合わすことができます。(P44) ●なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー機能を設定していませんか。なめらか / 0 Lux カラーナイトビュー機能を働かせていると、フォーカスはマニュアルになります。
撮影映像が白黒やコマ送りなどになっている。	●デジタル機能 / 効果を使って撮影していませんか。設定を確認してください。(P50)
撮影の途中で、「このテープは使えません」や「カセットカバーをとじてください」と表示され、記録できない。	●カセットカバーが開いていませんか。カセットカバーが開いていると、本機が正しく動作しないことがあります (P22) 。カセットカバーを閉じてお使いください。

■ 表示関係

画面中央に赤い文字で文章表示が出る。	●内容を確認し、対応してください。(P122 ～ 123)
タイムコード表示がおかしくなる。	●逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないことがありますが、故障ではありません。
テープ残量表示が消える。	●フォトショット撮影、コマ送り、マルチモード画面表示（ストロボ）などをすると、一時的にテープ残量表示が消える場合があります。通常の撮影や再生を続けると元に戻ります。
テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない。	●約 15 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。 ●実際のテープ残量より約 2 ～ 3 分少ない表示が出る場合があります。
機能表示（モード表示、残量表示、カウンター表示など）が出ない。	●「ヒョウジセッテイ」メニューの「ヒョウジモード」が「切」になっていると、液晶モニターやファインダーのテープ走行状態、警告、日付表示など以外は消えます。

■ 再生関係（音声）

本機のスピーカーから再生音声が出ない。	●本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。再生時にマルチプッシュダイヤルを押し続けて、音量表示を出し、ダイヤルを回すと、音量を調整することができます。(P59)
ヘッドホンの右音声が聞こえない。	●再生モードで「AV 入出力セッテイ」メニューの「AV タンシ」が「AV 入出力」になっているとヘッドホンの右音声は聞こえません。ヘッドホンを使用するときは必ず「AV 出力 / ヘッドホン」にしてください。(P61)
音声が重なって聞こえる。	●「再生キノウ」メニューの「12bit 音声」を「ミックス」に設定していませんか。「音声キロク」モードを「12bit」にして撮影したテープにアフレコ編集すると、撮影時の音声とあとから録音した音声を同時に重ねて聞くことができます。また、それぞれを別々に聞くこともできます。(P101) ●「再生キノウ」メニューの「音声キリカエ」を「ステレオ」に設定して主音声、副音声の入った映像を再生していませんか。主音声を聞くときは「L」、副音声を聞くときは「R」に設定してください。(P61)
アフレコができない。	●カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか。誤消去防止つまみが開いている（SAVE 側になっている）とアフレコできません。(P23) ●LP モードで撮影した部分にアフレコしようとしていませんか。LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。
アフレコすると元の音声が消えてしまった。	●「16bit」モードで撮影した部分にアフレコすると元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に「12bit」モードで撮影してください。(P101)
テレビ、本機のスピーカーとも再生音が出ない。	●アフレコしていないのに「ステレオ 2」にしていませんか。アフレコしていない場合は、「ステレオ 1」に切り換えてください。(P101) ●可変速サーチになっていませんか。可変速サーチ中は音声は出ません。再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。(P62)
再生音に「カチッ」音が録音されている。	●撮影中にプログレッシブフォトショットやプログレッシブ静止画にすると、本機から「カチッ」音がし、この音がテープに録音されてしまいます。撮影の一時停止中にプログレッシブフォトショットやプログレッシブ静止画にした場合は、「カチッ」音は録音されません。

■ 再生関係（映像）

早送り再生、巻戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	●デジタル特有の現象です。異常ではありません。
早送り再生、巻戻し再生をすると、横線が出る。	●プログレッシブを「入」にしてフォトショットなどの静止画記録された部分で、シーンによっては横線が出る場合がありますが、異常ではありません。
テレビと正しく接続しているのに再生映像が出ない。	●テレビの入力切換がビデオ入力になっていますか。テレビの説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。
再生映像がきれいに映らない。	●本機のヘッドが汚れていませんか。ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映りません。デジタルビデオ用ヘッドクリーナー（別売）を使ってヘッドを清掃してください。(P127) ●映像 / 音声コードの端子部が汚れていると、画面にノイズが入ることがあります。柔らかい布で汚れをふき取ってから AV 入出力端子に接続してください。 ●著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を録画していませんか。このようなカセットを本機で再生すると、映像がモザイクになります。

■ カード関係

静止画がきれいに記録されない。	●「ノーマル」や「エコノミー」にして、細かいものを記録していませんか。「ノーマル」や「エコノミー」で細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。「ファイン」にして記録してください。(P73)
カードに記録されたファイルが消去できない。	●ファイルがロックされていませんか。ロック設定をしていると消去できません。(P91) ● SD メモリーカードの場合、書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると消去できません。(P74) ●「ファイルをすべて消去」に設定しても、そのときに設定されているカードモードのファイルしか消去できません。(P90)
カードに記録していないのに「残 0 枚」や「残 0h00m」と表示され、記録できない。	●タイトルなどのデータが多く記録されていませんか。
カードの画像がおかしい。	●データが壊れているおそれがあります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、カセットやパソコンなどにも記録するようにしてください。
カード再生中に「×」マークが表示される。	●形式の異なるデータや壊れたデータを再生しています。 ●メモリー画像の最大再生可能サイズは「2560 × 1920」です。
カードをフォーマットしても使えるようにならない。	●本機、またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

故障？と思ったら（Q&A）（つづき）

■ その他

USB 接続しても、パソコンが認識しない。	● USB ドライバーはインストールされていますか。詳しくは、別冊のパソコン接続編取扱説明書をお読みください。
USB 接続ケーブルを外したらエラーメッセージが出る。	●USB接続ケーブルを安全に外すためにタスクトレイの アイコンをダブルクリックしてから画面の指示に従ってください。
編集、デジタルビデオ機器からのダビング、パソコン接続キットの「DV スタジオ 3」の使用時に誤動作する。	●同じテープ上に、SP と LP（記録モード）、12bit と 16bit（音声記録モード）、ノーマルとワイド、記録部分と無記録部分などモードが混在して記録されていると、モードが切り換わるところで誤動作することがあります。編集などをする場合、モードが混在しないように記録してください。 ●連写フォトショット撮影した画像を「DV スタジオ 3」で自動取り込みしようとしませんでしたか。連写フォトショットの画像は自動では取り込めません。

■ 自己診断表示機能

本機は異常を知らせる自己診断表示機能があります。
液晶モニターまたはファインダーに表示が出ますので、異常と思われる場合は、下記を参考に対応してください。

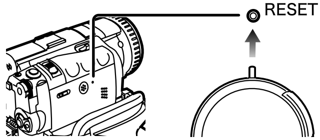
本機につゆつきが発生したとき

「つゆがつきました」、「U10」	●表示が消えるまでお待ちください。（P127）

本機のヘッドが汚れたとき

「ヘッドをクリーニングしてください」、「U11」	●ヘッドをクリーニングしてください。（P127）

本機が異常動作を検出したとき

「RESET ボタンをおしてください」	●データ保護のためにカセットとカードを取り出してから、RESET ボタンを押してください。再起動します。  レンズキャップの突起部でリセットボタン [RESET] を押して本機を再起動させてください。

本機の修理が必要なとき

「シュウリがひつようです。お店へ…」	●接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。 お客様での修理はご遠慮ください。

撮影のテクニックガイド

■ 照明について

- なるべく太陽を背にして撮影してください。逆光では被写体が暗く撮影されます。
- 海辺やスキー場など、周囲が明るすぎて人物が暗いときは、AE 設定を「サーフ & スノー」にして撮影してください。また全体が明るすぎるときは VW-LF43W（別売）の ND フィルターを使うのも効果的です。
- 屋内で撮影するときは、屋内の照明に合わせた白バランスモードを選んでください。

■ 撮影場面に合わせた設定例

以下の設定はあくまでめやすです。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。
大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか試しておきましょう。

披露宴、舞台、発表会の撮影

白バランス : 場面ごとに白バランス設定



スポットライトが当たっている場所ではAE設定を「スポットライト」にすることをおすすめします。

夜景や花火の撮影

白バランス : 屋外モード

フォーカス : マニュアル



運動会の撮影

白バランス : オートモード

フォーカス : マニュアル



近距離でお子様の動きが速い場合は、オートフォーカスでは、ピントが合わなくなることがあります。マニュアルフォーカスで撮ることをおすすめします。

ゴルフスイングのフォームなど、動きの速いシーンの撮影

AE 設定 : スポーツ

白バランス : オートモード

フォーカス : マニュアル



動きの速い場面を撮影するときのめやすとなるシャッター速度

バレーボールの試合の撮影
:1/100 ～ 1/350

ジェットコースター撮影
:1/500 ～ 1/1000

ゴルフやテニスのスイング撮影
:1/500 ～ 1/2000

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパックの充電は、専用のACアダプターを使う

機器の形状が同じでも性能が異なると、バッテリーパックの液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

● バッテリーパックを指定以外の機器に使わないでください。

バッテリーパックの端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

● ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

●不要(寿命)になったバッテリーパックについては、125ページをご参照ください。

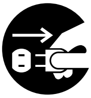
バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

禁止

⚠ 警告

煙が出ている、異常に熱い・においｌ・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

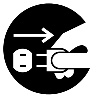


電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは取る



湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- プラグは時々点検してください。

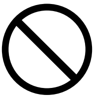
電源プラグは、根元までしっかりと差し込む



接触不良で火災・感電につながります。

- いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
- プラグは時々点検してください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

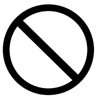


禁止

事故の誘発につながります。

- 歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない



禁止

火災・感電・故障につながります。

- 乳幼児にご注意ください。

⚠警告

分解や改造をしない


分解禁止

火災・感電・故障につながります。

- 修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
- お手入れ時で、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

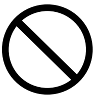
水をかけたり、ぬらしたりしない


水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

- 水が入ったときは、販売店にご相談ください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない


禁止

落下すると、けがや製品の故障につながります。

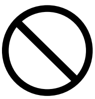
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない


ぬれ手禁止

感電につながります。

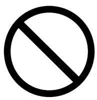
- 必ず、乾いた手で持ってください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わない
また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない


禁止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

コイン電池やSDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない


禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。

- 万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください （つづき）

⚠警告

不安定な状態で使わない

禁止

転落すると、死亡や大けがにつながります。

● 安定した足場、安定した体勢を確保してください。

電源コードや電源プラグを破損させない

禁止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コード破損の原因となり、火災・感電につながります。

● 破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠注意

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

誤って内部に触れると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。カセットとカードは取り出しておいてください）

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響をおよぼすおそれがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところで使わない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。

●3 年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。（特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です）
● 費用についても、そのときお確かめください。

高温になるところに放置しない

禁止

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。カセットテープやビデオカメラ、バッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電のおそれがあります。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

● 必ず、電源プラグを持ってください。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

禁止

集光により、内部部品が破損し、火災のおそれがあります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

重量で外装ケースが変形し、内部部品を破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

指定以外の電池を使わない

禁止

指定以外を使うと、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください （つづき）

⚠注意

カセット挿入口に指を挟まれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。

● 乳幼児にご注意ください。

コイン電池の ⊕・⊖ 部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

● ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

禁止

熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

コイン電池は、⊕・⊖ を確かめ、正しく入れる

間違えると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない

禁止

強い光により、目をいためるおそれがあります。

コイン電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。

⚠注意

付属の USB 接続ケーブルを指定の端子以外には装着しない

禁止

ケーブルや機器の破損の原因となります。

●必ず USB 接続ケーブルを装着する前に、使用機器の端子が USB 用であることを確認してください。

ケーブルが引っ張った状態で使わない

禁止

ケーブルにつまずいて、転倒や機器が破損するおそれがあります。

電池が液漏れしたときは:

- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

さくいん（アイウエオ順）

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

英・数字順

その他

仕様

■ デジタルビデオカメラ

電源	DC 7.9/7.2 V
消費電力	録画時 4.3 W(ファインダー使用時) 5.1 W(液晶使用時 明るさ : 標準)

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
録画方式	Mini DV 方式（民生用デジタル VCR SD 仕様）
使用テープ	6.35 ミリ幅デジタルビデオテープ
録画時間	最大 80 分（SP）120 分（LP）（DVM80 使用時）
テープ速度	SP 時 :18.812 mm/ 秒　LP 時 :12.555 mm/ 秒
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCM デジタル記録 : 16 bit（48 kHz/2ch）　12 bit（32 kHz/4ch）
撮像素子	CCD 固体撮像素子 × 3 （総画素 80 万画素、 有効画素　静止画記録時約 70 万画素、動画記録時約 64 万画素）
レンズ	自動絞り 10 倍電動ズーム F1.6 （f = 2.85 ～ 28.5 mm / 35 mm 換算 : 動画 43 ～ 430 mm 静止画 41 ～ 410 mm）テレマクロ付き（フルレンジ AF）
早送り・巻き戻し	約 2 分 20 秒 （DVM60 使用時）
フィルター径	43 mm
ズーム	光学 10 倍・デジタル 25 倍・スーパーデジタル 100 倍
モニター	3.5 インチ液晶モニター（約 20 万画素）
ファインダー	電子カラービューファインダー
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付）
スピーカー	20 mm 丸形 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 ルクス
最低照度	12 ルクス（なめらかカラーナイトビュー時 2 ルクス）
映像出力	1 Vp-p 75 Ω
S 映像出力	Y 出力 : 1 Vp-p 75 Ω C 出力 : 0.286 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω
ヘッドホン出力	77 mV 32 Ω 負荷時（AV ミニジャック兼用）
映像入力	1 Vp-p 75 Ω
S 映像入力	Y 入力 : 1 Vp-p 75 Ω C 入力 : 0.286 Vp-p 75 Ω
音声入力	316 mV　インピーダンス 10 kΩ 以上

マイク入力	マイク感度 -50 dB(0 dB=1 V/Pa 1 kHz)(ステレオミニジャック)
USB	カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し） USB2.0 準拠（最大 12 Mbps）、USB 端子 TYPEminiB
デジタルインターフェース	DV 入出力端子（IEEE1394、4pin）
外形寸法	幅 76 × 高さ 84 × 奥行き 167 mm
本体質量	約 650 g （レンズキャップ含まず）
使用時質量	約 750 g （付属のバッテリー、テープ：AY-DVM60、 レンズキャップ使用時）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10 %～ 80 %
バッテリー持続時間	19 ページを参照してください。
フラッシュ	GN 6

メモリー機能

記憶メディア	SD メモリーカード：8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB マルチメディアカード：4 MB、8 MB、16 MB
静止画記録方式	JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）、DPOF 対応
記録画素数	2048 × 1512 画素（QXGA）、640 × 480 画素（VGA）
映像圧縮方式	MPEG4 準拠
動画記録画素数	スーパーファイン：320 × 240 画素（QVGA） ファイン / ノーマル：176 × 144 画素（QCIF）
動画転送レート	スーパーファイン：約 430 kbps ファイン：約 320 kbps ノーマル：約 100 kbps
音声圧縮方式	G.726 準拠
音声転送レート	32 kbps

WEB カメラ

圧縮方式	JPEG 準拠
画像サイズ	160 × 120（QQVGA）

■ AC アダプター

電源	AC 100 - 240 V 50/60 Hz
入力容量	24 VA(AC 100 V 時)/ 34 VA(AC 240 V 時)
DC 出力	7.9 V 1.4 A(ビデオカメラ)
充電出力	8.4 V 0.65 A(充電)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルビデオカメラ
品　番	NV-GS100K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。なお、修理料金については販売店にご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**山形** 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	**千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6011
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	**名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	**岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	**岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	**三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	**奈良** 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**山口** 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
	大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0103

Panasonic

デジタルビデオカメラ　NV-GS100K　取扱説明書

PRINTED WITH SOY INK™

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

「この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。」

愛情点検　**長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	NV-GS100K
販　売　店　名	☎（　　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　　）		

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号

システム事業グループ
〒571-8503　大阪府門真市松葉町２番15号

F0503Kh2063（10000 Ⓒ）

Panasonic

デジタルビデオカメラ用
パソコン接続編

取扱説明書



MultiMediaCard™

VQT0E95-2

もくじ

ご使用の前に - はじめに -

インストール

接続と認識

ソフトウェアを使う - ソフトを使う -

デジカムが正常に認識されていないときは - 認識確認 -

その他

お願い

お使いのパソコンのOSにより、ソフトウェアのインストール手順が異なります。
必ず本書をよくお読みのうえ、インストールしてください。
また、次の点に気を付けて、インストールを行ってください。(デジカムが正常に動作しません)

USB接続ケーブル(付属)はUSBドライバーをインストールするまでは接続しないでください。(正常にインストールできない場合があります)

インストールしても正常に動作しないときは、本書に記載の方法でUSBドライバーを削除し、再度認識作業を行ってください。

インストール中にファイルが見つからないなどのメッセージが表示された場合は、必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

はじめに

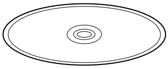
この説明書は、パナソニックデジタルビデオカメラ NV-GS100K に付属しているソフトウェア(CD-ROM 内)のインストールについて記載しています。 デジタルビデオカメラの使いかたについては、本体側の説明書をお読みください。 また、各ソフトウェアの使いかたについては、同時にインストールされる PDF 説明書やヘルプファイルをお読みください。

- 本書では本機（NV-GS100K）のことをデジカムと記載しています。
- 本書では SD Viewer 1.6J-SE を SD Viewer、DV STUDIO 3.3J-SE を DV STUDIO と記載しています。
- 本 CD-ROM 内のソフトウェアは、デジタルビデオカメラ NV-GS100K 用です。
- （SD ロゴ）は商標です。
- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe®、Adobe ロゴおよび Acrobat® は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Intel®、Pentium®、Celeron® は Intel Corporation の各国での登録商標または商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- ご使用のパソコンの使用環境などにより、本説明書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。
- インストール中にファイル名などを指定する場合は、半角英数字で指定してください。(大文字・小文字のどちらでも指定できます)
- パソコンの基本的な操作、用語については説明しておりません。パソコン側の説明書などをお読みください。
- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 本書では、一部を除いて Windows XP の画面で説明しています。

使用する付属品について

ソフトウェアのインストール・使用時に使う付属品です。
付属品全般については、デジカム本体側の説明書をお読みください。

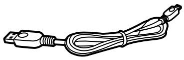
■ CD-ROM（以下のソフトウェアが入っています）



- SD Viewer 1.6J-SE（ビューワーソフト）
- DV STUDIO 3.3J-SE（静止画取り込みソフト）
- USBドライバー（デジカムをパソコンにつなぐためのデバイスドライバーで、Webカメラ用ドライバー、SD Viewer 用ドライバー、DV STUDIO 用ドライバーがあります）
- ArcSoft Software Suite
  - ・ArcSoft PhotoImpression 3.0（画像の編集・加工ソフト）
  - ・ArcSoft Panorama Maker 3.0（画像を組み合わせてパノラマ写真に合成）
  - ・ArcSoft PhotoMontage 2000（画像の合成ソフト）
  - ・PictureStage アップローダー（フォトコミュニケーションサイト PictureStage に画像をアップロードできます）
- Adobe Acrobat Reader
- G.726 音声デコーダー（MPEG4 データ（ASF 形式）の音声再生用ソフトウェア）

■ USB 接続ケーブル

デジカムの USB 端子とパソコン側の USB 端子を接続するケーブルです。



特長

CD-ROM（付属）には、テープやカードに記録した映像を取り込んだり、取り込んだ画像の整理や編集、加工が行えるソフトウェアが入っています。
本書では、インストールと簡単な使いかたのみ記載しています。詳しい使いかたについては、各ソフトウェアの PDF 説明書やヘルプファイルをお読みください。

■ SD Viewer（ビューワーソフト）

カードの画像が一覧（サムネイル）表示されるので、内容が一目で確認できます。画像の整理や検索、DPOF 設定などに便利です。
ドラッグ・アンド・ドロップでお好みの画像をパソコンにコピーできます。
また画像形式を変換したり、お好みの画像をパソコンの壁紙にする機能などがあります。

[概略図]



使いかたはPDF説明書をお読みください。

■ DV STUDIO（静止画取り込みソフト）

テープの映像から、お好みの場面を静止画としてパソコンに取り込めます。
（フォトショット撮影した画像は自動で一括取り込みできます）
デジカムを撮影モードにすると、レンズに映った人や景色をパソコンに取り込めます。
他に画像形式を変換したり、スライドショー機能があります。
(本ソフトウェアはカード再生モードでは使用できません)

[概略図]



使いかたはPDF説明書をお読みください。

■ ArcSoft Software Suite

ArcSoft PhotoImpression 3.0

静止画の編集、加工、印刷などができます。また、関連する画像をひとつのアルバムにして保存できるので、保存や整理に便利です。
文字を入れたり、フレームを付けたりできます。また、作成した画像を簡単に電子メールで送ることができます。（プロバイダーとの契約や電子メールソフトの設定が必要です）

ArcSoft Panorama Maker 3.0

複数枚の静止画をつなげたパノラマ写真が作成できます。
景色などの写真に組み合わせて、360゜の風景も 1 枚の静止画に加工できます。

ArcSoft PhotoMontage 2000

静止画に多数の静止画を組み合わせて、画像を加工することができます。（フォトモンタージュとは、極小の写真を数多く格子状に集めた写真のことです）

PictureStage アップローダー（アドレス http://www.picturestage.ne.jp/）

フォトコミュニケーションサイト PictureStage へアクセスし、画像を簡単にアップロードできます。（PictureStage では、インターネット上で画像の共有、保管、公開、加工の他、プリントやギフトの注文を行うことができます）



ArcSoft PhotoImpression 3.0


ArcSoft Panorama Maker 3.0


ArcSoft PhotoMontage 2000


PictureStageアップローダー

使いかたはそれぞれのヘルプファイルをお読みください。

ArcSoft Software Suite（ArcSoft PhotoImpression 3.0、ArcSoft Panorama Maker 3.0、ArcSoft PhotoMontage 2000、PictureStage アップローダー）についてのお問い合わせは、アークソフトジャパンコールセンターへお願いいたします。（裏表紙）

■ USB ドライバー

[デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバー] もしくは [Web カメラ用ドライバー] をインストールすると、USB ドライバーがインストールされ、デジカムとパソコンを接続して使用できます。

デジカムを接続して使うには、最初に USB ドライバーのインストールが必要です。

- デジカムをパソコンとつないで、インターネットテレビ電話として使えます。
- カードに記録された画像を読み込めるようになります。
- テープ映像やデジカムに映っている映像をDV STUDIOで取り込めるようになります。



■ Adobe Acrobat Reader

インストールされた PDF 説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader 4.0 以上が必要です。ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM からインストールできます。CD ランチャーの [Acrobat Reader] をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

■ G.726 音声デコーダー

メモリーカードに記録した MPEG4(ASF 形式) ファイルはパソコンで再生することができますが（Windows Media® Player Ver.6.4 以上が必要です）、音声も再生するには G.726 音声デコーダーが必要です。このソフトウェアは、インターネットに接続し、MPEG4 ファイルをダブルクリックすると自動でインストールされます。（Windows Media Player に自動ダウンロード機能があるため）

お使いの環境でダウンロードできない場合、付属の CD-ROM からインストールできます。CD ランチャーの [G.726 音声デコーダー] をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。（再起動後に音声を再生できるようになります）

動作環境

以下の環境で使用できます。

- 下記の推奨環境を満たすすべてのパソコンについて動作を保障するものではありません。
- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。
- デジカムを WEB カメラとして使う場合は、45 ページをお読みください。
- アップグレードされたOSは動作を保証いたしません。(Windows® 95からWindows® 98SE にアップグレードした場合など)

■ USB ドライバー

対象パソコンおよび OS	Pentium® II または Celeron® 300 MHz 以上の CPU(互換 CPU を含む)を搭載し、Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Me および Windows 98 Second Edition の日本語版がプリインストールされた DOS/V パソコン
搭載メモリ	32 MB 以上(64 MB 以上を推奨) (Windows XP 使用の場合は 128 MB 以上(256MB 以上を推奨))
ハードディスク	1 MB 以上の空き容量
接続端子	USB(A タイプ)

デジカムを WEB カメラとして使う場合は、上記の他に以下の環境・条件が必要です。

グラフィック表示	High Color(16 bit)以上 デスクトップ領域 800 × 600 以上
通信速度	56 kbps 以上を推奨
必要なソフトウェア	Microsoft NetMeeting® 3.0 以上
その他 (音声を送受信する場合)	サウンドカード、マイク、 スピーカーまたはヘッドホン

重要

デジカムを WEB カメラとして使うときは、以下の点にお気を付けください。

- インターネットに直接ダイヤルアップ接続できる状態にあるか、通信者双方のパソコンが同じネットワーク上（LAN 内）にある必要があります。
- ファイアウォールやルーターを介して接続すると、正しく通信できません。
- ご利用のインターネットプロバイダー（CATV を含む）がグローバル IP を供給していない場合は、NetMeeting での通信はできません。(グローバル IP については、ご利用のインターネットプロバイダーに直接お問い合わせください)
- NetMeeting の使いかたについては、NetMeeting のヘルプファイルをお読みください。
- NetMeeting 以外の環境でのご使用については動作保証いたしません。

■ SD Viewer/DV STUDIO

対象パソコンおよび OS	Pentium Ⅱ または Celeron 300 MHz 以上の CPU(互換 CPU を含む)を搭載し、Microsoft Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Me および Windows 98 Second Edition の日本語版がプリインストールされた DOS/V パソコン
グラフィック表示	High Color(16 bit)以上 デスクトップ領域 800 × 600 以上
搭載メモリ	32 MB 以上(64 MB 以上を推奨) (Windows XP 使用の場合は 128 MB 以上(256 MB 以上を推奨))
ハードディスク	20 MB 以上の空き容量(SD Viewer) 20 MB 以上の空き容量(DV STUDIO)
接続端子	USB(A タイプ)
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- MS P ゴシックフォント、MS ゴシックフォントがシステムにインストールされていないと文字が正しく表示されません。インストールされていない場合は、Windows の説明書をご参照のうえ、フォントをインストールしてください。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルを使用して接続している場合は、動作を保証いたしません。
- キーボードの USB 端子に接続することはできません。

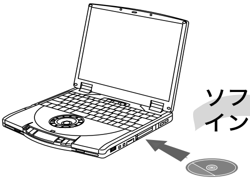
■ ArcSoft Software Suite（ArcSoft PhotoImpression 3.0/Panorama Maker 3.0/PhotoMontage 2000/PictureStage アップローダー）

対象パソコンおよび OS	Pentium Ⅱ または Celeron 300 MHz 以上の CPU（互換 CPU を含む）を搭載し、Microsoft Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional、Windows Me および Windows 98 Second Edition 日本語版がプリインストールされた DOS/V パソコン
グラフィック表示	High Color（16 bit）以上 デスクトップ領域 800 × 600 以上
搭載メモリ	32 MB 以上（64 MB 以上を推奨） （Windows XP 使用の場合は 128 MB 以上（256 MB 以上を推奨））
ハードディスク	270 MB 以上の空き容量
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- ArcSoft 社製のソフトウェアのユーザーサポートについては、裏表紙をお読みください。

インストールからソフトウェア使用までの流れ

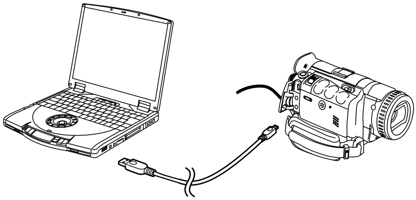
デジカム用静止画ソフトをお使いいただくためには、インストールと認識作業が必要です。以下の流れで作業を行ってください。



ソフトウェアを
インストールする

インストール前にUSB接続ケーブルを接続しないでください。

- CD ランチャー画面について (P14)
- インストール (Windows XP/2000) (P16)
- インストール (Windows Me) (P20)
- インストール (Windows 98SE) (P25)



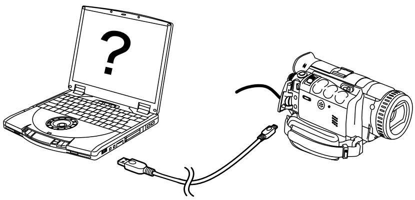
パソコンとデジカム
をつなぐ

●接続後、デジカムをパソコンに認識させる作業が必要です。

- デジカムとパソコンの接続 (P31)
- 接続後の認識作業 (Windows XP/2000) (P33)
- 接続後メッセージが表示された場合は (Windows Me の認識作業) (P36)
- 接続後メッセージが表示された場合は (Windows 98SE の認識作業) (P37)

ソフトウェアを使う

- デジカム用静止画ソフトを使う (P39)
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)



デジカムがパソコンに
認識されないときは?

- USB ドライバーの確認 (P48)
- 正常に認識しないときは (P51)
- 困ったときは(Q&A) (P56)

CD ランチャー画面について

CD-ROM をパソコンに入れると、自動的に CD ランチャーが起動します。
CD ランチャーのボタンから、インストールしたいものを選び、ソフトウェアなどをインストールします。

- CD ランチャーが自動で起動しない場合は、[スタート] → [マイコンピュータ] を選び（またはデスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックして）、[PANASONIC] をダブルクリックしてください。([PANASONIC] を開いて [autorun(.exe)] をダブルクリックしても起動できます)



❶ 次ページの A、B、C がインストールされます。
- インストール (Windows XP/2000) (P16)
- インストール (Windows Me) (P20)
- インストール (Windows 98SE) (P25)

❷ 次ページの C がインストールされます。
- 各インストールページの手順の 8 以降の手順でインストールできます。

❸ArcSoft Software Suite がインストールされます。
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)

❹Adobe Acrobat Reader がインストールされます。
- Adobe Acrobat Reader (P9)

❺G.726 音声デコーダーがインストールされます。
- G.726 音声デコーダー (P9)

❻CD ランチャーが終了します。

- インストールの完了でパソコンを再起動した後に CD ランチャーが自動で起動しない場合、引き続き他のソフトウェアをインストールするには手動で CD ランチャーを起動してください。(起動方法は上記をご覧ください)

A

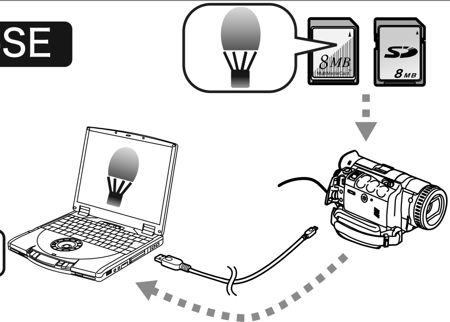
SD Viewer 1.6J-SE

がインストールされます。
このソフトを使うと、

↓

カード(カード再生モード)

の画像を扱うことができます。



B

DV STUDIO 3.3J-SE

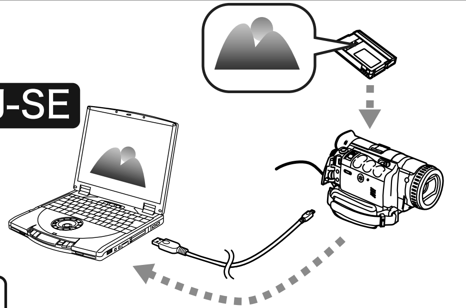
がインストールされます。
このソフトを使うと、

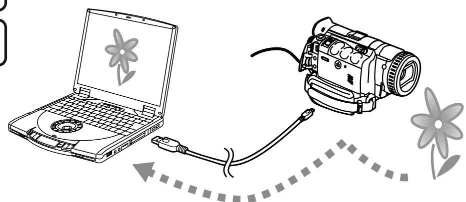
↓

テープ(再生モード)

カメラ(撮影モード)

の画像を扱うことができます。





C

Webカメラ用

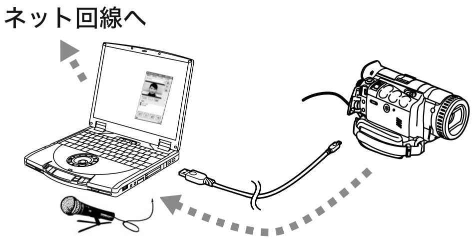
USBドライバーが
インストールされます。
このドライバーと
NetMeetingを使うと、

↓

Webカメラ

としてビデオカメラを使う
ことができます。

● 同時に、
SD Viewer用USBドライバー 、
DV STUDIO用USBドライバーも
インストールされます。



インストール (Windows XP/2000)

デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバーのインストール

1 USB 接続ケーブルが接続されていないことを確認する

USB 接続ケーブルを接続しているとUSB ドライバーが正常にインストールできません。

2 CD-ROM(付属)をパソコンに入れる

CD ランチャーが起動します。

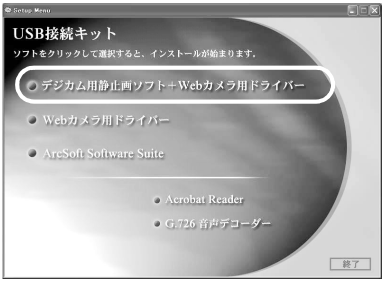
- CD ランチャーが自動で起動しない場合は、[スタート] → [マイコンピュータ] を選び(またはデスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックして)、[PANASONIC] をダブルクリックしてください。([PANASONIC] を開いて [autorun(.exe)] をダブルクリックしても起動できます)



3 [デジカム用静止画ソフト+Webカメラ用ドライバー]をクリックする

はじめに DV STUDIO のセットアップが始まります。

- インストール途中に [キャンセル] などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

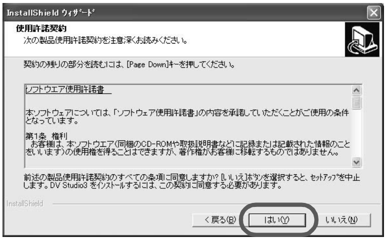


4 [次へ]をクリックする



5 [使用許諾契約]画面をよく読んで、[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックするとインストールできません。



DV STUDIO インストールの例

6 画面のメッセージに従ってインストールを続ける

●DV STUDIOをインストールした場合、サンプルデータも同時にインストールされます。

7 DV STUDIO のインストールが終了すると、続けて SD Viewer のインストールが始まりますので、DV STUDIO と同様にインストールする

ソフトウェアのインストールが完了すると、[デジカム用静止画ソフトへようこそ](P39) がインストールされ、次に USB ドライバーのインストールが始まります。

8 [次へ]をクリックする



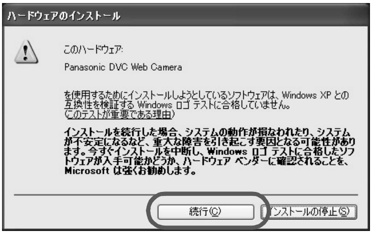
インストール

9 **[使用許諾契約]画面をよく読んで、[はい]をクリックする**

●[いいえ]をクリックすると、インストールできません。



10 **Windows XP の場合、右記のようなメッセージが表示されますが、システムには影響ありませんので、[続行]をクリックする**



Windows XP

Windows 2000の場合、右記のようなメッセージが表示されますが、動作には問題ありませんので、[はい]をクリックする



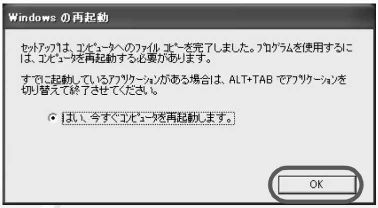
Windows 2000

11 **[完了]をクリックする**



12 **[OK]をクリックし、再起動する**

再起動後、ドライバーが有効になります。



インストール終了後

最初の接続時（撮影・再生モードとカード再生モード時のそれぞれ 1 回）にドライバーの認識作業をする必要があります。 ● 「接続と認識作業」(P31) へ進み、認識作業を行ってください。 （USB 端子が複数ある場合、USB 端子を差し替えると、認識作業が必要になります）

Web カメラ用ドライバーのインストール

[デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバー] をインストールしている場合、Web カメラ用ドライバーはすでにインストールされていますので、インストールする必要はありません。

USB ドライバーのみインストールしたい場合や、USB ドライバーをインストールし直したい場合は、CD ランチャーの [Web カメラ用ドライバー] をクリックし、「デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバーのインストール」の手順 8(P17) から行ってください。

- 一度インストールされている場合は上書きインストールされます。



インストール (Windows Me)

デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバーのインストール

1 USB 接続ケーブルが接続されていないことを確認する

USB 接続ケーブルを接続しているとUSB ドライバーが正常にインストールできません。

2 CD-ROM(付属)をパソコンに入れる

CD ランチャーが起動します。

●CD ランチャーが自動で起動しない場合は、デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックし、[PANASONIC] をダブルクリックしてください。([PANASONIC] を開いて [autorun(.exe)] をダブルクリックしても起動できます)

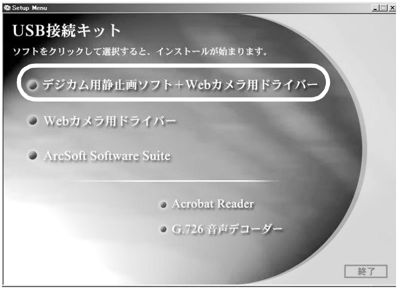




3 [デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバー] をクリックする

はじめに DV STUDIO のセットアップが始まります。

●インストール途中に [キャンセル] などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

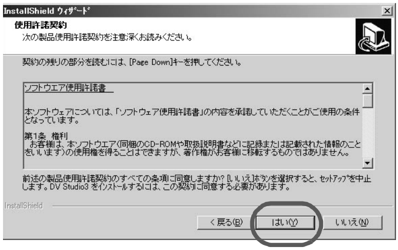


4 [次へ] をクリックする



5 [使用許諾契約]画面をよく読んで、[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックするとインストールできません。



DV STUDIO インストールの例

6 画面のメッセージに従ってインストールを続ける

●DV STUDIOをインストールした場合、サンプルデータも同時にインストールされます。

7 DV STUDIO のインストールが終了すると、続けて SD Viewer のインストールが始まりますので、DV STUDIO と同様にインストールする

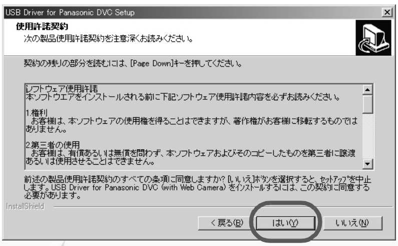
ソフトウェアのインストールが完了すると、[デジカム用静止画ソフトへようこそ](P39) がインストールされ、次に USB ドライバーのインストールが始まります。

8 [次へ]をクリックする



9 [使用許諾契約]画面をよく読んで、[はい]をクリックする

●[いいえ]をクリックすると、インストールできません。

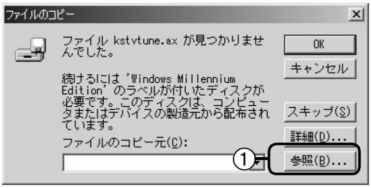


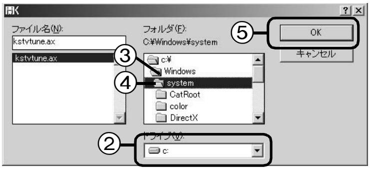
以下の手順 10 から 12 は表示されない場合があります。

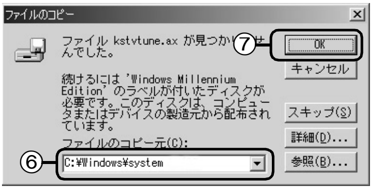
10 [ファイル kstvtune.ax が見つかりませんでした。]が表示された場合は、

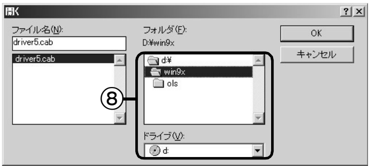
①[参照] をクリックし、
②[ドライブ] で OS のドライブ (例えば、 C:) を選び、
③[Windows] をダブルクリックし、
④[system] をダブルクリックし、
⑤[OK]をクリックする。
⑥[C:¥Windows¥system] と表示されているのを確認し、
⑦[OK]をクリックする。

- [C:¥Windows¥system]と半角で入力して指定することもできます。
- WindowsがCドライブにある場合のパスです。マルチ OS 環境などでは異なります。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、Windows Me の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [Win9x]⑧ フォルダーを参照してインストールを続けてください。

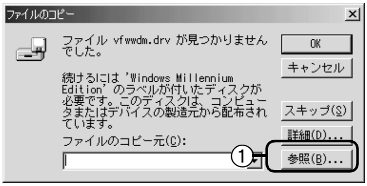


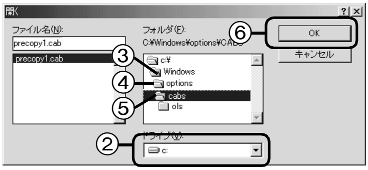


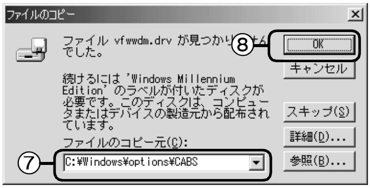


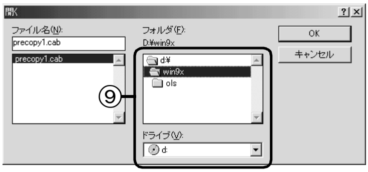


11 [ファイル vfwwdm.drv(または msh263.drv、vfwwdm32.dll、iyuv_32.dll など)が見つかりませんでした。]が表示された場合は、









①[参照] をクリックし、

②[ドライブ] で OS のドライブ (例えば、 C:) を選び、

③[Windows] をダブルクリックし、

④[options] をダブルクリックし、

⑤[cabs] をダブルクリックし、

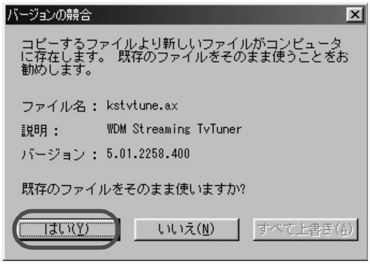
⑥[OK]をクリックする。

⑦[C:¥Windows¥options¥CABS] と表示されているのを確認し、

⑧[OK]をクリックする。

- [C:¥Windows¥options¥cabs]と半角で入力して指定することもできます。
- WindowsがCドライブにある場合のパスです。マルチ OS 環境などでは異なります。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、Windows Me の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [Win9x]⑨ フォルダーを参照してインストールを続けてください。

12 バージョンの競合メッセージが表示された場合は、[はい]をクリックする



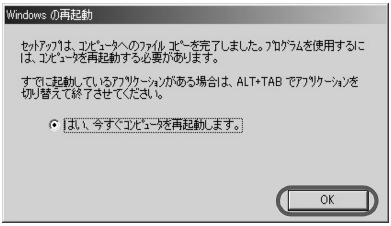
- このメッセージは数回出る場合があります。

13 [完了]をクリックする



14 [OK]をクリックし、再起動する

再起動後、ドライバーが有効になります。



インストールが終了後

デジカムとパソコンを接続してソフトウェアを使用することができます。

- デジカムとパソコンの接続 (P31)
- 接続後メッセージが表示された場合は (Windows Me の認識作業) (P36)
- デジカム用静止画ソフトを使う (P39)
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)
- デジカムを WEB カメラとして使う (P45)

デジカムが認識されない場合

- USB ドライバーの確認 (P48)
- 正常に認識しないときは (P51)
- 困ったときは（Q&A）(P56)

Web カメラ用ドライバーのインストール

[デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバー] をインストールしている場合、Web カメラ用ドライバーはすでにインストールされていますので、インストールする必要はありません。

USB ドライバーのみインストールしたい場合や、USB ドライバーをインストールし直したい場合は、CD ランチャーの [Web カメラ用ドライバー] をクリックし、「デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバーのインストール」の手順 8(P21) から行ってください。

- 一度インストールされている場合は上書きインストールされます。



インストール (Windows 98SE)

デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバーのインストール

1 **USB 接続ケーブルが接続されていないことを確認する**

USB 接続ケーブルを接続していると USB ドライバーが正常にインストールできません。

2 **CD-ROM(付属)をパソコンに入れる**

CD ランチャーが起動します。

●CD ランチャーが自動で起動しない場合は、デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックし、[PANASONIC] をダブルクリックしてください。([PANASONIC] を開いて [autorun(.exe)] をダブルクリックしても起動できます)

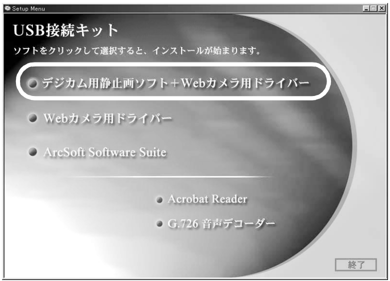




3 **[デジカム用静止画ソフト+Webカメラ用ドライバー]をクリックする**

はじめに DV STUDIO のセットアップが始まります。

●インストール途中に [キャンセル] などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。



4 **[次へ]をクリックする**



5 **[使用許諾契約]画面をよく読んで、[はい]をクリックする**

[いいえ]をクリックするとインストールできません。



DV STUDIO インストールの例

6 **画面のメッセージに従って、DV STUDIO のインストールを続ける**

- DV STUDIOをインストールした場合、サンプルデータも同時にインストールされます。

7 **DV STUDIO のインストールが終了すると、続けて SD Viewer のインストールが始まりますので、DV STUDIO と同様にインストールする**

ソフトウェアのインストールが完了すると、[デジカム用静止画ソフトへようこそ](P39) がインストールされ、次に USB ドライバーのインストールが始まります。

8 **[次へ]をクリックする**





9 **[使用許諾契約]画面をよく読んで、[はい]をクリックする**

- [いいえ]をクリックすると、インストールできません。

以下の手順 10 から 14 は表示されない場合があります。

10 **[ファイル PMJ1519X.EXE が見つかりませんでした。]が表示された場合は、**

①[参照] をクリックし、

●自動的に正しいフォルダーが指定されます。

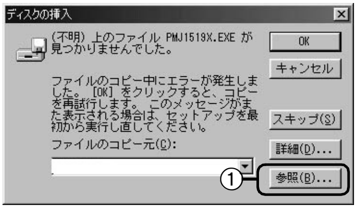
②[usbdriver][drivers][WebCam] になっていることを確認し、

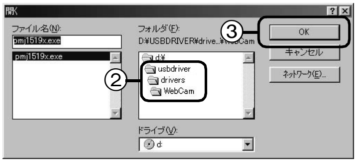
③[OK]をクリックする。

④[D:¥USBDRIVER¥drivers¥WebCam] と表示されているのを確認し、

⑤[OK]をクリックする。

●CD-ROMがDドライブにある場合のパスです。パソコンによっては異なります。(D:¥ ではない場合があります)







11 **[Windows 98 Second Edition CD-ROM・・・] と表示された場合は、CD-ROM を入れずに [OK] をクリックする**



12 [ファイル kstvtune.ax が見つかりませんでした。]が表示された場合は、

①[参照]をクリックし、

②OSのドライブ(例えば、 C:)を選び、

③[Windows] をダブルクリックし、

④[SYSTEM] をダブルクリックし、

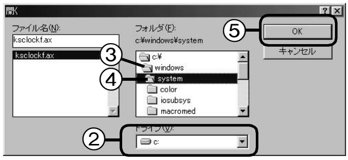
⑤[OK]をクリックする。

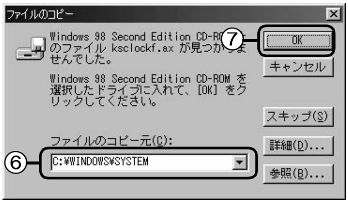
⑥[C:¥WINDOWS¥SYSTEM]と表示されているのを確認し、

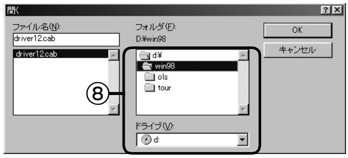
⑦[OK]をクリックする。

- [C:¥Windows¥system]と半角で入力して、指定することもできます。
- WindowsがCドライブにある場合のパスです。マルチ OS 環境などでは異なります。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、Windows 98SE の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [Win98]⑧ フォルダーを参照してインストールを続けてください。
- 手順11、12のメッセージは数回表示される場合があります(ファイル名は変わります)。同じ手順で操作してください。





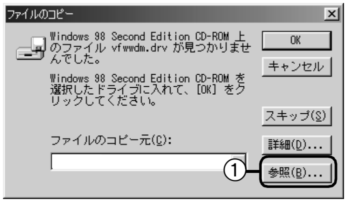


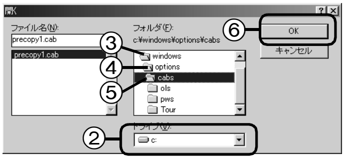


13 [ファイル vfwwdm.drv(または msh263.drv、vfwwdm32.dll、iyuv_32.dll など)が見つかりませんでした。]が表示された場合は、

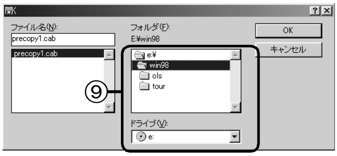
①[参照]をクリックし、
②OSのドライブ(例えば、 C:)を選び、
③[windows] をダブルクリックし、
④[options] をダブルクリックし、
⑤[cabs] をダブルクリックし、
⑥[OK]をクリックする。
⑦[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS] と表示されているのを確認し、
⑧[OK]をクリックする。

- [C:¥Windows¥options¥cabs]と半角で入力して、指定することもできます。
- WindowsがCドライブにある場合のパスです。マルチ OS 環境などでは異なります。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、Windows 98SE の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [Win98]⑨ フォルダーを参照してインストールを続けてください。



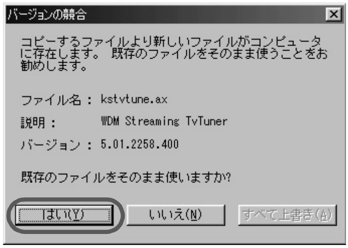






14 バージョンの競合メッセージが表示されたら、[はい]をクリックする

- このメッセージは数回表示される場合があります。



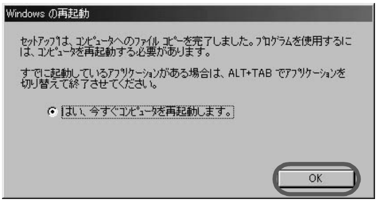
15 [完了]をクリックする



インストール

16 [OK]をクリックし、再起動する

再起動後、ドライバーが有効になります。



インストールが終了後

デジカムとパソコンをつないでソフトウェアを使用することができます。

- デジカムとパソコンの接続 (P31)
- 接続後メッセージが表示された場合は (Windows 98SE の認識作業) (P37)
- デジカム用静止画ソフトを使う (P39)
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)
- デジカムを WEB カメラとして使う (P45)

デジカムが認識されない場合

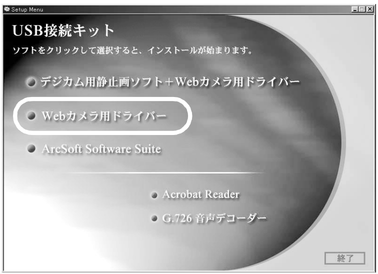
- USB ドライバーの確認 (P48)
- 正常に認識しないときは (P51)
- 困ったときは（Q&A）(P56)

Web カメラ用ドライバーのインストール

[デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバー] をインストールしている場合、Web カメラ用ドライバーはすでにインストールされていますので、インストールする必要はありません。

USB ドライバーのみインストールしたい場合や、USB ドライバーをインストールし直したい場合は、CD ランチャーの [Web カメラ用ドライバー] をクリックし、「デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバーのインストール」の手順 8(P26) から行ってください。

- 一度インストールされている場合は上書きインストールされます。



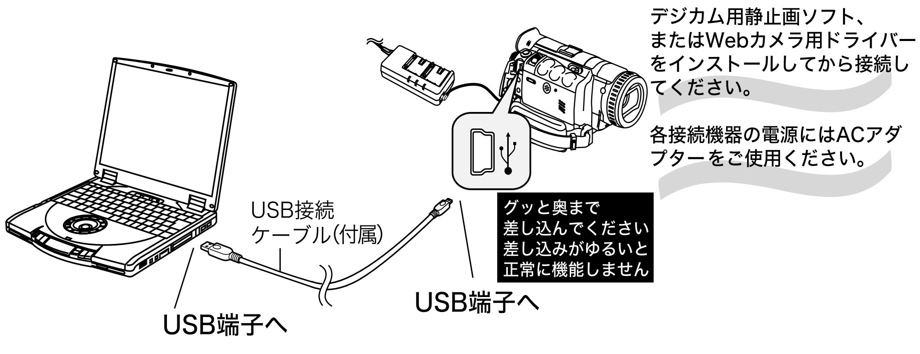
接続と認識作業

ソフトウェアのインストール後、パソコンとデジカムを接続し、デジカムをパソコンに正しく認識させる必要があります。

デジカムとパソコンの接続

■ 接続

- CD-ROM（付属）がパソコンに入っている場合は、取り出してください。（CD ランチャーが起動している場合は終了してから取り出してください）
- **ソフトウェアインストール後に接続を行ってください。インストール前に接続を行うと、デジカムが正しく認識されない場合があります。**
- Windows XP/2000 をご使用の場合は、接続後に認識作業が必要ですので、撮影モードまたは再生モードで接続し、「接続後の認識作業 (Windows XP/2000)」(P33) をご覧ください。
- 認識作業が正しく行われないと、デジカムをパソコンと接続して使用することができません。



お願い

- 電源には必ず AC アダプターをお使いください。

■ 接続後の認識作業

Windows XP/2000 をお使いの場合

最初の接続時(最初の撮影・再生モード時とカード再生モード時)に、[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されますので、次ページの手順に従って認識作業を完了させてください。

Windows Me をお使いの場合

接続後、自動的に認識作業が終了します。

- メッセージが表示されて自動的に終了しない場合は「接続後メッセージが表示された場合は (Windows Me の認識作業)」(P36) をご覧ください。
- カード再生モードの場合は [マイコンピュータ] に [リムーバブルディスク] が表示されます。

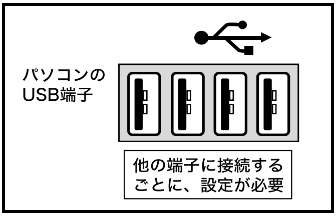
Windows 98SE をお使いの場合

接続後、自動的に認識作業が終了します。

- メッセージが表示されて自動的に終了しない場合は「接続後メッセージが表示された場合は (Windows 98SE の認識作業)」(P37) をご覧ください。
- カード再生モードの場合は [マイコンピュータ] に [リムーバブルディスク] が表示されます。

ヒント

- パソコンに USB 端子が複数ある場合、使用する USB 端子ごとに認識作業が必要になります。
- すべての USB 端子で USB ドライバーを設定（認識）させておくと、次回接続するときにどの USB 端子でも使えるので便利です。
- デジカムが正常に動作しないときは、インストールや認識作業が正常に行われていない場合があります。P56 (Q1) をご覧ください。



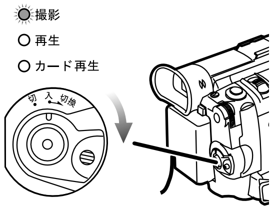
接続後の認識作業 (Windows XP/2000)

- WindowsXP/2000 をご使用の場合、自動的に認識作業が終了し、以下の操作が必要ないことがあります。(そのままお使いください)

CD-ROM(付属)がパソコンに入っている場合は、取り出してください。(CD ランチャーが起動している場合は終了してから取り出してください)

まず DV STUDIO 用の認識作業を行います。

1 **デジカムを撮影モードまたは、再生モードにする**

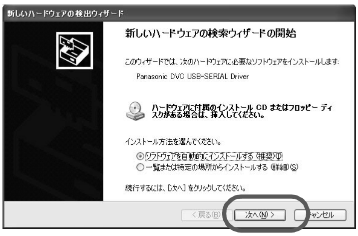


2 **デジカムとパソコンを接続する (P31)**

最初の接続時に[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。

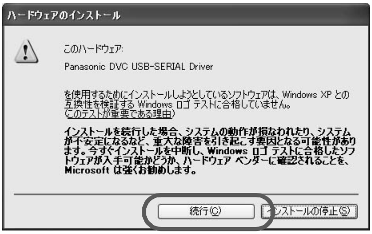
- [ディスクの挿入]画面が表示された場合は、[OK]をクリックしてください。

3 **[次へ]をクリックする**



接続と認識

4 Windows XP の場合、右記のようなメッセージが表示されますが、システムには影響ありませんので、[続行]をクリックする



Windows XP

Windows 2000の場合、右記のようなメッセージが表示されますが、動作には問題ありませんので、[はい]をクリックする

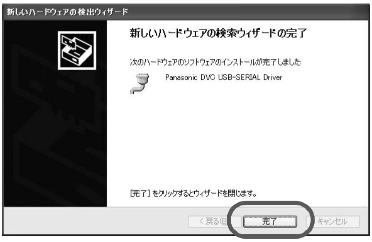


Windows 2000

- 撮影･再生モード時は[Panasonic DVC USB-SERIAL Driver]、カード再生モード時は[Panasonic DVC USB Driver]と表示されます。

5 [完了]をクリックする

- これで DV STUDIO 用の認識作業が完了しました。

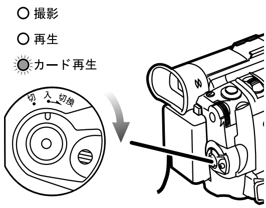


ここから SD Viewer 用の認識作業を行います。

6 デジカムをカード再生モードにする

最初の接続時に[新しいハードウェアの検出ウィザード]画面が表示されます。

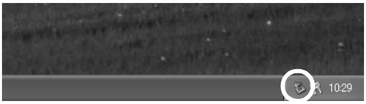
- デバイスの取り外しの警告が表示された場合は、メッセージに従って警告画面を閉じてください。



7 手順 3、4 を繰り返し、操作が完了したら、[完了] をクリックする

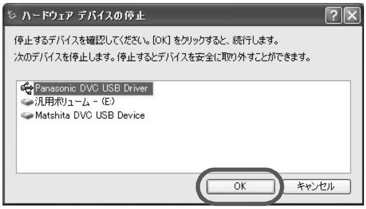
- これでSD Viewer用の認識作業が完了しました。
- [マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク]が表示されます。

8 タスクトレイの アイコンをダブルクリックし、[Panasonic DVC USB Driver]を選び、[停止]をクリックする





9 [Panasonic DVC USB Driver]が選ばれていることを確認し、[OK]をクリックし、USB 接続ケーブルを抜く



- これで認識作業は終了です。
- Web カメラ用ドライバーの認識作業は必要ありません。

認識が正しく終了すると

デジカムとパソコンをつないでソフトウェアを使用することができます。

- デジカム用静止画ソフトを使う (P39)
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)
- デジカムを WEB カメラとして使う (P45)

デジカムが認識されない場合

- USB ドライバーの確認 (P48)
- 正常に認識しないときは (P51)
- 困ったときは（Q&A）(P56)

接続後メッセージが表示された場合は (Windows Me の認識作業)

Windows Me をお使いの場合、インストール後にデジカムとパソコンを接続すると、自動的に認識作業が終了しますが、お使いのパソコンによっては以下のようなメッセージが出て、自動的に終了しない場合があります。手順に従って認識作業を完了させてください。

1 **「ファイル usbmphlp.pdr が見つかりませんでした。」と表示された場合は、**

①[参照] をクリックし、
②OSのドライブ (例えば、 C:)を選び、
③[windows] をダブルクリックし、
④[options] をダブルクリックし、
⑤[cabs] をダブルクリックし、
⑥[OK]をクリックする。
⑦[c:¥windows¥options¥CABS] と表示されているのを確認し、
⑧[OK]をクリックする。

- 「c:¥windows¥options¥CABS」と半角で入力し、指定することもできます。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、Windows Me の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [Win9x]⑨ フォルダーを参照してインストールを続けてください。



認識が正しく終了すると

デジカムとパソコンをつないでソフトウェアを使用することができます。

- デジカム用静止画ソフトを使う (P39)
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)
- デジカムを WEB カメラとして使う (P45)

デジカムが認識されない場合

- USB ドライバーの確認 (P48)
- 正常に認識しないときは (P51)
- 困ったときは（Q&A）(P56)

接続後メッセージが表示された場合は (Windows 98SE の認識作業)

Windows 98SE をお使いの場合、インストール後にデジカムとパソコンを接続すると、自動的に認識作業が終了しますが、お使いのパソコンによっては以下のようなメッセージが出て、自動的に終了しない場合があります。手順に従って認識作業を完了させてください。

1 「ファイル MTDV98M1.pdr が見つかりませんでした。」と表示された場合は、

①[参照] をクリックし、

②OSのドライブ (例えば、 C:)を選び、

③[windows] をダブルクリックし、

④[system] をダブルクリックし、

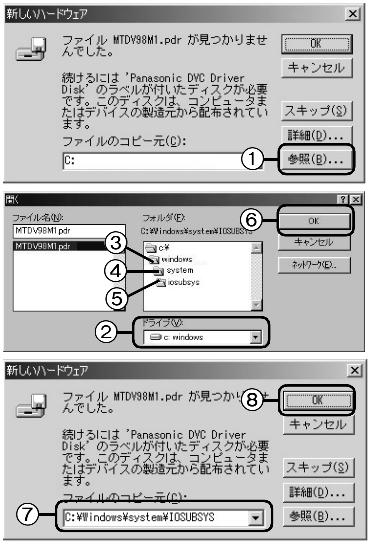
⑤[iosubsys] をダブルクリックし、

⑥[OK]をクリックする。

⑦[C:¥Windows¥system¥IOSUBSYS] と表示されているのを確認し、

⑧[OK]をクリックする。

- 「C:¥Windows¥system¥IOSUBSYS」と半角で入力し、指定することもできます。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [USBDriver¥Drivers¥98] フォルダーを参照してインストールを続けてください。

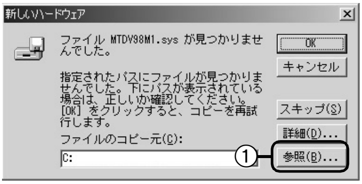


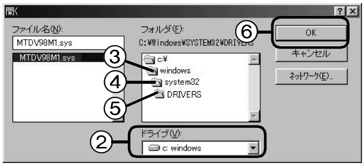
接続と認識

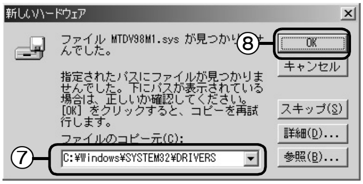
2 「ファイル MTDV98M1.sys が見つかりませんでした。」と表示された場合は、

①[参照]をクリックし、
② OS のドライブ（例えば、 C:) を選び、
③ [windows] をダブルクリックし、
④ [system32] をダブルクリックし、
⑤ [DRIVERS] をダブルクリックし、
⑥[OK]をクリックする。
⑦[C:¥Windows¥SYSTEM32¥DRIVERS] と表示されているのを確認し、
⑧[OK]をクリックする。

- 「C:¥Windows¥SYSTEM32¥DRIVERS」と半角で入力し、指定することもできます。
- 上記設定でファイルが見つからなかった場合は、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、CD-ROM 内の [USBDriver¥Drivers¥98] フォルダーを参照してインストールを続けてください。







3 画面の指示に従って認識作業を終了する

認識が正しく終了すると

デジカムとパソコンをつないでソフトウェアを使用することができます。

- デジカム用静止画ソフトを使う (P39)
- ArcSoft Software Suite を使う (P44)
- デジカムを WEB カメラとして使う (P45)

デジカムが認識されない場合

- USB ドライバーの確認 (P48)
- 正常に認識しないときは (P51)
- 困ったときは（Q&A）(P56)

デジカム用静止画ソフトを使う

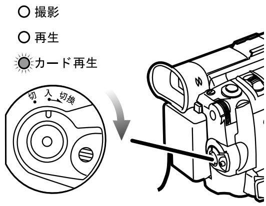
デジカム用静止画ソフトには SD Viewer と DV STUDIO があります。
カード再生モードの画像を取り込みたい場合は「SD Viewer」、撮影モード・再生モードの画像を取り込みたい場合は「DV STUDIO」を使用します。

デジカム用静止画ソフトの起動

ソフトのインストール後、デジカムをパソコンに認識させてから以下の手順でソフトを起動してください。

1 デジカムを取り込みたい画像のモードにする

- SD Viewer を使わずに、エクスプローラーなどでメモリーカードのデータをパソコンにコピーしたい場合は、カード再生モードにしてください。
- テープの内容を取り込む場合は、再生モードにしてテープを入れてください。



パソコンと接続しているときに、デジカムがカード再生モードになると、デジカム本体に「PC 接続モード」と表示され、デジカムの操作モードが変更できなくなります。
操作モードを変更したいときは、一度 USB 接続ケーブルを外し、デジカムの操作モードを切り換えたあと、再度接続してください。

2 USB 接続ケーブル（付属）で接続する (P31)

カード再生モードの場合はデジカムが PC 接続モードになります。

3 [スタート]→[すべてのプログラム（プログラム）]→[Panasonic]→[デジカム用静止画ソフト]→[デジカム用静止画ソフトへようこそ]を選ぶ

ソフト用ランチャーが起動します。

- デスクトップのショートカットアイコン [デジカム] をダブルクリックしても起動することができます。



4 デジカムがカード再生モードの場合は SD Viewer、撮影モード・再生モードの場合は DV STUDIO を選ぶ

●SD Viewer でメモリーカード挿入時は、カードの画像が表示されます。（挿入されていない場合は、メッセージが出ます。[OK]をクリックすると、起動します）



- 最初に使用する前に、スタートメニューからソフトウェアの［はじめにお読みください］を選び、補足説明や最新情報を必ずお読みください。
- ソフトウェア使用中（データの転送中など）に USB 接続ケーブルを抜かないでください。ソフトウェアが正常に動かなくなったり、転送中のデータが破損するおそれがあります。

SD Viewer で画像を取り込む

デジカムのカードに記録している画像を静止画としてすべてパソコンに取り込みます。デジカムとパソコンを接続し、デジカムをカード再生モードにして SD Viewer を起動してください。

- あらかじめ、取り込みたい画像が記録されたカードをデジカムに入れておいてください。
- ［スタート］→［すべてのプログラム（プログラム）］→［Panasonic］→［SD Viewer］→［SD Viewer］を選んでも起動することができます。
- インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合は、ショートカットをダブルクリックしても起動することができます。

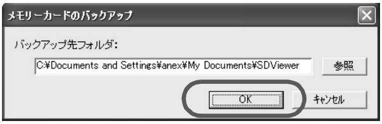
1 [ ] ボタンをクリックする

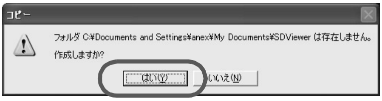
メモリーカードのバックアップ画面が表示されます。



2　保存先を指定し、[OK] をクリックする

●指定したフォルダーが存在しない場合は、フォルダーを作成するかしないかをたずねるダイアログが表示されますので [はい] をクリックしてください。
●取り込みが開始されます。





3　[OK] をクリックする

●取り込みが完了します。



その他、SD Viewer では

- 撮影した画像に日付を入れて保存する
- パソコンの画像をメモリーカードにコピーする
- メモリーカードにプリント情報を登録する (DPOF 設定する)
- 取り込んだ画像を印刷する（日付を入れて印刷することもできます）
- 取り込んだ画像をスライドショー表示する

など、様々な機能をお使いいただけます。
詳しくは SD Viewer の PDF 説明書をご覧ください。

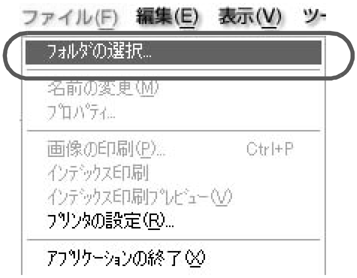
- インストールされた PDF 説明書を読むためには Adobe Acrobat Reader 4.0 以上が必要です。ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM からインストールできます。CD ランチャーの [Acrobat Reader] をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

DV STUDIO で画像を取り込む

テープに記録している画像を静止画としてパソコンに取り込みます。デジカムとパソコンを接続し、デジカムを再生モードにして DV STUDIO を起動してください。

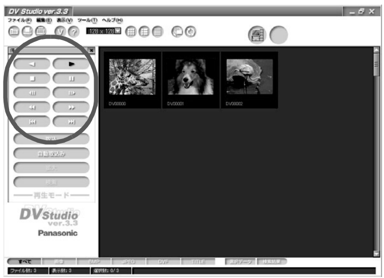
- あらかじめ、取り込みたい画像が記録されたテープをデジカムに入れておいてください。
- [スタート] →［すべてのプログラム（プログラム)］→［Panasonic］→［DV Studio3］→［DV Studio3］を選んでも起動することができます。
- インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合は、ショートカットをダブルクリックしても起動することができます。

1 **メニューの[ファイル]→[フォルダの選択] をクリックして､画像を保存するフォルダを選択する**



2 **操作ボタンで取り込みたい画像を探し､静止画再生にする**

●再生ボタン [▶] をクリックしてテープを再生し､取り込みたい画像のところで一時停止ボタン [❚❚] をクリックして静止画再生にします。



3 **[取込] ボタンをクリックする**

取り込みが開始されます。
取り込みが終了すると、取り込んだ画像が画像表示部に表示されます。



- 取り込みを中止するには [キャンセル] をクリックします。
- デジタル再生効果を含んだ画像の取り込みはできません。
- テープの画像にタイトルやイラストフレームを合成した画像の取り込みはできません。
- DV STUDIO 側には再生画像は表示されません。デジカムのファインダーやモニターで確認してください。

その他、DV STUDIO では、

- テープから自動で静止画を取り込む
- 撮影モードでのカメラ画像を静止画として取り込む
- 取り込んだ画像を印刷する
- 取り込んだ画像をスライドショー表示する

など、様々な機能をお使いいただけます。
詳しくは DV STUDIO の PDF 説明書をご覧ください。

- インストールされた PDF 説明書を読むためには Adobe Acrobat Reader 4.0 以上が必要です。ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM からインストールできます。CD ランチャーの [Acrobat Reader] をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

ArcSoft Software Suite を使う

インストール

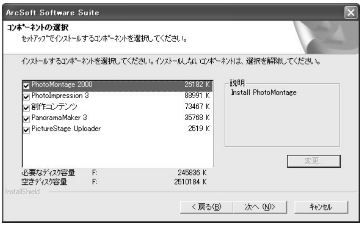
ArcSoft Software Suite (ArcSoft PhotoImpression 3.0/Panorama Maker 3.0/ PhotoMontage 2000/PictureStage アップローダー)のインストール

1 **CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れて、CD ランチャーの[ArcSoft Software Suite]をクリックする**

セットアップが始まりますので、画面のメッセージに従ってインストールしてください。

- 途中、インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されますので、インストールしたいソフトウェアにチェックを付けてインストールを進めてください。([創作コンテンツ]はArcSoft PhotoImpression 3.0 使用時に必要な画像データです)

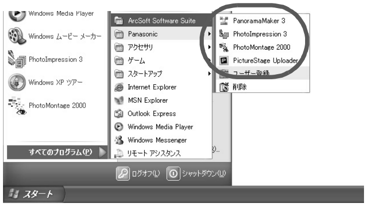




起動

1 **[スタート]→[すべてのプログラム(プログラム)]→[ArcSoft Software Suite]から任意のソフトウェアを選ぶ**

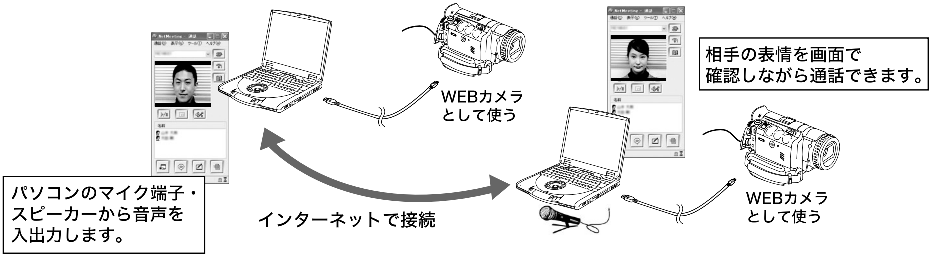
使いかたについては、ヘルプファイルをお読みください。



デジカムを WEB カメラとして使う

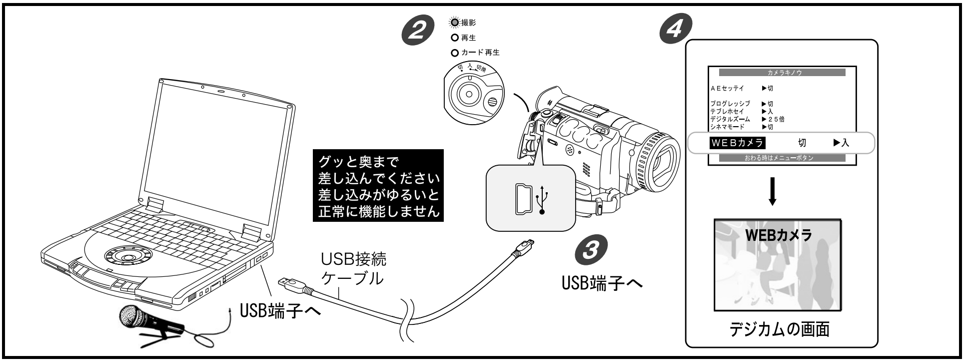
デジカムとパソコンを接続すると、ネット回線を通して、カメラ映像を通信相手に送れます。パソコン用のマイク、スピーカーを使ってインターネットテレビ電話のように使用することができます。(Microsoft NetMeeting 3.0 以上が必要です)
(動作環境については、10 ページをお読みください)

<WEBカメラとして使うときの概略図>



● 2 時間以上続けて使用すると、自動的に通信が切れます。この場合、NetMeeting を起動し直してから、再度通信してください。
● 各機器の電源には必ず AC アダプターをお使いください。

接続のしかた



1 デジカム用静止画ソフト、もしくは Web カメラ用ドライバーをインストールして、デジカムをパソコンに認識させる

2 デジカムを撮影モードにする

3 USB 接続ケーブル(付属)でパソコンと接続する

4 デジカムを WEB カメラモードにする

● メニュー画面は設定の一例です。詳しくは、デジカム本体側の説明書をお読みください。

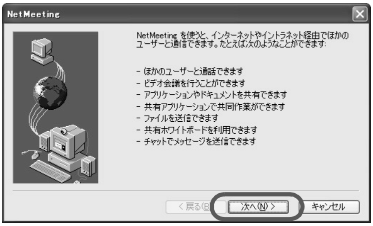
5 NetMeeting を起動する

- [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信 (パソコンによってはインターネットツール)]→[NetMeeting]を選んで起動します。
- Windows XP をお使いの場合、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、「conf」と入力して[OK]をクリックすると、起動します。

NetMeeting の設定

初めて NetMeeting を起動すると、NetMeeting の設定画面が表示されます。
ここでは簡単に設定の流れを説明しています。詳しくは、NetMeeting のヘルプファイルをお読みください。

1 [次へ]をクリックする

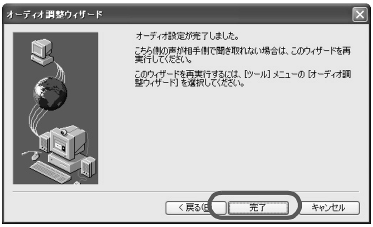


2 ユーザー情報入力画面が表示されたら、ユーザー情報を入力する



3 画面に表示されるメッセージに従って、設定を続ける

音声やマイクの設定については、お使いのパソコンの説明書をお読みください。



4　設定が完了したら、NetMeeting が起動します

●[標準のビデオキャプチャデバイス]を選択する画面が表示されたときは、[Panasonic DVC Web Camera]を選んでください。
●お使いになる前に、ダイヤルアップネットワークを使ってインターネットのプロバイダーへ接続する設定をしてください。設定方法については、Windows のヘルプファイルをお読みください。



- すでにNetMeetingの設定を行っている場合は、上記の画面は表示されません。NetMeeting の［ツール］メニュー①から［オプション］を選び、［ビデオ］タブをクリックして、［Panasonic DVC Web Camera］を選んでください。
- NetMeeting のバージョンが 3.0 より低い場合は、Microsoft のホームページからダウンロードしてください。

USB ドライバーの確認

USB ドライバーが正しくインストールされているか確認することができます。
デジカムのモード設定を行い、 パソコンと接続してから確認してください。

- NEC 製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されているとデバイスマネージャーなどが表示されない場合があります。メーカーにお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従ってすべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

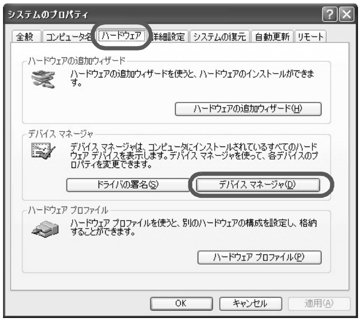
1 **[スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]から([パフォーマンスとメンテナンス]→) [システム]を起動する**

[システムのプロパティ]が表示されます。



2 **[デバイスマネージャ]を表示させて、USB ドライバーが正しくインストールされているか確認する**

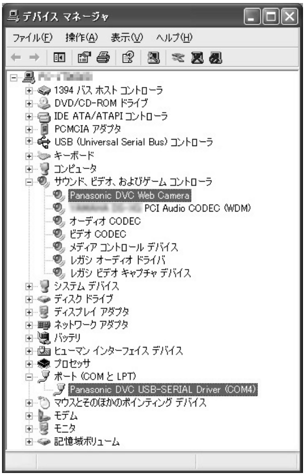
- Windows XP/2000 をお使いの場合は、[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。
- Windows Me/98SE をお使いの場合は、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。



デジカムが撮影・再生モードのとき

■Windows XP で正しく認識されている場合

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]のところに[Panasonic DVC Web Camera]、[ポート(COM と LPT)]のところに[Panasonic DVC USB-SERIAL Driver (COM1)]が表示されます。



■Windows 2000 で正しく認識されている場合

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]のところに[Panasonic DVC Web Camera]、[ポート(COM と LPT)]のところに[Panasonic DVC USB-SERIAL Driver (COM1)]が表示されます。

■Windows Me/ 98SE で正しく認識されている場合

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]のところに[Panasonic DVC Web Camera]、[ポート(COM と LPT)]のところに[DVC Serial(COM1)]が表示されます。Windows Me の場合、この他に[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に[Panasonic Serial USB Driver]と表示されます。

- ドライバー表示で［Panasonic DVC USB-SERIAL Driver (COM1)］などと表示される場合、COM の後に続く数字はポート番号です。お使いの環境によって異なります。
- 本書に記載されている接続手順を必ずお守りください。

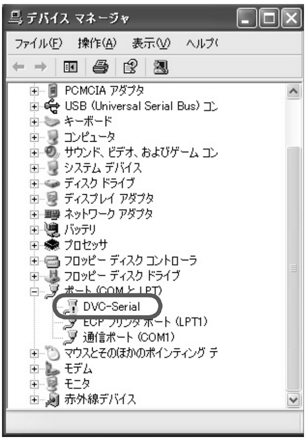
■正しく認識されていない場合

[ポート(COM と LPT)]、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]や [その他のデバイス] などに[DVC-Serial]と表示されます。(お使いのパソコンによっては表示される場所が変わります)

- この場合はドライバーの認識が正しくできていません。「正常に認識しないときは」(P51) をご覧ください。

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]のところに[Panasonic DVC Web Camera]が表示されません。

- この場合はWebカメラ用ドライバーが正しくインストールされていません。CD-ROM から [Web カメラ用ドライバー] をインストールし直してください。

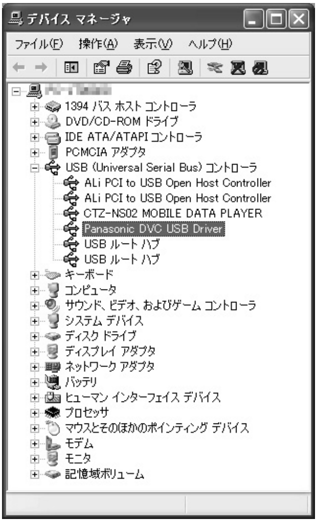


認識確認

デジカムがカード再生モードのとき

■Windows XP/ 2000 で正しく認識されている場合

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]のところに[Panasonic DVC USB Driver](または、Panasonic DV DISK Port Driver)が表示されます。



■Windows Me で正しく認識されている場合

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]のところに[Panasonic DVC USB Driver]が表示されます。

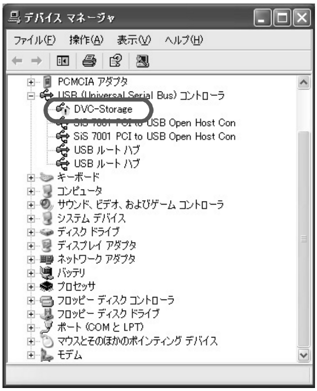
■Windows 98SE で正しく認識されている場合

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]のところに[Panasonic DVC Port Driver Version 2.0]と[Panasonic DVC USB Driver Version 2.0]が表示されます。

■正しく認識されていない場合

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]や[その他のデバイス]などに[DVC-Storage]と表示されます。(お使いのパソコンによって、表示される場所は変わります)

- この場合はドライバーの認識が正しくできていません。「正常に認識しないときは」(P51)をご覧ください。



- 本書に記載されている接続手順を必ずお守りください。

正常に認識しないときは

(USB ドライバーの削除)

[デジカム用静止画ソフト +Web カメラ用ドライバー] または [Web カメラ用ドライバー] インストール後にデジカムが正常に認識されない場合、USB ドライバーの削除を以下の手順で行い、再度認識作業を行ってください。

- NEC 製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されているとデバイスマネージャーなどが表示されない場合があります。メーカーにお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従ってすべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

1 **デジカムを撮影モードまたは再生モードにし、USB 接続ケーブル(付属)で接続する**

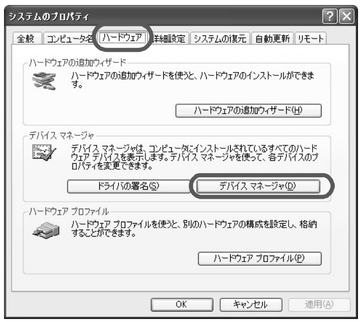
2 **[スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]から([パフォーマンスとメンテナンス]→) [システム]を起動する**

[システムのプロパティ]が表示されます。



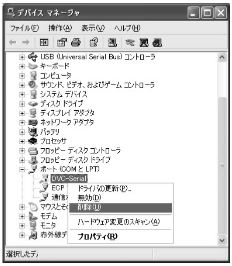
3 **[デバイスマネージャ]を表示させて、USB ドライバーが正しくインストールされているか確認する**

- Windows XP/2000 をお使いの場合は、[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックします。
- Windows Me/98SE をお使いの場合は、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。



4 [ポート(COMとLPT)]や[その他のデバイス] の[DVC-Serial]を右クリックし、[削除]を選ぶ

- お使いのパソコンによっては表示される場所が変わります。

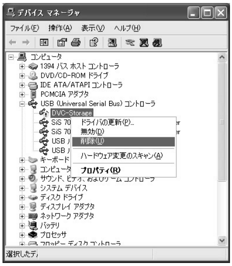


5 デジカムをカード再生モードにする

- デバイスマネージャの表示が変わらないときは、再度接続し直してください。

6 [USB(Universal Serial Bus)コントローラ] や [その他のデバイス] の [DVC-Storage]を右クリックし、[削除]を選ぶ

- お使いのパソコンによっては表示される場所が変わります。
- 削除後にデバイスマネージャを閉じます。



7 パソコンからUSB接続ケーブルを抜く

これで USB ドライバーの削除作業は完了です。

削除完了後

> 再度 USB ドライバーの認識作業を行ってください。
>
> - 接続と認識作業 (P31)
>
> それでも正常に認識しないときは、USB ドライバーをデバイスマネージャから削除したあと、[Web カメラ用ドライバー] をインストールし直してから、再度接続と認識作業を行ってください。

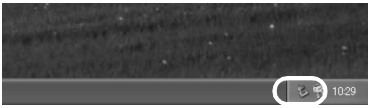
USB 接続ケーブルを安全に外すには

Windows XP/2000/Me をお使いの場合、以下の方法で USB 接続ケーブルを外します。

1　タスクトレイの アイコンをダブルクリックする

ハードウェア取り外し画面が表示されます。

- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。



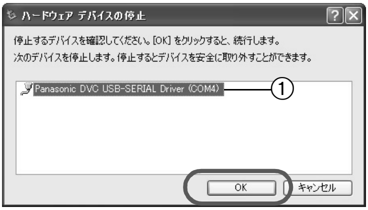
Windows 98SE をお使いの場合と Windows Me で撮影･再生モードをお使いの場合は表示されません。そのまま USB 接続ケーブルを外してください。

2　[Panasonic DVC USB Driver]を選び、[停止]をクリックする



3　[Panasonic DVC USB Driver]が選ばれていることを確認し、[OK]をクリックする

[OK]をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。



表示されるドライバー名 ① はご使用の OS、デジカムのモードによって異なります。

■ デジカムが撮影･再生モードのとき

Windows XP/ 2000 の場合

[Panasonic DVC USB-SERIAL Driver (COM 1)]

- COM の後の数字は環境により異なります。

■ デジカムがカード再生モードのとき

Windows XP/ 2000 の場合

[Panasonic DVC USB Driver]または
[Panasonic DV DISK Port Driver]

Windows Me の場合

[USB ディスク]

ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアが不要になったら、以下の方法でアンインストールしてください。

1 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]を選ぶ

[コントロールパネル]が表示されます。

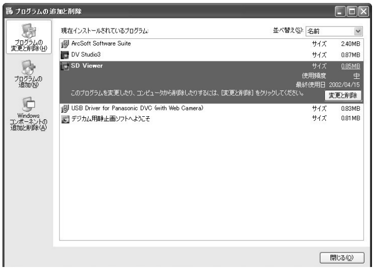


2 [プログラム(アプリケーション)の追加と削除]を開く



3 アンインストールするアプリケーション([SD Viewer]、[DV Studio3]、[デジカム用静止画ソフトへようこそ])を選ぶ

- Windows Me/98SEをお使いの場合は、[インストールと削除]タブをクリックしてから選びます。
- USBドライバーをアンインストールするときは、[USB Driver for Panasonic DVC (with Web Camera)]を選んでください。

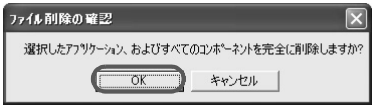


4 [変更と削除]([変更 / 削除]または[追加と削除])をクリックする



5 削除の確認メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする

アンインストールが開始されますので、アンインストール操作を進めてください。



6 [メンテナンスの完了]画面が表示された場合は、[完了]ボタンをクリックする

アンインストールが完了しました。

- USBドライバーをアンインストールしたあとは、パソコンを再起動してください。
- USBドライバーをパソコンのデバイスマネージャから削除したい場合は、「USB ドライバーの確認」(P48) のページでドライバーを確認し、手動で削除してください。



困ったときは（Q&A）

■ USB ドライバー／ WEB カメラについて

Q1

パソコンに USB 接続しても、デジカムを認識しない。または正常に認識・動作しない。（Windows 全般）

A1-1

USB 接続ケーブルをつないだままインストールを行うと、正常にデジカムを認識できません。正常に認識しないときは USB ドライバーを削除し、再度認識作業をしてください。(P31、P51)

A1-2

USB ドライバーのインストール中に、[･･･ファイルが見つかりませんでした。]と表示された場合、ファイルの場所（パス）を特定する必要があります。インストール手順をご確認のうえ、指定されたパスを入力し、インストールを進めてください。これを行わず、[キャンセル]をクリックすると、USB ドライバーが正常にインストールされません。「正常に認識しないときは」(P51) をご参照のうえ、USB ドライバーを削除したあと、再度インストール作業と認識作業をしてください。

A1-3

ご使用のパソコンにインストールされている他のアプリケーションと競合し、正常にデジカムを認識できない場合があります。

現在、確認されているのは以下のソフトになります。また、各ソフトのアップデートにて、現象が回避されることが確認されております。

- 「Drag'n Drop CD Ver. 2.0」（イージーシステムズ ジャパン社）
- 「RecordNowDX Ver. 4.0」（イージーシステムズ ジャパン社）

上記ソフトのアップデート方法にはにつきましては、各ソフトのホームページのサポートのページまたはサポート先へお問い合わせください。

Q2

WEB カメラから音声が出ない。

A2

音声を送受信したい場合は、パソコン側にマイクとスピーカー（ヘッドホンのご使用をおすすめします）をご準備ください。設定方法については、パソコンの説明書、NetMeeting のヘルプファイルをご参照ください。

Q3

WEB カメラを使って通信していると、途中で通信が切れる。

A3-1

２時間以上続けて使用すると、自動的に通信が切れる仕様になっています。NetMeeting を起動し直してから、再度通信してください。

A3-2

ウィルスチェッカーソフトを起動させていると、WEB カメラが途中で切れることがあります。NetMeeting を終了し、接続し直したあと、再度 NetMeeting を起動してください。（P45）

■ SD Viewer について

Q1

メモリーカードのファイルが読めない。

A1-1

デジカムがカード再生モードで、PC 接続モードになっているか確認してください。

A1-2

SD Viewer の [すべて] ボタンを押し、ファイルが表示されるか確認してください。

A1-3

上記を確認してもファイルが読めない場合、一度メモリーカードを抜き差ししてください。それでも読めない場合は、USB 接続ケーブルを抜いてデジカムの液晶画面にカードの画像が表示できるかご確認ください。表示できない場合、データが壊れてしまっている可能性がありますので、デジカムのフォーマット機能を使用してメモリーカードをフォーマットしてください。(フォーマットすると、メモリーカードの内容はすべて消去されます)フォーマット方法については、デジカム本体側の説明書をお読みください。

■ DV STUDIO について

Q1

[DV STUDIO]起動時に、「DV デッキとの通信ができません。・・・」と表示される。

A1-1

「SD Viewer」(またはカード再生モード)でご使用いただいたあとは、いったん USB 接続ケーブルをパソコンから抜き、デジカムの動作モードを撮影モードまたは再生モードに切り換えてから、再度 USB 接続ケーブルをパソコンに差してください。抜き差しをせずに操作すると、デジカムがパソコンに正しく接続されません。

A1-2

前回「DV STUDIO」を使用したときと違う USB 端子(パソコン側)に接続された場合に表示されます。ご使用には問題ありませんので、[OK]をクリックしてソフトの起動操作を続けてください。

その他

Q2
「DV STUDIO」操作中にデジカムとパソコンの通信が途絶える。または、[DV デッキとの通信ができません。･･･]などと表示される。
A2-1
メニューの[ツール]→[接続]を選択してください。それでも通信が復活しない場合は、デジカムから USB 接続ケーブルを外し、デジカムの電源を入れ直したあと、再度 USB 接続ケーブルをデジカムに接続してください。そのあと、メニューの[ツール]→[接続]を選択してください。
A2-2
デジカムで DV STUDIO を使用している場合、デジカムをカード再生モードにすると、パソコンとの通信が切れます。一度 USB 接続ケーブルを外し、再生モードか撮影モードにしてから、再度接続し、メニューの[ツール]→[接続]を選択してください。
A2-3
OS の操作や、そのときに動作している他のウィルス検出ソフトなどの常駐プログラムの影響で、デジカムとの通信がうまくいかないことがあります。このような場合は、一度、その操作やプログラムを終了させてから DV STUDIO を起動してください。

■ その他・全般

Q1
デジカムで記録した MPEG4 ファイルを再生しても、音声が出ない。
A1
MPEG4 ファイルの音声を再生するには、G.726 音声デコーダーが必要です。インターネット接続環境では、Windows Media Player を起動し、MPEG4 ファイルをダブルクリックすると、自動的にダウンロードされます。インターネットに接続できない場合、CD-ROM(付属)内の G.726 音声デコーダーをお使いいただけます。(P9)

Q2
デジカムとパソコンを USB 接続ケーブルで接続しているときに、デジカムの操作モードを切り換えたら、デバイスが取り外されたという警告メッセージが出た。
A2
デジカムを再生モードからカード再生モードに切り換えたときに、警告メッセージが表示されることがありますが、パソコンでの認識が COM ポートから USB ポートに切り換わるためです。ご使用上問題はありません。

使用上のお願い

■ USB ドライバーについて

- デジカム本体に、「PC 接続モード」と表示されているときは、操作モードを切り換えることはできません。操作モードを切り換えたいときは、一度 USB 接続ケーブルを外し、操作モードを切り換えたあと、再度接続してください。

■ SD Viewer について

- カード再生モードにしてからお使いください。

■ DV STUDIO について

- 再生モードか撮影モードにしてからお使いください。
- デジカムのデモモードを「切」にしてからお使いください。
- デジカムがリピート再生になっていると、取り込み時に誤動作することがあります。
- テープの途中に無記録部分がある場合は、誤動作することがあります。撮影時は、タイムコードがテープ始端から途切れずに記録されるようにしてください。
- 静止画を取り込む場合は、SP モードで撮影しておくことをおすすめします。
- 連写フォトショット画像は自動取り込みはできません。S2(S1)映像入出力端子や AV 入出力端子からの入力信号を直接取り込むことはできません。
- お使いのパソコンによっては自動取り込みに失敗することがあります。このときは 1 枚ずつ取り込んでください。
- 撮影モードで画像を取り込む場合は、テープとカードを取り出してください。
- 静止画を取り込み中にエラーメッセージが表示されることがあります。これはテープの記録状態や通信状態(デジカムとパソコン間の通信)のトラブルが原因で起こります。自動取り込み中にエラーが発生した場合は、[はい]をクリックして取り込みを続行してください。画像 1 枚の取り込み中に発生した場合は、[OK]の次に[取込]をクリックし、再度画像を取り込んでください。

■ WEB カメラ機能について

- インターネット接続には、別途プロバイダーとの契約が必要です。
- 通信・画像の品質はインターネット接続状況によって変わります。
- USB 接続ケーブルをパソコンから外すと、WEB カメラモードは解除されます。

■ その他・全般

- Windows 2000 や Windows XP をお使いの場合、[Administrator(コンピュータの管理者)](もしくは Administrator と同等の権限を持つユーザー名)にしてログオンしてから、インストール・アンインストールを行ってください。
- DV STUDIO や SD Viewer の使用中(データの転送中など)やデジカムの動作中ランプが点灯中に、USB 接続ケーブルを抜かないでください。ソフトウェアが正常に動かなくなったり、転送中のデータが破損するおそれがあります。
- デジカムとパソコンを USB 接続ケーブルでつないで使うときは、デジカムの電源として、AC アダプターをお使いください。データの転送中にバッテリーが切れると、データが破損するおそれがあります。

ユーザーサポートについて

Panasonic のソフトウェアに関して

USB ドライバー、DV STUDIO 3.3J-SE 、SD Viewer 1.6J-SE に関するお問い合わせは、下記のお客様ご相談センターへお願いいたします。

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

TEL フリーダイヤル 0120-878-365
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

365 日／受付：9:00 ～ 20:00

URL http://panasonic.jp/support

アークソフトのソフトウェアに関して

ArcSoft Software Suite (ArcSoft PhotoImpression 3.0、ArcSoft Panorama Maker 3.0、ArcSoft PhotoMontage 2000、PictureStage アップローダー) についてのお問い合わせは、下記のアークソフトジャパンコールセンターへお願いいたします。

アークソフトジャパンコールセンター

TEL 03-3834-5256
FAX 03-5816-4730

E-mail support@arcsoft.jp
URL http://www.arcsoft.jp/

電話受付時間：am10:00 ～ pm12:00, pm1:00 ～ pm6:00
（土日祝を除く）

PRINTED WITH SOY INK TM

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

「この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。」

松下電器産業株式会社

ネットワーク事業グループ

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

システム事業グループ

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

F0503Kh2063 (10000 ⓒ)

Panasonic デジタルビデオカメラ用 パソコン接続編 取扱説明書